

FlexNet

BricsCAD ネットワークライセンス ユーザーガイド

BricsCAD の Flexnet 版ネットワークライセンスについてのユーザーガイドです。
ネットワーク Flexnet ライセンス管理をする場合、必ずお読みください。

本ユーザーガイドには、BricsCAD 下記についての説明が含まれております。

BricsCAD インストーラー (Bricsys)
ネットワーク管理 (Flexnet)
ライセンス借用・返却 (Bricsys)
クライアント作成ツール (Alfatech)
環境引継ぎツール (Alfatech)
プロファイル初期設定ツール (Alfatech)
クライアント用ライセンスマニタ (Alfatech)



FlexNet BricsCAD ネットワークライセンス用ユーザーガイドについて

FlexNetBricsDAD ネットワークライセンス ユーザーガイド(以降 本書)は Flexnet 版の BricsCAD ネットワークライセンスのインストールについて説明するものです。

本書に説明のある設定・インストールを始める前に、Windows やネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。

本書の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

I. 概要	1
1. ライセンスサーバー動作環境	2
1. FlexNet ネットワークライセンスの管理について	2
2. ライセンスファイルについて	3
1. ライセンスファイル	3
2. ライセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー	3
3. バージョンアップ・ライセンス増設時のライセンスファイル	3
3. 作業内容	4
1. FlexNet サーバー作業	4
3. クライアントインストール	4
II. ライセンスファイルの取得	5
1. ライセンスファイルの取得	6
1. ツールダウンロードのご案内	6
2. サーバー情報の書き出し	6
3. サーバー情報ファイルの確認	8
4. サーバー情報ファイルの送付	8
5. ライセンスファイルの取得	9
6. ライセンスファイルについて	9
2. 更新ライセンスファイルの取得	11
1. ライセンスファイルの更新が必要となるケース	11
2. BricsCAD バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得	11
3. 図研アルファテック製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得	11
4. ライセンスサーバーの変更による更新ライセンスファイルの取得	11
III. ライセンスサーバー作業	13
1. ライセンス管理サービスのインストール	14
1. アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール	14
2. Windows ファイアウォールの設定	17
1. Windows ファイアウォール 受信の規則に例外追加するプログラム	17

3. ライセンス用サービスの作成と起動	23
1. ライセンスファイルのコピー	23
2. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始	23
3. 動作確認	29
4. サービスのアカウントの変更	31
4. ライセンスファイルの変更	34
1. ライセンスファイルの取得	34
2. ライセンスファイルの置き換え	34
3. ライセンスの確認	34
4. ライセンスファイル更新時のクライアント動作	34
5. エラーメッセージ	35
1. サーバー側エラー例	35
2. クライアント側エラー例	36
IV. クライアントインストーラ作成	37
1. クライアントインストーラ	38
1. BricsCAD クライアントインストーラとは	38
2. 事前準備	38
3. クライアントインストーラの作成(標準)	39
4. クライアントインストーラの作成(カスタム)	43
5. クライアントインストーラの確認	53
2. プロファイル初期設定ファイル	54
1. プロファイル初期設定ファイルについて	54
2. プロファイル初期設定ファイルの作成	54
3. 設定ファイル	56
V. クライアントインストール	58
1. BricsCAD のインストール	59
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について	59
2. BricsCAD インストールの実行	60
3. Communicator for BricsCAD インストールの実行	61
VI. オプション	63
1. オプションの種類	64

1. ライセンスの借用	64
2. ライセンスマニタ	64
3. オプションメニューについて	64
2. ライセンスの借用と返却(BricsCAD)	65
1. BricsCAD ライセンスの借用	65
2. BricsCAD ライセンスの借用期限の確認	66
3. BricsCAD ライセンスの返却	66
3. ライセンスマニタ	68
1. ライセンス情報の確認	68
2. クライアント情報の確認	69
VII. バージョンアップ	70
1. ライセンスサービスのバージョンアップ	71
1. 新バージョン対応ライセンスファイル送付時期	71
2. バージョンアップ作業の流れ	71
3. Alfatech 製品について	71
2. BricsCAD バージョンアップ作業	72
1. ライセンスファイル、インストーラの準備	72
2. ライセンス使用中アプリケーションの確認	72
3. サービスの停止(サーバー)	72
4. アルファテックライセンス管理サービスの更新(サーバー)	73
5. ライセンスファイルの更新	76
3. BricsCAD のバージョンアップ(クライアント)	78
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について	78
2. BricsCAD インストールの実行	79
4. Alfatech 製品のバージョンアップ(クライアント)	80
1. インストーラについて	80
2. Alfatech 製品のインストールの実行	80
3. ライセンスタイプ変更	80
VIII. 付録	82
1. FlexNet オプションファイル	83
1. FlexNet オプションファイル	83
2. FlexNet オプションファイル制限	83

3. オプションファイル名	83
4. オプションファイルの書式	84
2. FlexNet オプション構文	85
1. オプションファイルキーワード	85
2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)	85
3. 識別	85
4. ライセンスの返却(タイムアウト)	86
5. ライセンス使用の許可	86
6. グループの定義記述例	86
7. 最大使用ライセンス数の指定	86
8. ライセンス借用の制限と禁止	87
3. BIM、Mechanical コマンドを使用する場合	89
1. 設定	89
4. ツール	90
1. ホームページ提供ツールのご案内	90
2. BricsCAD サーバー/使用グレード変更ツール	90

I. 概要

本書の概要を説明します。

1. ライセンスサーバー動作環境

Flexnet ネットワークライセンスについて説明します。

1. FlexNet ネットワークライセンスの管理について

ライセンスサーバーには、アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービスをインストールします。

※図研アルファテック製品のネットワークライセンスでは Reprise ライセンスサービスを提供しています。

アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービスの操作環境

ネットワークライセンス管理として FlexNet Publisher (Version 11.19.1) を採用しています。

動作環境につきましては FlexNet Publisher のバージョンに依存します。

OS : 以下の OS の 64 ビット版をサポートします。

日本語版 Windows Server 2022、日本語版 Windows Server 2019

日本語版 Windows11

OS は、Microsoft 社サポート対象の各 Winodws Server Edition を推奨します。

冗長型ライセンスサーバーは、Server Edition 環境のみサポートします。

ネットワーク インターフェース カード(NIC)必須

プロトコル : TCP/IP (IPv4)

仮想環境 : FlexNet Publisher のリリースノート記載サポート

VMware Workstation 16.1.0

VMware ESXi 6.5 and 6.7

Citrix xenServer 8.2

Microsoft Hyper-V

・ Microsoft Windows Server 2019 Hyper-V

2. ライセンスファイルについて

BricsCAD は FlexNet 専用のライセンスファイルが必要となります。ライセンスファイルについて説明いたします。

1. ライセンスファイル

BricsCAD をネットワーク Flexnet 版でご使用いただきます場合、ネットワークライセンス(FlexNet)用のライセンスファイルの発行が必要です。

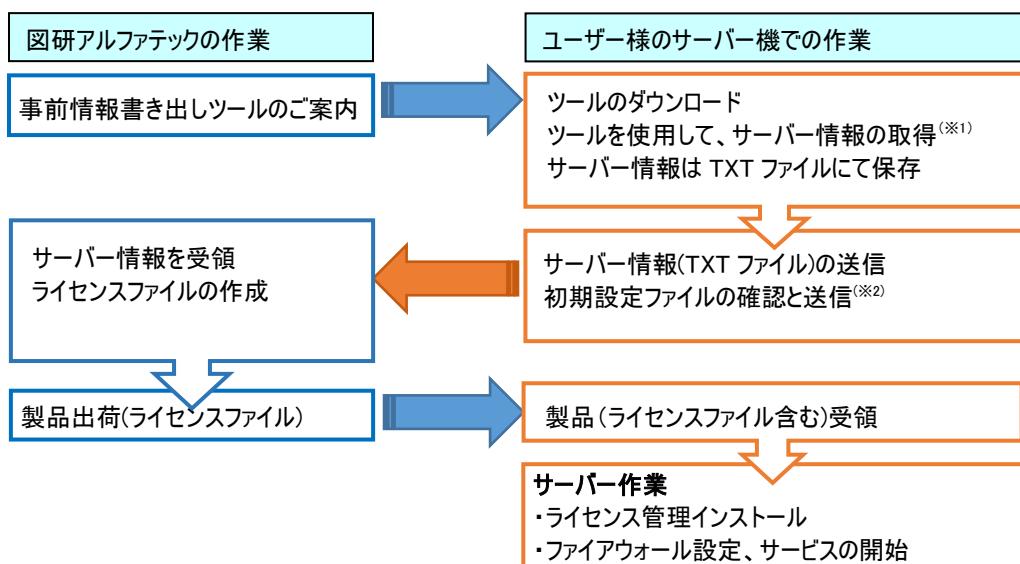
ライセンスファイルは、製品納品前に作成いたしますが、ライセンスファイルを作成する際にはライセンスを管理するサーバーの情報が必要となります。

ライセンスファイルはサーバー情報を元に発行いたします。

その為インストール作業の前に、ユーザー様にサーバー情報を取得していただき、その情報を弊社まで送付していただく作業が発生いたします。

2. ライセンスファイル発行と、出荷の流れのフロー

BricsCAD NW FlexNet のインストールでは以下の作業が必要です。



※1 詳細手順につきましては、「II.ライセンスファイルの取得」(p5)に記載しております。

※2 必須ではありません。

3. バージョンアップ・ライセンス増設時のライセンスファイル

バージョンアップ時など、既にネットワークライセンスをご使用の場合、サーバー情報取得のための事前作業は発生いたしません。

既存のサーバー情報でライセンスファイルを作成いたします。

※サーバーのご変更時には「サーバー変更に伴う誓約書」での申請が必要です。ライセンスファイル発行保守契約をされていない場合、ライセンスファイルの再発行は有償となります。

事前にサポート(support@bj-soft.jp)までご連絡をお願いいたします。

3. 作業内容

BricsCAD をネットワーク Flexnet ライセンスでご使用いただくための作業について説明します。

1. FlexNet サーバー作業

アルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービス(AlfatechFL)のインストール

ファイアウォールの設定

ライセンスサービス(Network License Manager) の開始

2. クライアントインストーラ作成

ライセンスファイル(*.lic)、および、BricsCAD、Communicator のインストーラ(msi ファイル)を準備し、クライアントインストーラを作成します。

クライアントインストーラはグレードごとの作成です。

購入したグレードに対するクライアントインストーラを作成してください。

任意の 1 台の PC で作成を行い、他の PC で参照できる場所にコピーしてください。

3. クライアントインストール

BricsCAD のインストール

購入ライセンスのグレードのクライアントインストーラを使ってインストールを行います。

クライアントインストーラでは BricsCAD、サーバー情報接続情報(BricsCADNW)、BricsCAD 用ライセンスマニタ、借用機能オプションをインストールします。

ライセンスマニタは、クライアントインストーラの作成時に含めるかの指定ができます。

II. ライセンスファイルの取得

ライセンスサーバーで使用するライセンスファイルについて説明します。

各作業は、ライセンスサーバーに Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンして実行してください。

1. ライセンスファイルの取得

ライセンスファイルは、図研アルファテックから発行させていただきます。

ライセンスファイルの発行の際には、対象となるすべてのサーバーのホスト名、ネットワークカード ID などの情報が必要となります。

1. ツールダウンロードのご案内

通常は事前に、下記の「サーバー情報事前取得ツールページ」をご担当者様にメールにて案内させていただきます。

(サーバー情報事前取得ツールページ)

<https://www.bj-soft.jp/support/download/NetworkFlex.html>

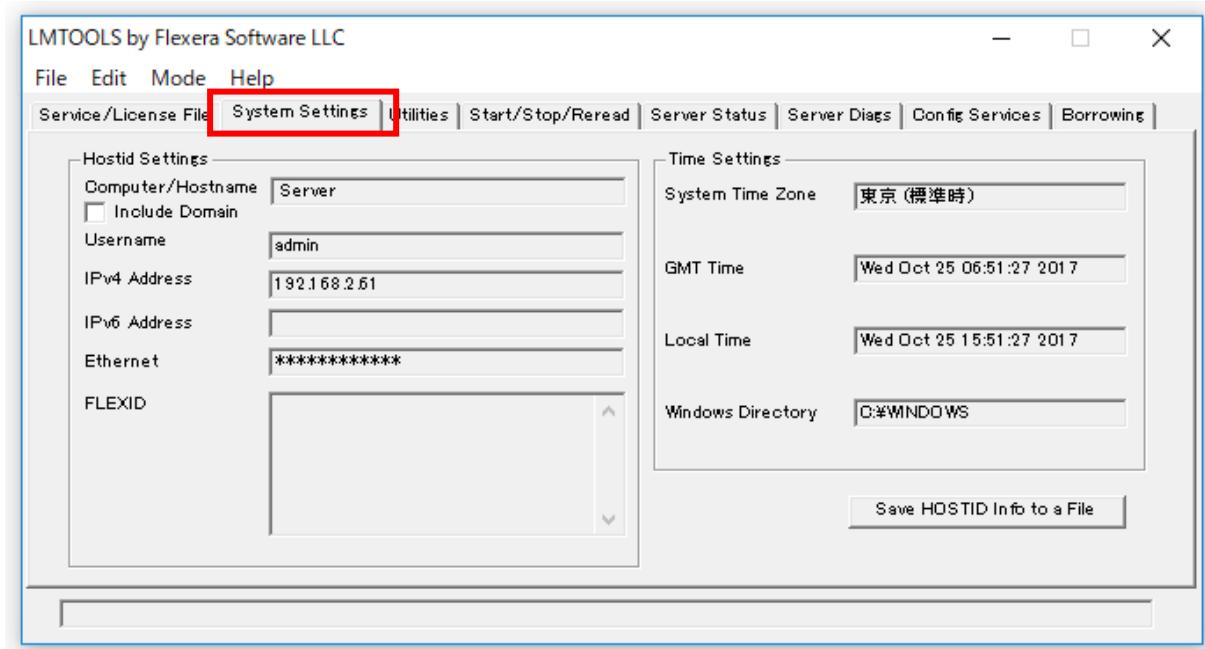
上記ページにて以下のツールとプロファイル設定書き出し項目ファイルのダウンロードが可能です。

・ライセンスファイル作成に必要なサーバー情報を取得するためのツール

2. サーバー情報の書き出し

事前にダウンロードされました圧縮ファイルを解凍し、lmtools.exe などをサーバーにコピーしてください。

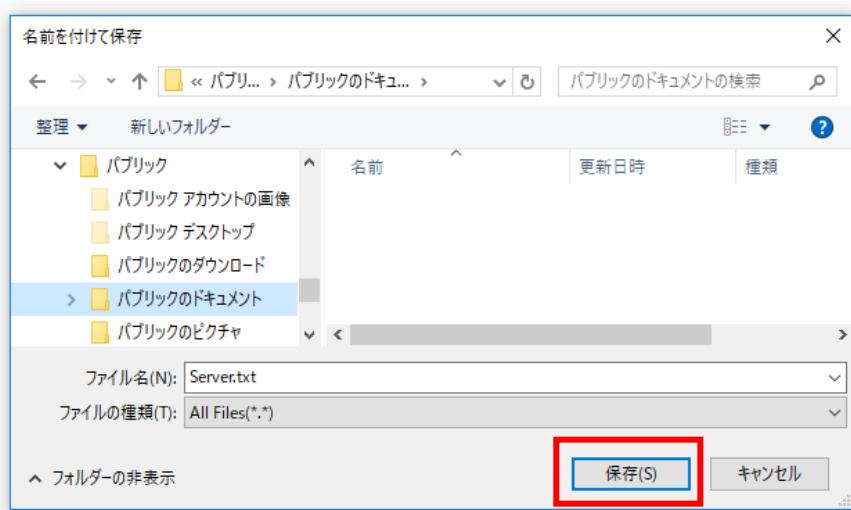
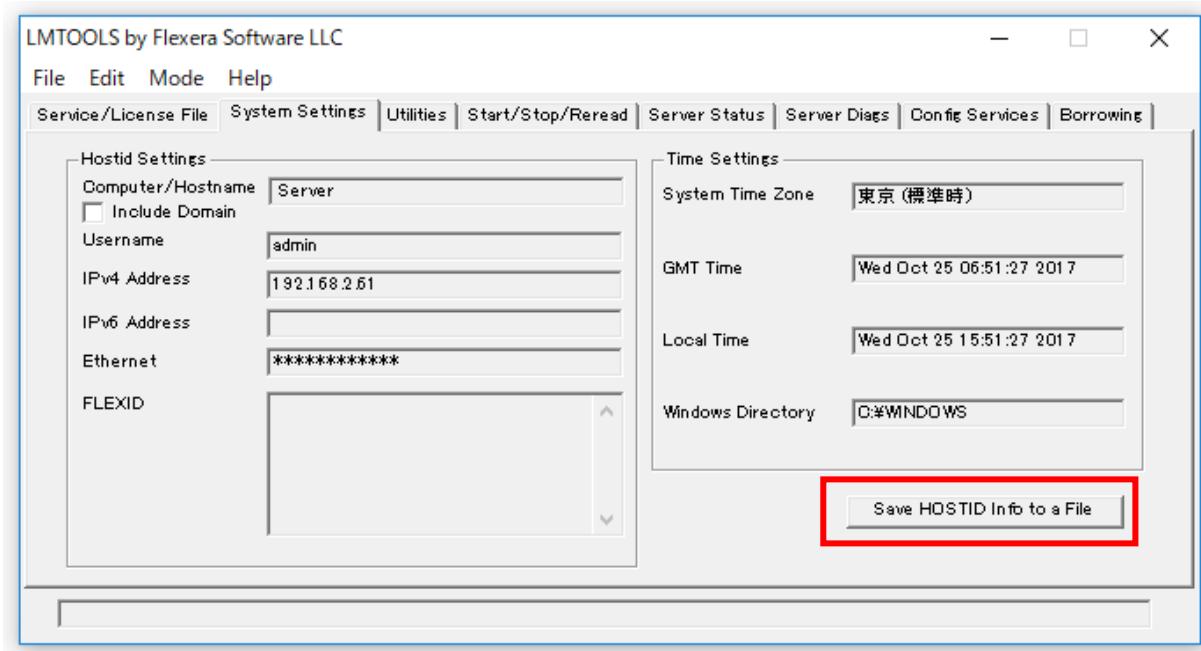
- 1) ライセンスサーバー上で解凍した「lmtools.exe」をダブルクリックして実行します。
- 2) 起動した「LMTOOLS」ダイアログの「System Settings」タブをクリックします。



ネットワークカードを複数使用されている場合でも、上記で表示される Ethernet Address は 1 つだけです。

次の 3)で書き出されたファイルには、全てのネットワークカードの Ethernet Address が書き出されます。

3) [Save HOSTID Info to a File]ボタンをクリックし、任意のファイル名で保存します。



分散・冗長サーバー構成の場合

分散・冗長サーバー構成などで、複数のサーバーを使用されます場合、各サーバーマシンで上記 2. から 3. の手順を繰り返してください。

保存されたファイルがどのサーバー情報のファイルなのか、(例えば冗長構成の場合、どのファイルがマスターサーバー情報なのか、セカンダリーサーバー情報なのかなど)が明確に分かるように作成してください。

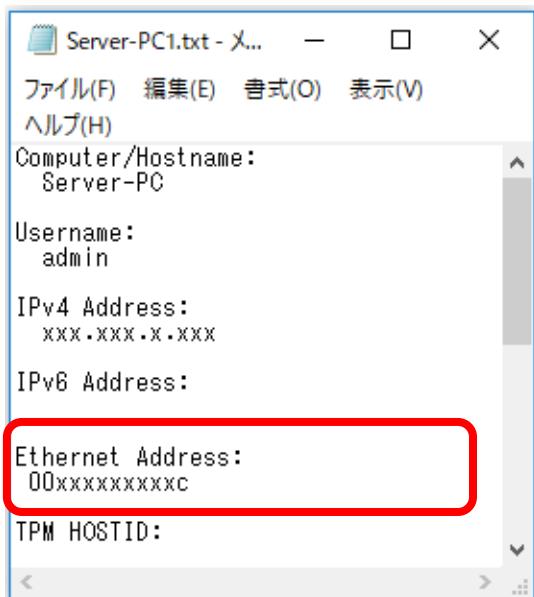
(例) ファイル名末尾に冗長構成の順番となる数値を入力した例

LS1.txt (マスターサーバー) 、LS2.txt 、 LS3.txt

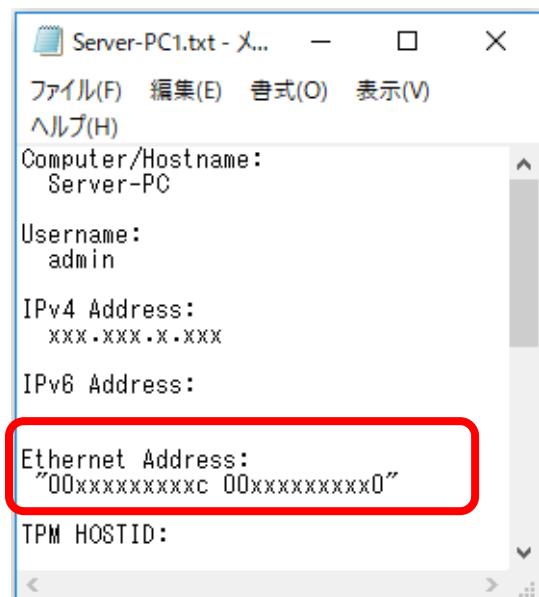
3. サーバー情報ファイルの確認

- 1) 保存されたサーバー情報ファイルをメモ帳などで開きます。
- 2) サーバー情報ファイル内の Ethernet Address: の下に Physical Address 情報が記載されています。記載内容を確認します。(情報が 1 つのみの場合と 2 つ(複数)記載されている例)

■ネットワークカード 1 枚の例



■ネットワークカード 2 枚(複数)の例



上記、右側例のように「Ethernet Address:」以下にある情報にスペース区切りで 2 つ以上の記載がある場合、ネットワークカードは複数装着されております。ご使用のカードアドレス情報を控えてください。

- 3) サーバー情報ファイルは、**破棄終了**してください。

※社外からライセンスを取得されます場合、社外から接続時のサーバー名も必要となります。

御社内の情報の確認をお願いいたします。

4. サーバー情報ファイルの送付

書き出したすべてのサーバー情報ファイルを、弊社から案内させていただきましたメールにご返信ください。

または support@bj-soft.jp 宛に送付してください。

メール本文には、以下の情報の記載もお願いします。

①登録ユーザー名 (法人の場合は会社名とご担当者名、個人の場合はお名前)

②ネットワークカードが複数装着されている場合、使用するカードのアドレス

③外部からライセンスを取得される場合、社外から接続時のサーバー名

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象のすべてのサーバーのサーバー情報の書き出しファイルと、②③に該当する情報を送付してください。

5. ライセンスファイルの取得

送付いただきましたサーバー情報を元に弊社(図研アルファテック)にてライセンスファイルを作成いたします。
ライセンスファイルをメールにて御社に送付させていただきます。

6. ライセンスファイルについて

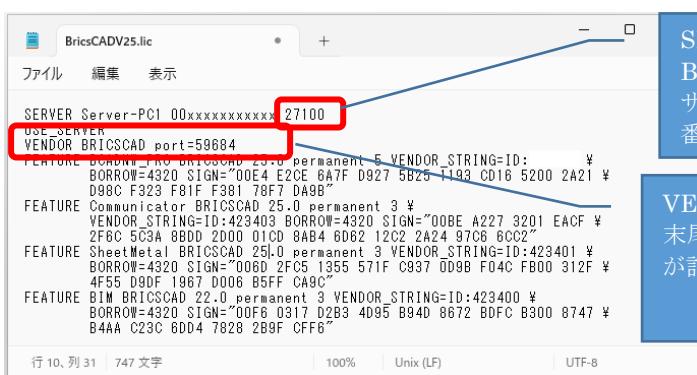
メールで取得されたライセンスファイル内に使用するポート情報が記載されています。

1) ポート番号

取得したライセンスファイル(.lic)をメモ帳で開き、ポート番号を確認します。

■サーバー1台のライセンスファイル（通常）

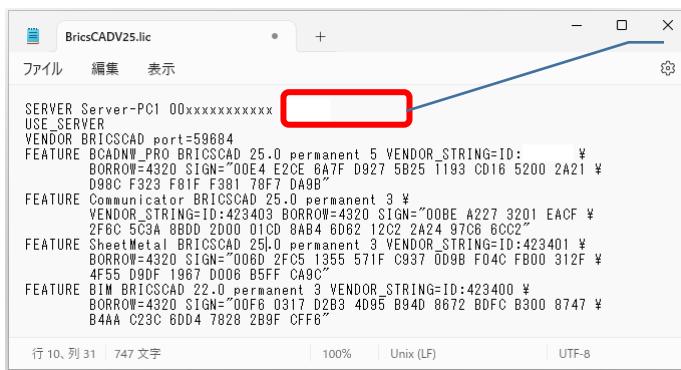
・ポート番号を指定したライセンスファイル



SERVER Server-PC1 00xxxxxxxxxx 27100
 USE_SERVER
 VENDOR BRICSCAD port=59684

SERVER の行の末尾には、
 BRICSCAD サービス用、alfaflex
 サービス共通の lmgrd.exe 用ポート
 番号が記載。

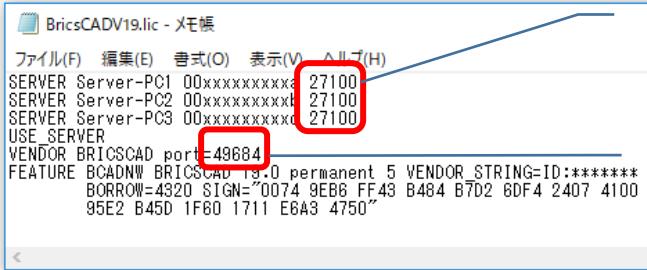
・ポート番号未指定のライセンスファイル



SERVER Server-PC1 00xxxxxxxxxx
 USE_SERVER
 VENDOR BRICSCAD port=59684

SERVER の行の末尾の
 ポート指定は “ 空 ”
 この場合 lmgrd.exe 用ポートは
 27000～27009 の間で空いている
 ポートが動的に割り付けられます。

■冗長サーバーのライセンスファイル記述例



SERVER Server-PC1 00xxxxxxxxxx: 27100
 SERVER Server-PC2 00xxxxxxxxxx: 27100
 SERVER Server-PC3 00xxxxxxxxxx: 27100
 USE_SERVER
 VENDOR BRICSCAD port=49684
 FEATURE BCADNW BRICSCAD 19.0 permanent 5 VENDOR_STRING=ID:*****
 BORROW=4320 SIGN="0074 9EB6 FF43 B484 B7D2 6DF4 2407 4100
 95E2 B45D 1F60 1711 E6A3 4750"

SERVER の行の末尾には、
 BRICSCAD サービス用の lmgrd.exe
 のポート番号が記載。

VENDOR の行の末尾には、
 BRICSCAD.exe 用のポート
 番号が記載。

※ご注意※

確認後のファイルは必ず破棄終了してください。編集や上書きをされた場合、ライセンスが認識できなくなる場合があります。

その場合、ライセンスファイルの再発行が必要となります。

(ライセンスファイルの再発行の有償/無償につきましては契約内容により異なる場合があります。)

※分散、冗長サーバー構成などでサーバーを複数使用の場合、対象サーバーすべてに対して作業を行ってください。

2. 更新ライセンスファイルの取得

BricsCAD のライセンス情報に変更がありました場合 (BricsCAD ライセンス数の変更、バージョンアップなど) ライセンスファイルの更新が必要です。

1. ライセンスファイルの更新が必要となるケース

- 1) BricsCAD ライセンス製品の増設
- 2) BricsCAD のバージョンアップ
- 3) ライセンスサーバーの変更

2. BricsCAD バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得についてのお客様作業はございません。

ご購入(または前回発行)時と同じ、既存のライセンスファイルのサーバー情報をもとに弊社で作成し提供させていただきます。

BricsCAD 新規バージョンのリリースの際には、Maintenance ご契約を締結されておりますユーザー様に新バージョン用のライセンスファイルを提供させていただきます。

送付物の準備にはお時間をいただいております。その為、BricsCAD 新バージョンリリースと同時提供ではございません。

お急ぎの場合や、送付日のご希望がございます場合は、弊社サポート(support@bj-soft.jp)まで事前にご連絡をお願いいたします。

3. 図研アルファテック製品バージョンアップによる更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得についてのお客様作業はございません。

図研アルファテック製品バージョン 2025 以降は、ネットワーク Reprise ライセンスの提供となります。

4. ライセンスサーバーの変更による更新ライセンスファイルの取得

ライセンスファイル取得の前に、「ライセンス管理サーバー変更依頼書・誓約書」のご提出が必要です。

詳細につきましては営業担当者までご連絡をお願いいたします。

本ユーザーガイドの「新規ライセンスファイルの取得」をご参考いただきまして、新サーバー情報の書き出しと取得をお願いいたします。

<<このページは白紙です。>>

III. ライセンスサーバー作業

ライセンスサーバーでの作業として、ライセンス管理サービスのインストール、ライセンスファイルの確認方法、例外ポートの設定、サービスの作成と起動、ライセンスファイルの更新などを説明しています。

Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンして実行してください。

1. ライセンス管理サービスのインストール

サーバーPCにアルファテック(FlexNet)ライセンス管理サービス(AlfatechFL)をインストールします。
インストール作業を行う前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降のインストール作業を行ってください。

1. アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール

- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) ライセンス管理(FlexNet)サービスをダウンロードし、解凍します。

解凍後、フォルダ内にある **BricscadNWSetup.exe** をダブルクリックして起動してください。

※ライセンス管理(FlexNet)サービスは下記ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.bj-soft.jp/support/download/BricsCADNWFNP.html>

- 3) インストールする製品を選択します。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール」ボタンをクリックします。



- 4) 「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストーラが起動します。

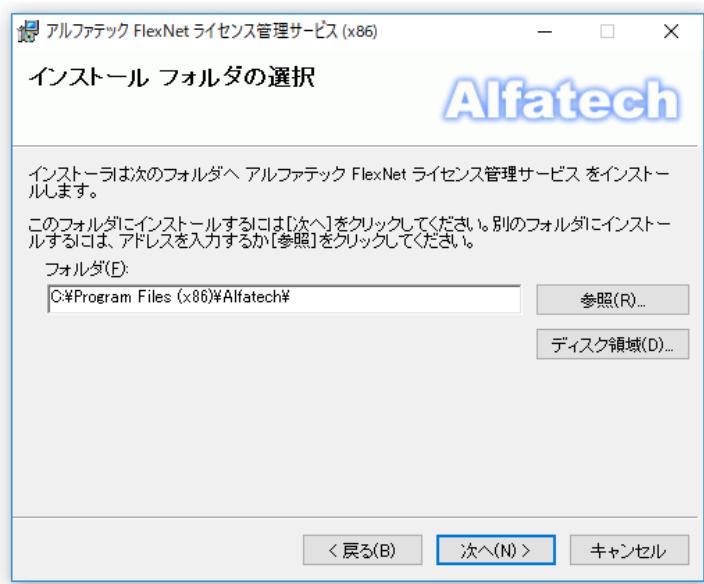
【次へ(N)>】ボタンをクリックします。



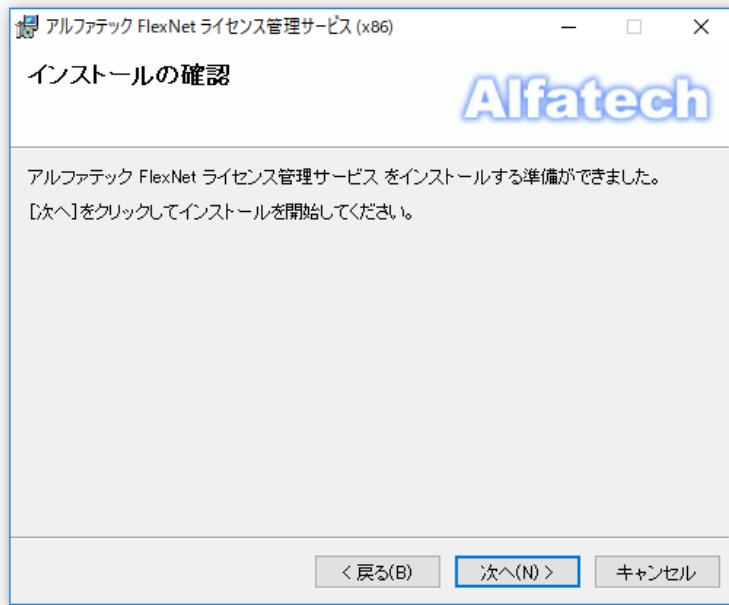
5) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は**[同意する(A)]**を選択し、**[次へ(N)>]**ボタンをクリックします。

6) インストールするフォルダを選択し、**[次へ(N)>]**ボタンをクリックします。

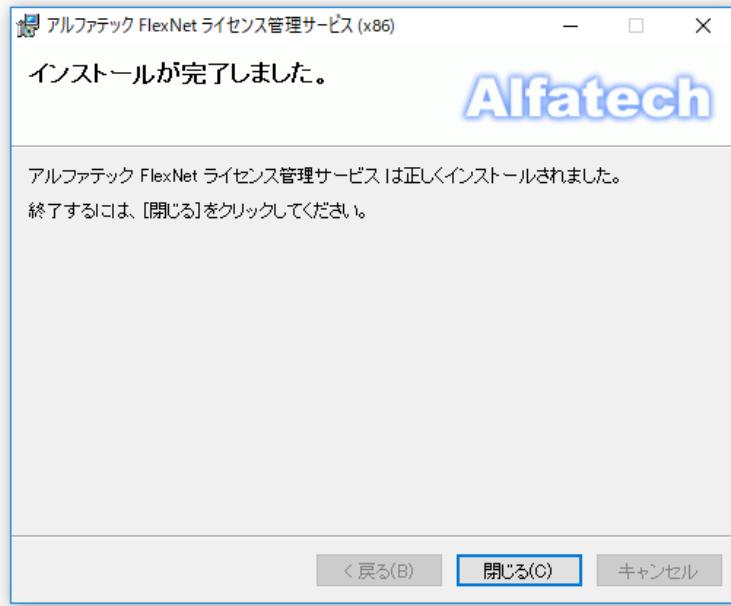
7) インストールの確認が表示されます。【次へ(N)>】ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



8) 「インストールが完了しました」が表示されます。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストールは完了です。

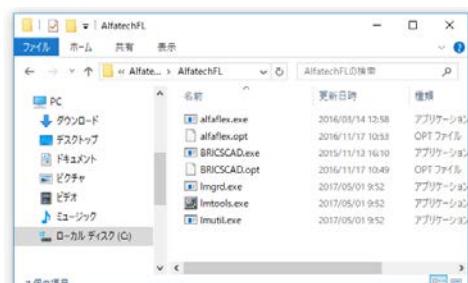
【閉じる(C)】ボタンをクリックし、インストーラを終了します。



インストール先モジュール(64bit OS の例)

C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL インストール先モジュール例

alfaflex.exe : Alfatech 製品ベンダー
 alfaflex.opt : alfaflex.exe 用オプションファイル
 BRICSCAD.exe : BricsCAD ベンダー
 BRICSCAD.opt : BRICSCAD.exe 用オプションファイル
 lmgrd.exe : FlexNet Publisher
 lmutil.exe : FlexNet Publisher 用ツール
 lmtools.exe : FlexNet Publisher 用ツール



2. Windows ファイアウォールの設定

例外プログラムを登録します。ファイアウォールが無効の場合でも、環境によってはライセンスサービスの開始が制限される場合があります。その場合はファイアウォールが無効であっても例外プログラムの登録を行ってください。

1. Windows ファイアウォール 受信の規則に例外追加するプログラム

ファイアウォール受信の規則に例外プログラムを追加します。

ライセンスが BricsCAD のみの場合

追加するプログラム: lmgrd.exe, BRICSCAD.exe

ライセンスが BricsCAD と AlfaTech 製品を含む場合

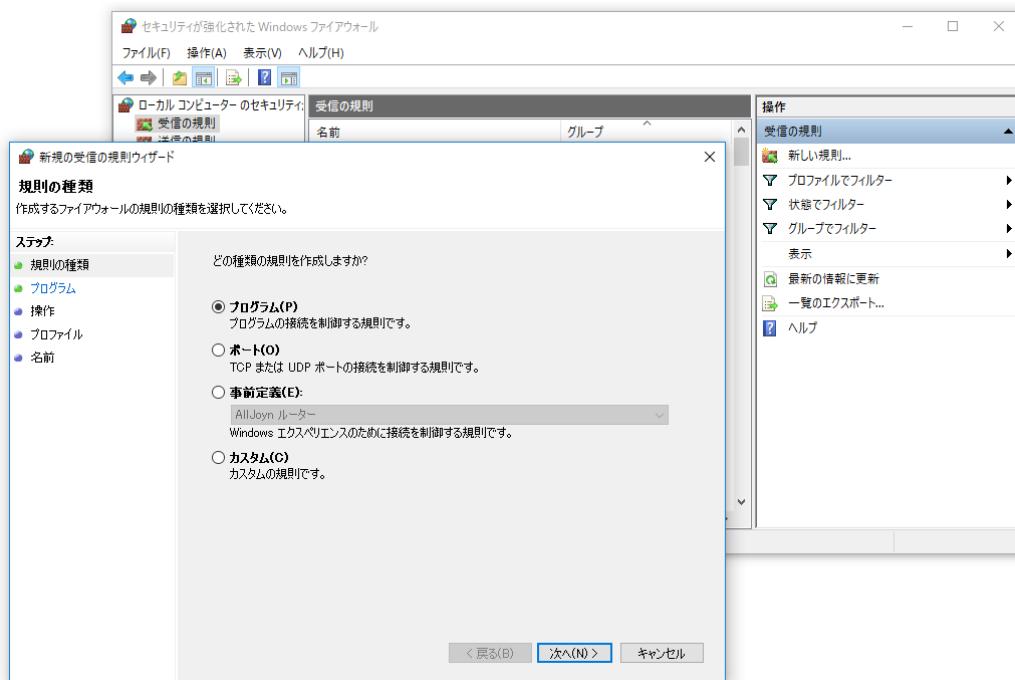
追加するプログラム: lmgrd.exe, BRICSCAD.exe, alfaflex.exe

ライセンスが AlfaTech 製品のみの場合

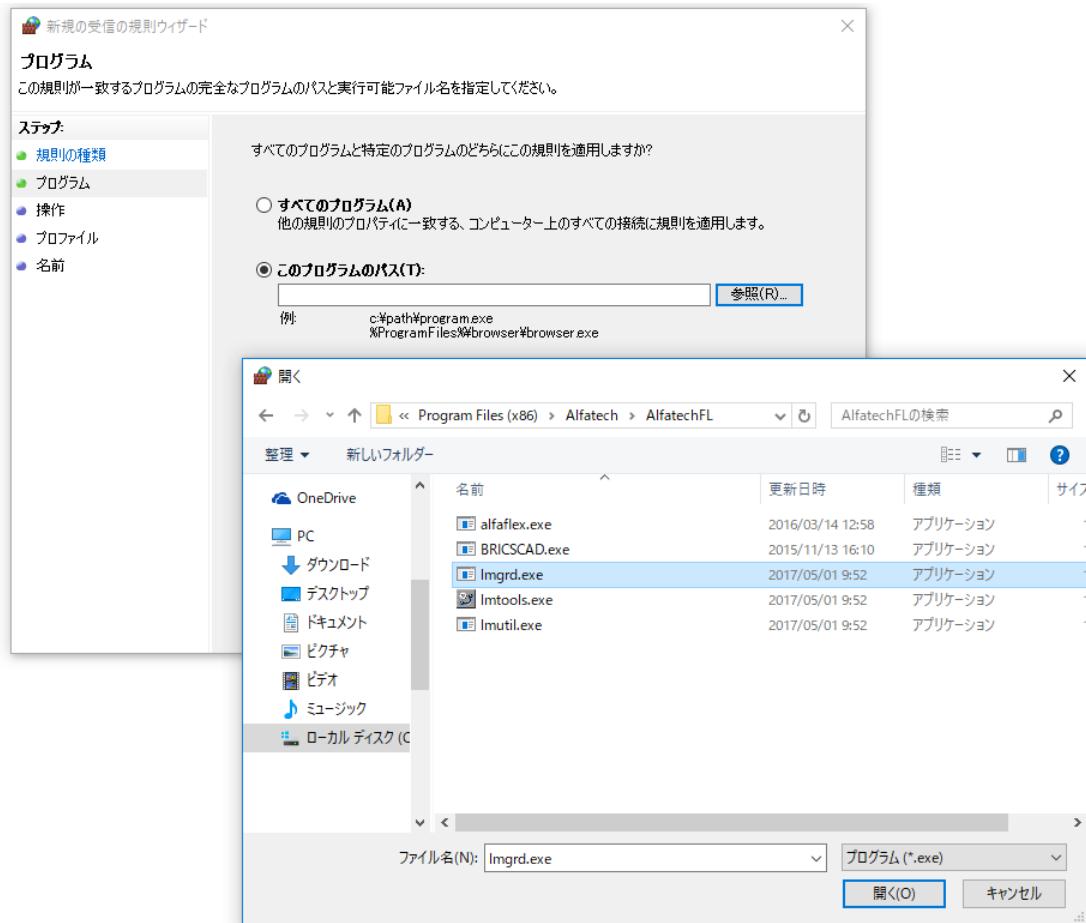
追加するプログラム: lmgrd.exe, alfaflex.exe

lmgrd.exe の追加操作例

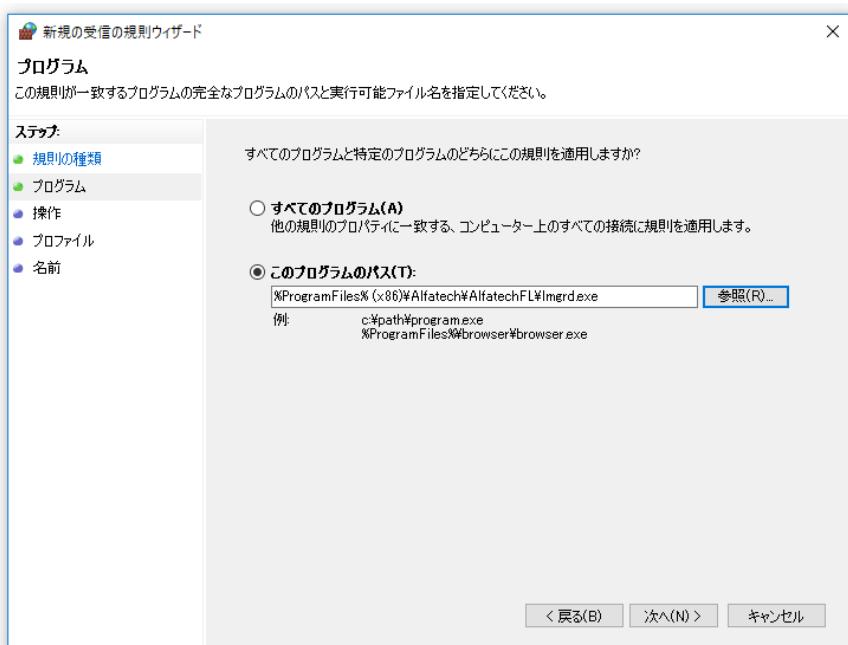
- 1) [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則] を選択し、[新しい規則] をクリックします。
- 3) 「規則の種類」にてプログラム(P)を選択し[次へ]をクリックします。



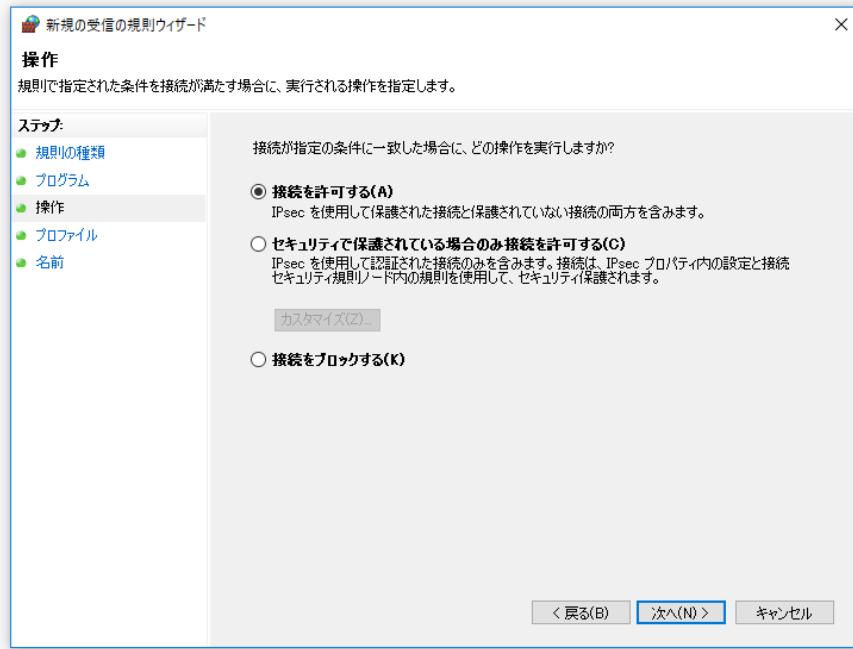
- 4) このプログラムのパスの[参照]ボタンをクリックし、lmgrd.exeを選択し、[開く]をクリックします。



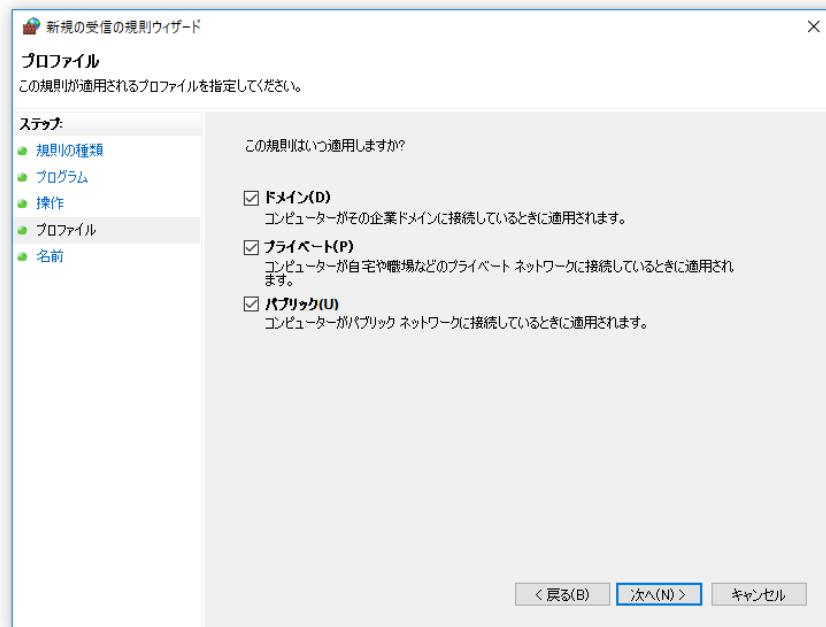
- 5) [次へ]をクリックします。



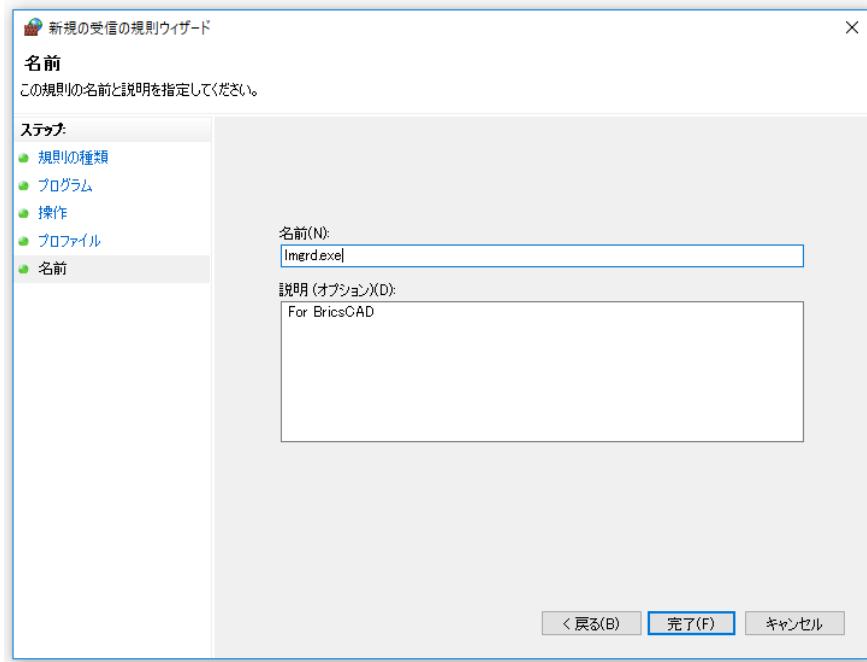
6) 操作にて、「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



7) プロファイルにて、すべての項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

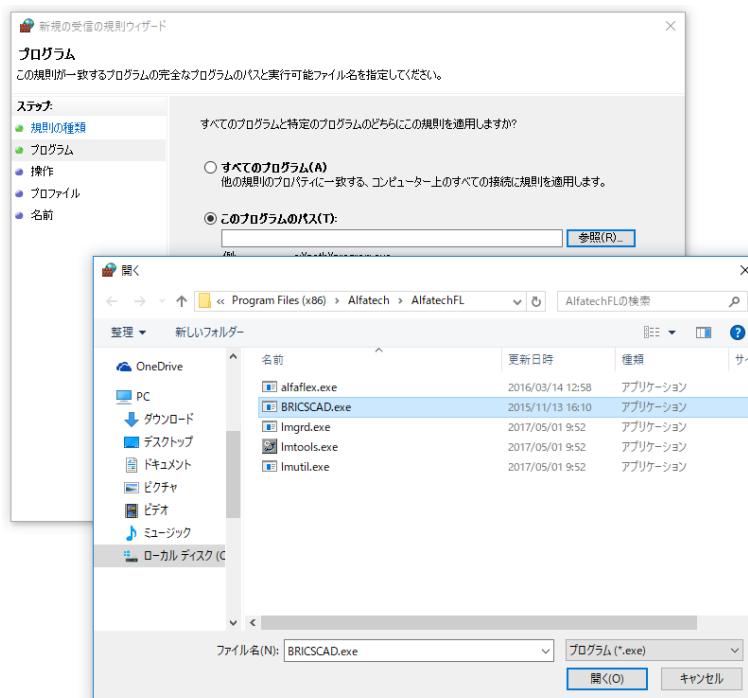


- 8) 名前にて、任意の名前と説明を入力します。(名前の例:lmgrd.exe)[完了]をクリックします。



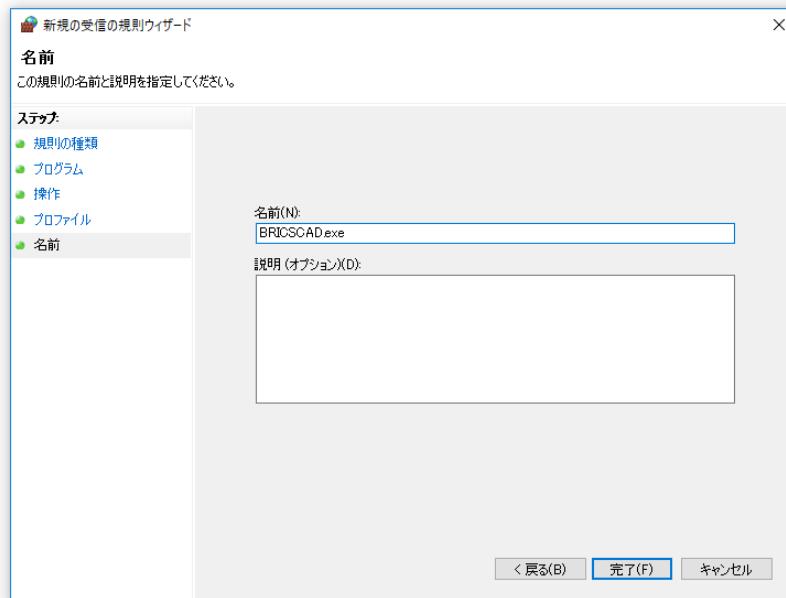
BRICSCAD.exe の追加操作例

- 1) [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」にてプログラム(P)を選択し[次へ]をクリックします。
- 4) このプログラムのパスの[参照]ボタンをクリックし、BRICSCAD.exe を選択し、[開く]をクリックします。



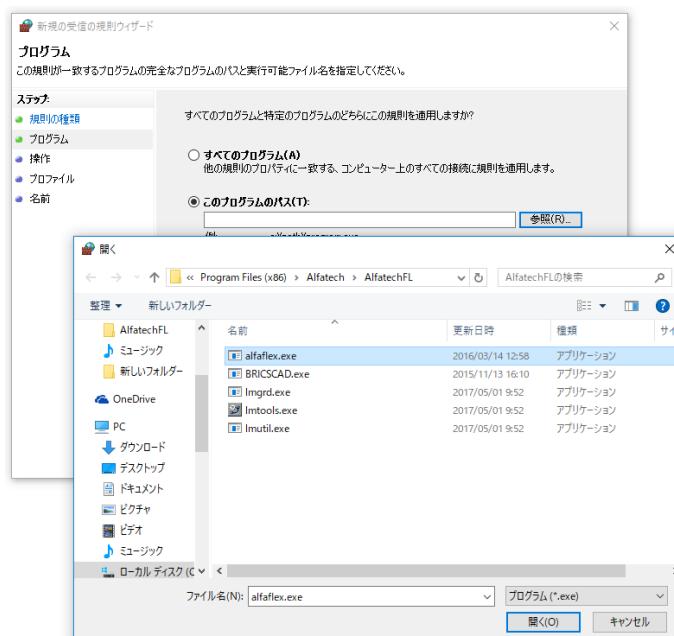
- 5) [次へ]をクリックします。

- 6) 操作にて、「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 7) プロファイルにて、すべての項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8) 名前にて、任意の名前と説明を入力します。(名前の例:BRICSCAD.exe)[完了]をクリックします。



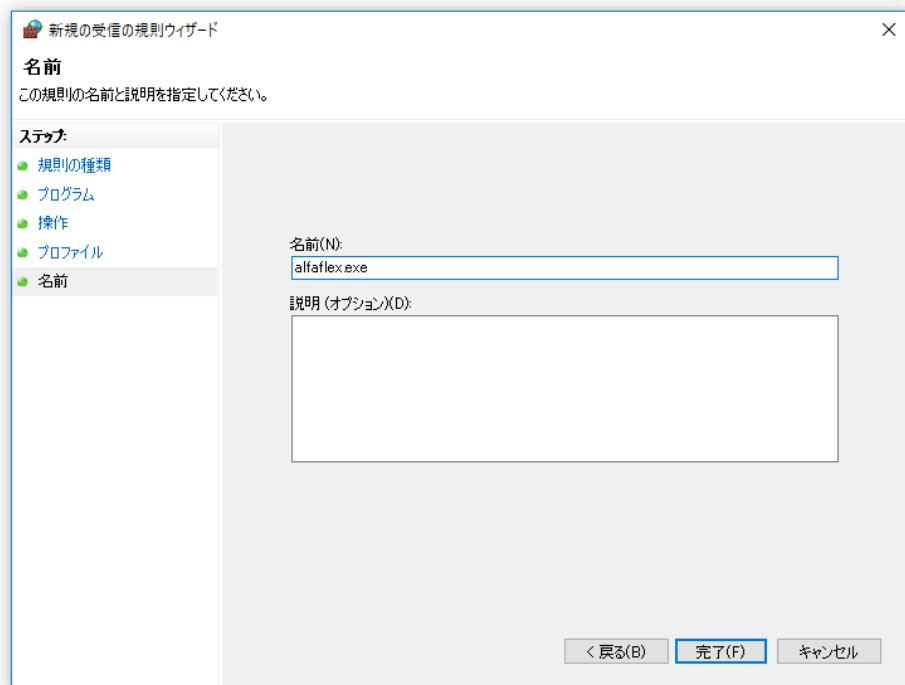
alfaflex.exe の追加操作例

- 1) [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を選択し「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」にてプログラム(P)を選択し[次へ]をクリックします。
- 4) このプログラムのパスの[参照]ボタンをクリックし、alfaflex.exe を選択し、[開く]をクリックします。

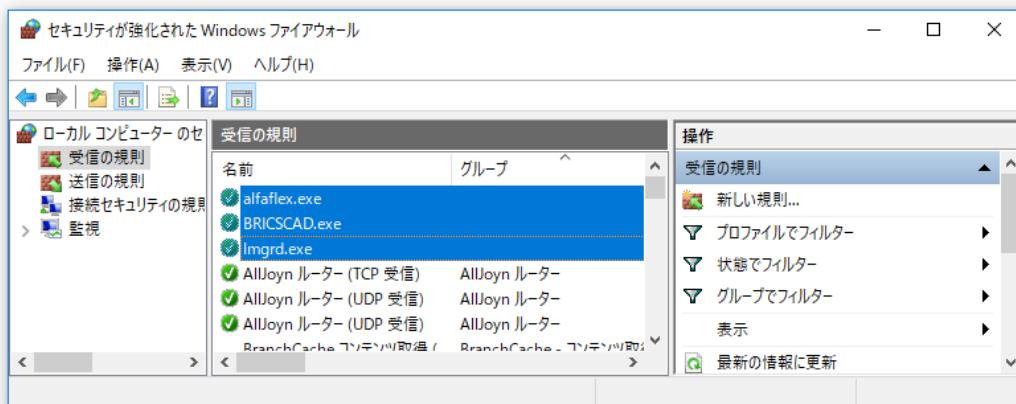


- 5) [次へ]をクリックします。

- 6) 操作にて、「接続を許可する」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 7) プロファイルにて、すべての項目にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8) 名前にて、任意の名前と説明を入力します。(名前の例:alfaflex.exe)[完了]をクリックします。



追加例外プログラム



分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して作業を行ってください。

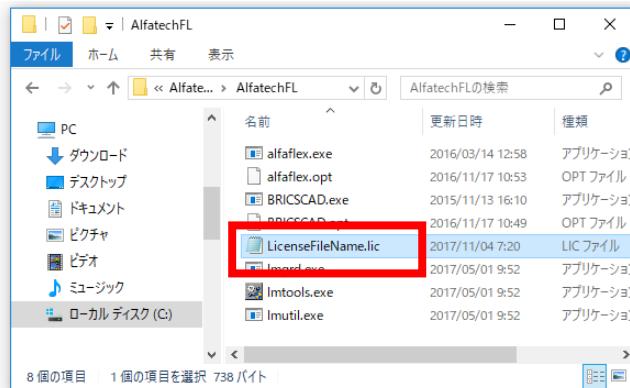
3. ライセンス用サービスの作成と起動

ライセンス用のサービスを作成し、開始する手順について説明します。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降の作業を行ってください。

1. ライセンスファイルのコピー

メールで取得されたライセンスファイルを、各サーバーの「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストールフォルダ（例：C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL）にコピーします。

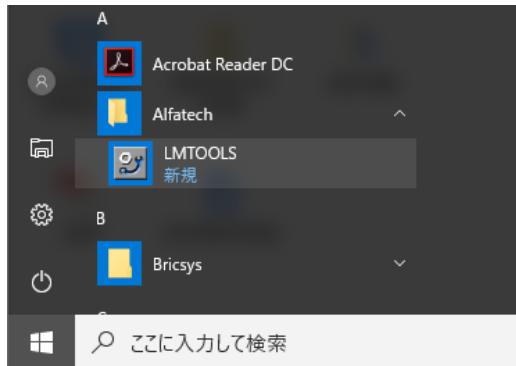


ライセンスファイル名は一例です。通常は製品名とライセンス数（例：BricsCADV**Pro10.lic 等）となっています。

2. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始

1) [スタート]メニューから「Alfatech」以下にある LMTOOLS を起動します。

OS によりスタートメニュー表示が異なります。スタートメニューから「Alfatech」フォルダを展開しそれ以下にある LMTOOLS を実行してください。

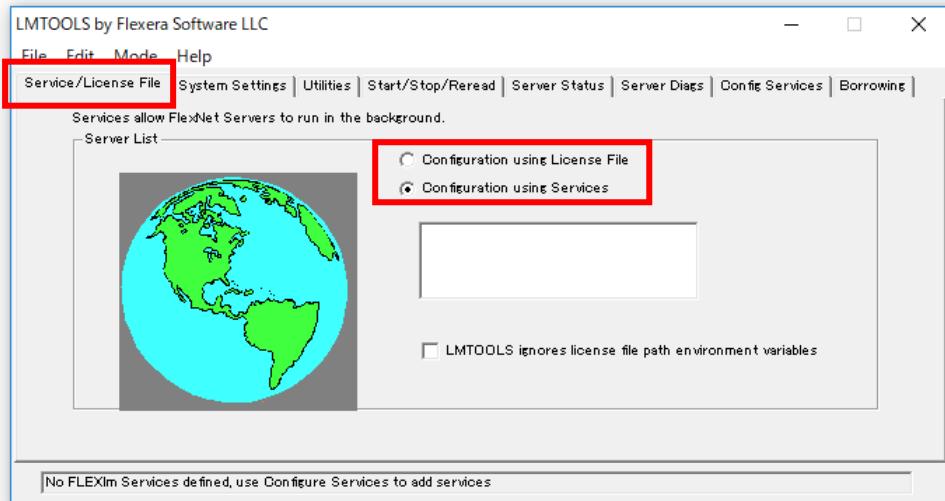


（ご注意）

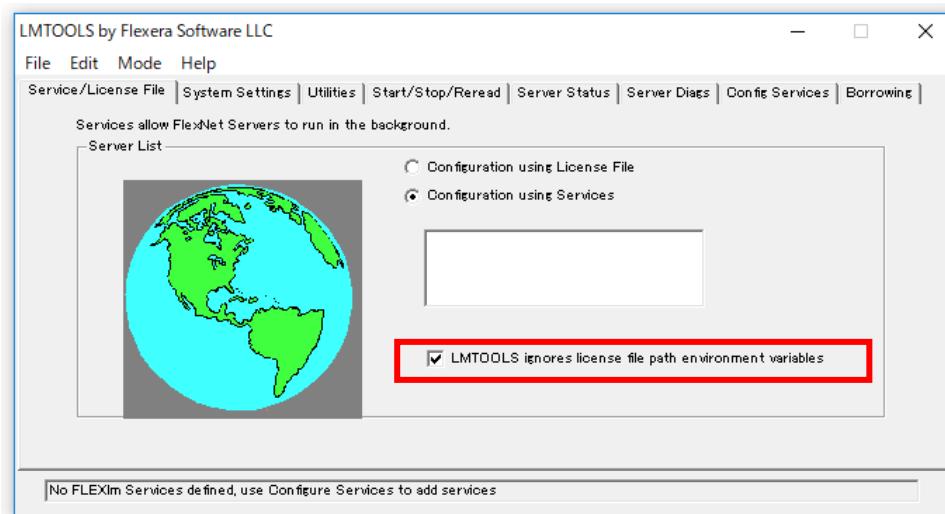
他社製品の FlexNet Publisher によるライセンス管理サービスをご利用になっている場合、他の場所にも同じ LMTOOLS が存在します。その場合も、BricsCAD、Alfatech 製品のライセンスサービス作成は、必ず「Alfatech」以下にある LMTOOLS をご使用ください。

2) LMTOOLS が起動します。「Service/License File」タブが表示されていることを確認します。

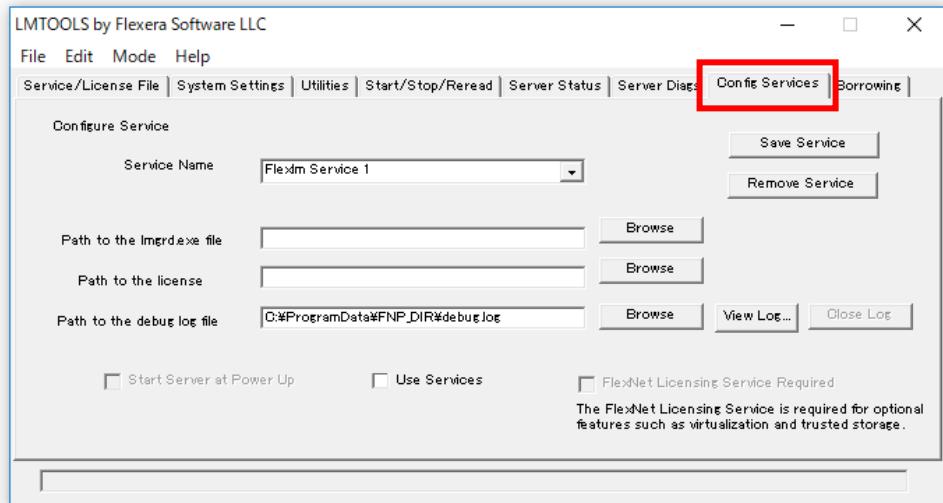
「Configuration using Services」が選択されていることを確認します。



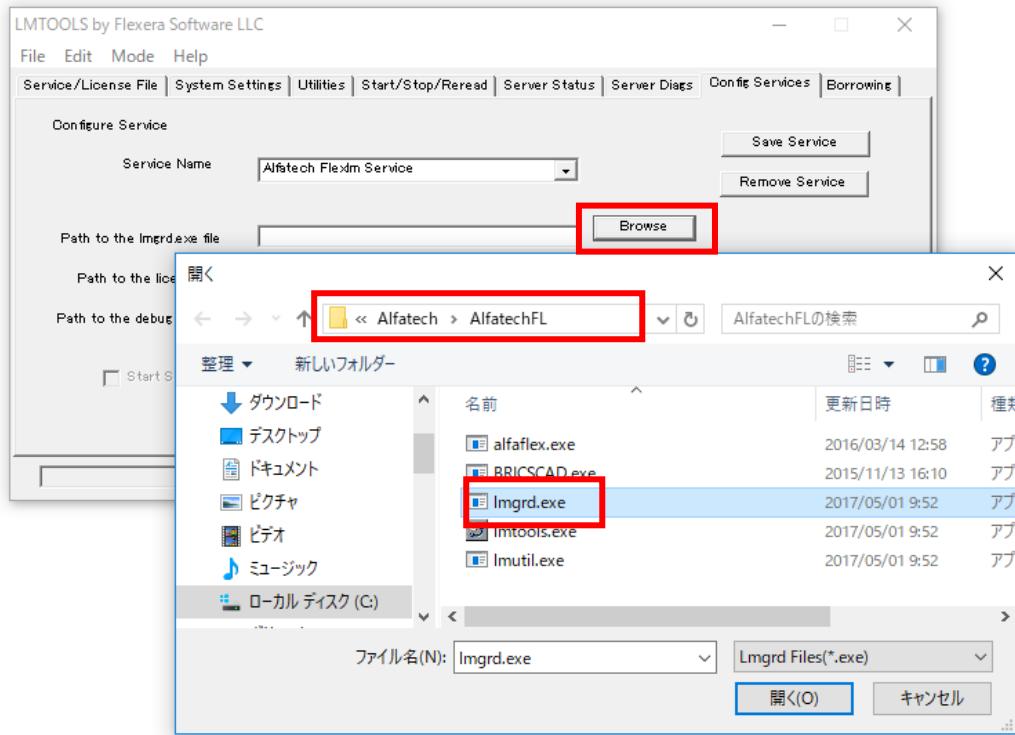
3) 「LMTOOLS ignores license file path environment variables」にチェックを入力します。



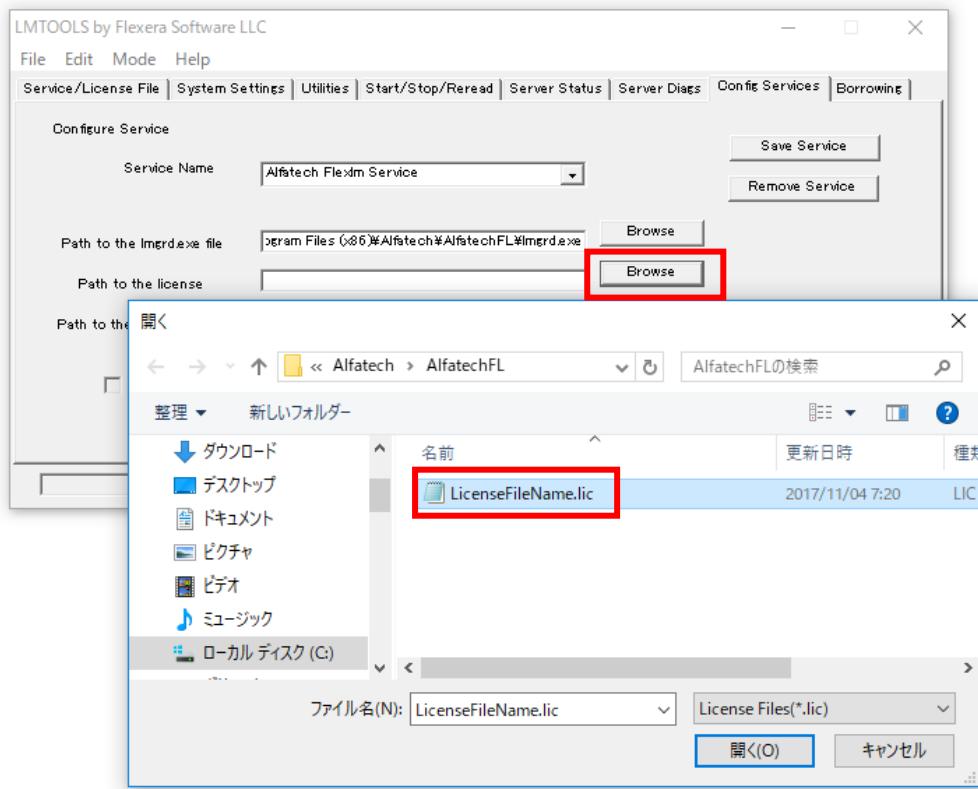
4) 「Config Services」タブをクリックし表示します。



- 5) Service Name を入力します。入力例:Alfatech Flexlm Service
- 6) Path to the lmgrd.exe file の[Browse]ボタンをクリックし、lmgrd.exeを選択し[開く]をクリックします。
- 例: C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe

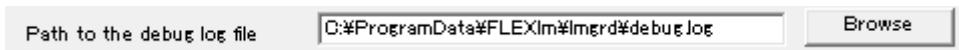


- 7) Path to the license の[Browse]ボタンをクリックし、ライセンスファイルを選択し[開く]をクリックします。
- 例: C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL***.lic



- 8) Path to the debug log file 項目でデバッグルогファイルを入力します。

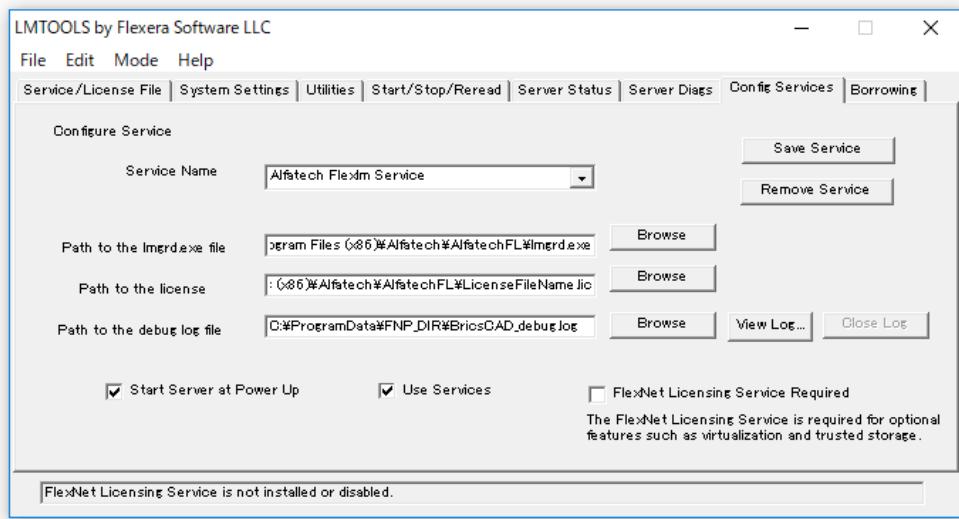
初期記述



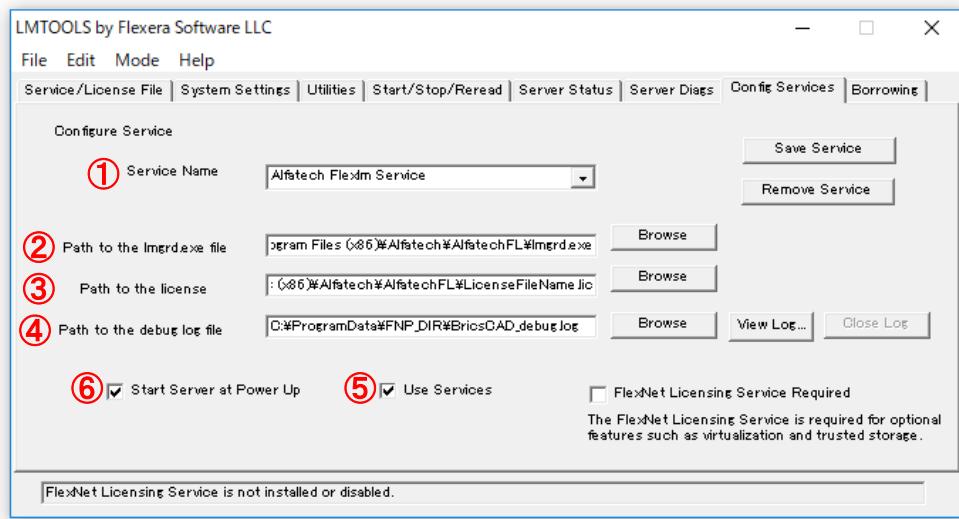
変更例



- 9) Use services と Start Server at Power Up にチェックを入力します。



【Config Services タブ項目説明】



- ① Service Name :任意の名前を入力します。(例:Alfatech Flexlm Services)
- ② Path to the lmgrd.exe file :提供メーカーがサービスで使用する lmgrd.exe を選択します。
(例: C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL\lmgrd.exe)
- ③ Path to license file :製品のライセンスファイルを選択します。
(例: C:\Program Files(x86)\Alfatech\AlfatechFL\LicenseFileName.lic)
- ④ Path to the debug log file:サービスが作成するデバッグルогファイルを入力、または選択します。

⑤ デバッグルогファイルはサービス保存時に指定フォルダに自動的に作成されます。必ず拡張時.log まで記入してください。

⑥ Use Services: Network License Manager がサービスとして動作します。必ずチェックを入力してください。

⑦ Start Server at Power Up: OS の再起動時に Network License Manager が自動的に起動します。

OS の再起動時にサービスを自動起動したくない場合のみチェックを未入力にしてください。その場合、OS 再起動時には任意に「Start/Stop/Reread」タブから[Start Services]押して、サービスを再開してください。

■デバッグルогについて (Path to the debug log file)

デバッグルогの作成先フォルダは %ProgramData% 以下などが推奨されます。

ログファイルの出力先フォルダは実在する必要があり、書き込み・編集権限が必要です。

デバッグルогファイルが存在しない場合は、サービス開始時に新たに作成されます。

作成されない場合は、ログ作成先フォルダに何らかの制限がかけられている可能性があります。その場合は、ログオンユーザーに対して書き込み・編集権限があるか確認してください。

もしくは、「4.サービスのアカウントの変更」を行って、サービスに対して「ローカルシステムアカウント」を有効にしてください。

デバッグルогファイルはサービスの再起動時に既存のものを上書きします。

上書きではなく、追加書き込みを行う場合は、パス名の先頭に+を追記してください。

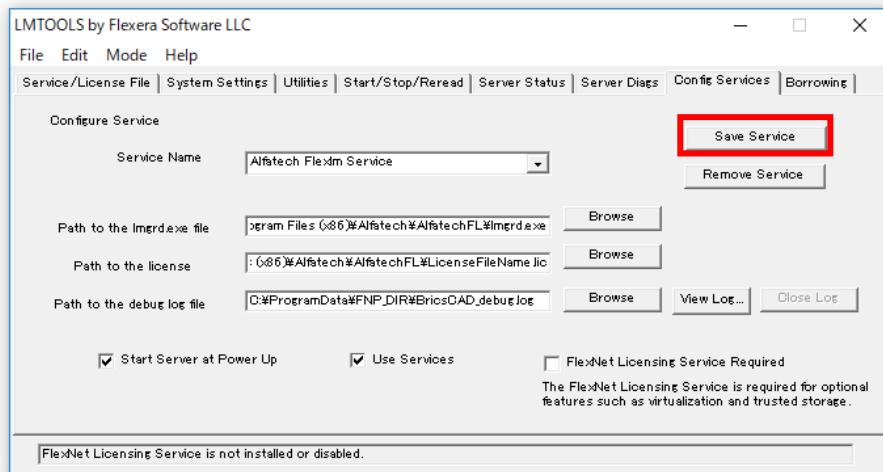
例: +C:\ProgramData\FNP_DIR*****.log

※先頭に+を追加された場合、[View Log]ボタンからのログ表示はできません。パスのエラーとなります。

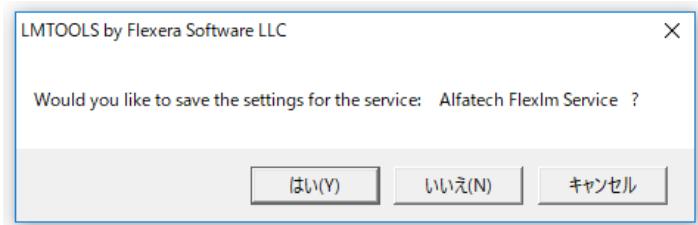
直接エクスプローラなどからデバッグルогファイルをエディタまたはメモ帳などで開いてください。

随時書き込まれますのでファイル容量が増えます。定期的にバックアップされることをお勧めします。

10)[Save Service]ボタンをクリックします。



11)[Save Service]ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。[はい(Y)]ボタンをクリックし、設定値を保存します。

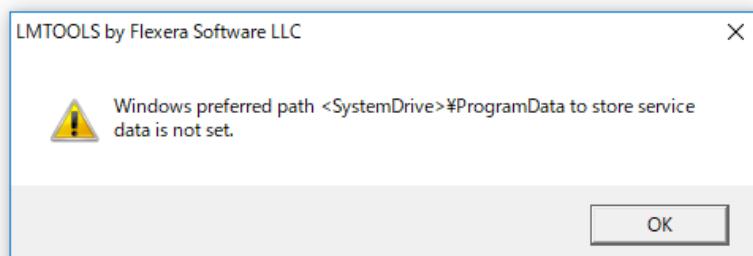


(サービス保存時のご注意)

“11)”手順の[はい]をクリックした後に、下記のメッセージが表示される場合は、ログ作成先フォルダに何らかの制限がかけられる可能性があり、サービスの開始ができません。

次の“12)”手順実行前に、ログオンユーザーに対して書き込み・編集権限があるか確認し権限を与えてください。

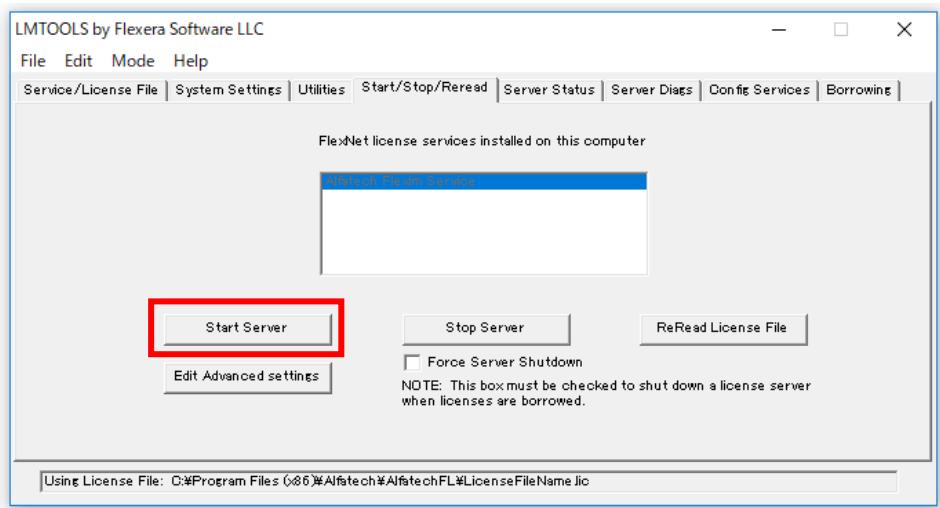
または、「4.サービスのアカウントの変更」を行って、サービスに対して「ローカルシステムアカウント」を有効にしてください。



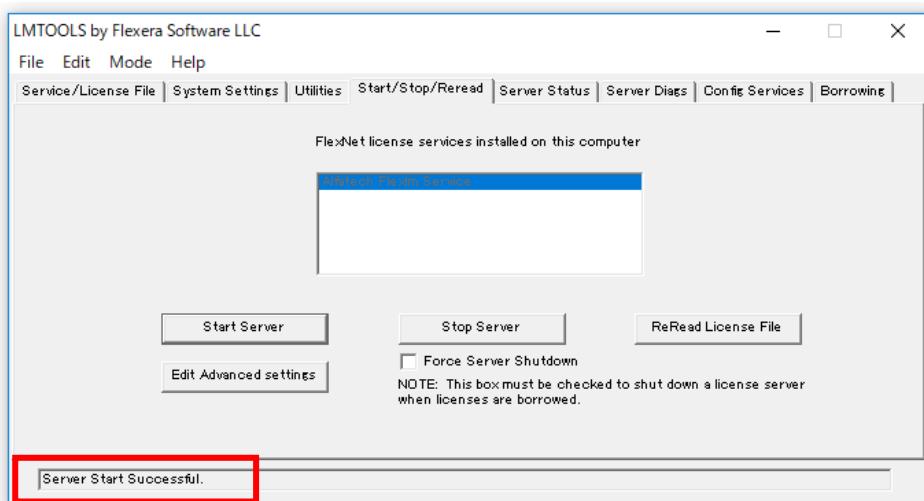
- 12)「Start/Stop/Reread」タブを選択します。[Start Server]ボタンをクリックします。
サービスが開始します。ダイアログ下のステータスに「Server Start Successful.」と表示されたことを確認します。

ここまで の作業を、すべての対象サーバーにて実施後、次の動作確認を行ってください。

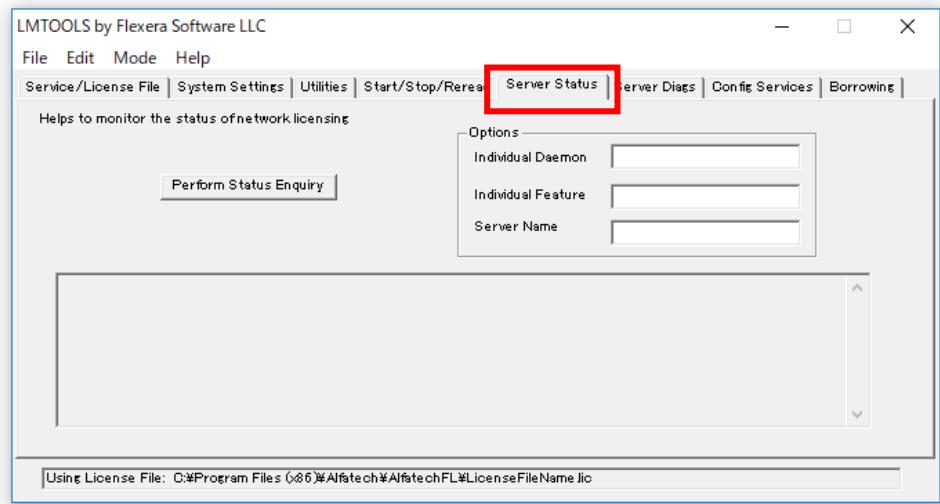
3. 動作確認



ライセンスサービスが正常に起動しているかを確認します。

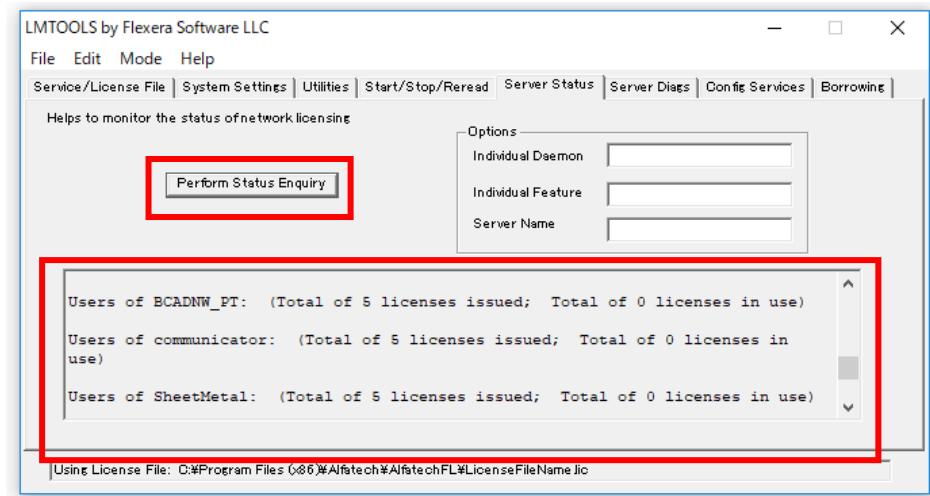


- 1) 「Server Status」タブを選択します。



- 2) [Perform Status Enquiry]ボタンをクリックします。

下部にライセンスの状態が表示されます。正常な場合、トータルのライセンス数などが確認できます。



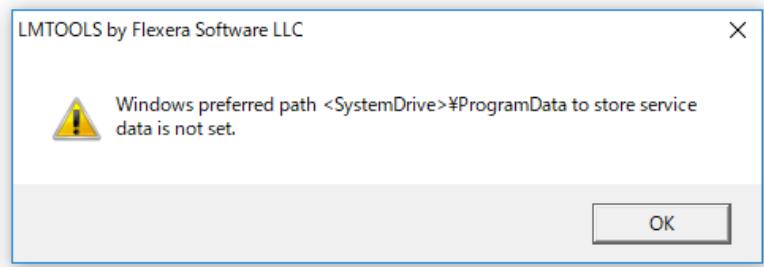
- 3) LMTOOLS はメニューより[File]-[Exit]を選択して終了します。

4. サービスのアカウントの変更

FlexNet Publisher 11.13.1 より、サービスの権限に不要な管理者権限を付加しないように仕様が変更されました。その為、「Path to the debug log file」に指定したファイルの場所の設定によっては、LOG ファイルの作成・更新ができないため、サービスのアカウントの設定を変更する必要があります。

LMTOOLS の「Config Services」でサービスを保存したときに以下のメッセージが表示される場合があります。

[メッセージ表示ダイアログ例]



メッセージが表示された場合は、ログ作成先フォルダに何らかの制限がかけられている可能性があり、LOG ファイルの作成・更新ができず、サービスの開始ができません。

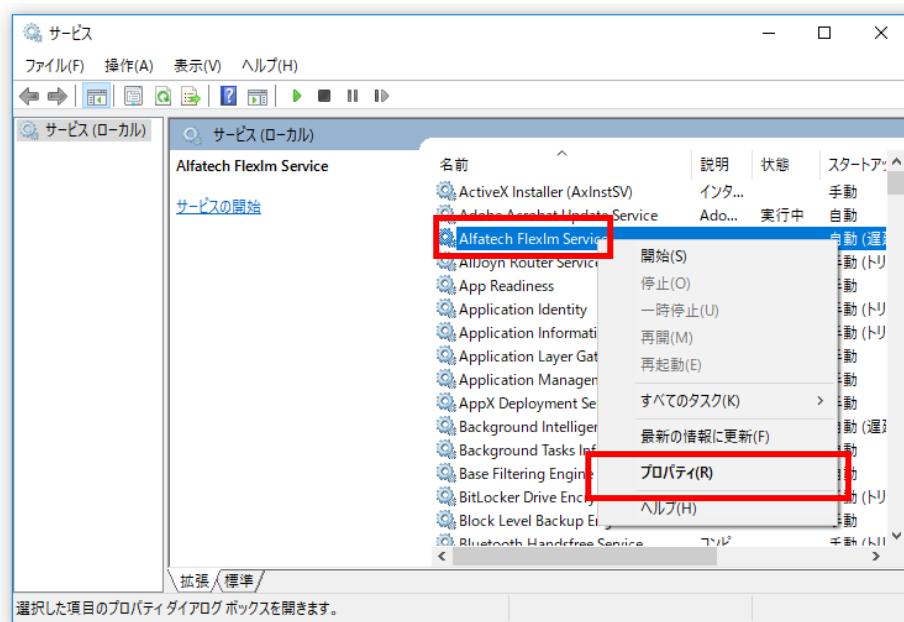
以下の内容を確認してください。

- ・「Path to the debug log file」の設定先を[<SystemDrive>\ProgramData]以下に設定する
- ・「Path to the debug log file」の設定先のフォルダに、ログオンユーザーに対して書き込み、編集権限を与える

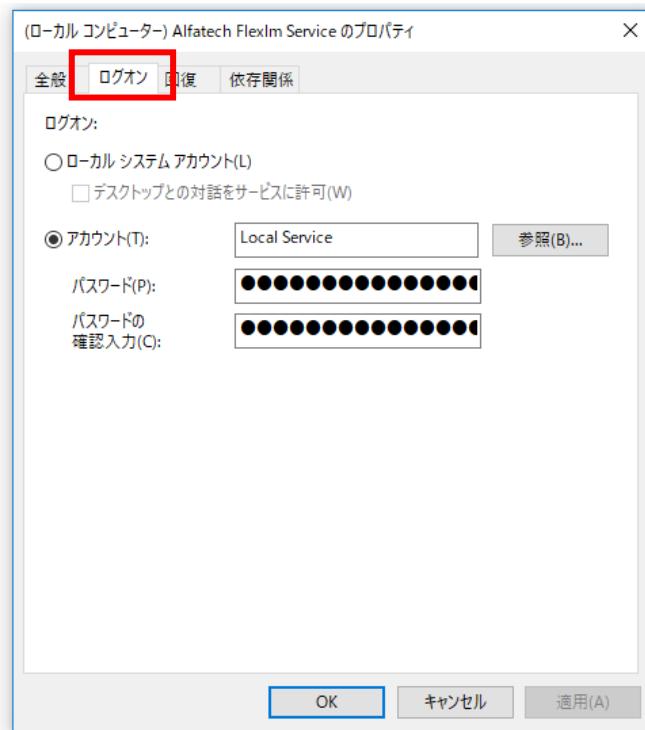
上記を確認しても log ファイルが作成、更新されない場合は、下記の手順にて設定の変更を行います。

1) Windows のコントロールパネルより「管理ツール」-「サービス」を起動します。

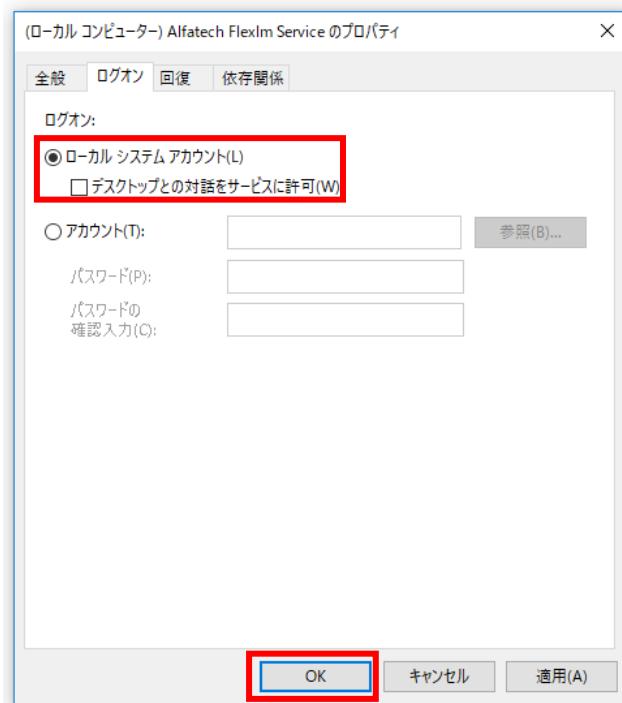
作成したサービス名(本書の例では Alfatech Flexlm Service)を選択し、右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。



2) (ローカルコンピュータ) サービス名 のプロパティ が表示されます。「ログオン」タブを選択します。



3) 「ローカルシステムアカウント」を選択し、[OK]をクリックします。



※サービスの開始について

(ローカルコンピュータ) サービス名 のプロパティの「全般」タブでもサービスを開始することができます。

直接サービスを開始された場合は、「3. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始」の 7) の手順以降は不要です。

設定終了後、「3. LMTOOLS の起動とサービスの作成と開始」の 7) 手順に戻って開始と確認を行ってください。

4. ライセンスファイルの変更

本章は、製品、またはライセンス数の変更など、ライセンスファイルを取得しなおした場合にライセンスファイルを変更する手順について説明しています。ライセンスファイルを差し替える場合にご参考ください。

1. ライセンスファイルの取得

ライセンスファイルは図研アルファテックから発行します。ご変更状態に応じて送付いたします。

取得されましたファイルをサーバーの所定の場所にコピーしてください。

2. ライセンスファイルの置き換え

- 1) Windows のスタートアイコンから[A]-[Alfatech]-[LMTOOLS]を選択し起動します。
- 2) LMTOOLS by Flexera Software, Inc の「Start/Stop/Reread」タブを選択します。
- 3) [Stop Server]を押します。
- 4) [Config Services]タブを選択します。
- 5) Path to the license file 項目で[Browse]ボタンをクリックし、新しいライセンスファイルを選択します。
- 6) [Save Service]ボタンをクリックし、表示するメッセージで[はい]をクリックします。
- 7) 「Start/Stop/Reread」タブを選択し、[Start Server]ボタンをクリックします。

3. ライセンスの確認

- 1) 「Server Status」タブを選択し、[Perform Status Enquiry]ボタンをクリックします。
- 2) 下画面に使用できるライセンスが表示されることを確認してください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して作業を行ってください。

4. ライセンスファイル更新時のクライアント動作

ライセンスファイル変更中に、サーバーのサービスはストップします。

サービスがストップした状態で、BricsCAD を起動すると以下のメッセージが表示され起動できません。



サーバーのサービスをストップする前にクライアントが BricsCAD を起動していた場合、継続して BricsCAD の使用が可能です。

サーバーからのライセンスの取得を BricsCAD 起動時に行うためです。BricsCAD 操作中はサーバーへのライセンス確認は行われません。

BricsCAD を終了すると次の起動時に改めてライセンスを取得しようとするため、サーバーのサービスが開始されるまで BricsCAD は起動できません。

5. エラーメッセージ

ここでは、お問い合わせいただきましたエラーメッセージを抜粋した例と、その原因と対策をご紹介します。

サービスが開始されない場合、または何らかのエラーとなります場合、LOG ファイルの確認を行ってください。

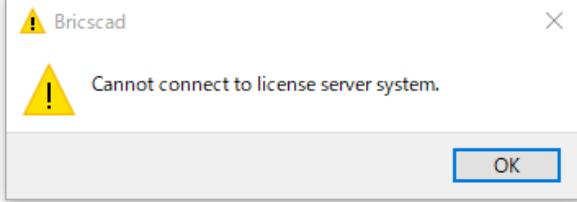
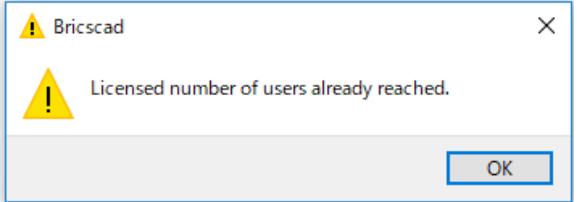
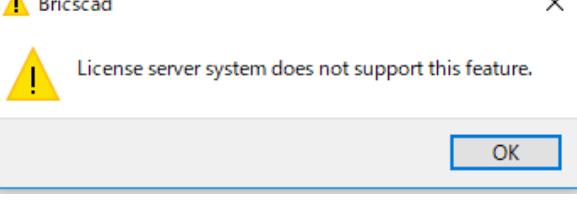
BricsCAD、BricsCAD オプションのベンダー名:BRICSCAD

Alfatech 製品のベンダー名:alfaflex

1. サーバー側エラー例

サーバー ログエラー記述例	原因と対策例
現象: サービスが開始できない ベンダー名: The desired vendor daemon is down. Check the lmgrd log file, or try lmread. Vendor:Host: サーバーマシン名 License path: ポート番号@サーバーマシン名; FLEXnet Licensing error:-97,121	ライセンスファイルの Eaternet Adress とサーバーの Eaternet Adress が異なっている可能性があります。 サーバーの変更、または NIC カードの変更をされた場合、ライセンスファイルの再発行が必要です。 サポートまでお問い合わせください。
現象: ログファイルに何も書き込まれ無い	ログファイルに書き込み権限がない可能性があります。 本マニュアルの p30「サービスアカウントの変更」操作をご参考ください。
現象: サービスが開始できない lmgrd is not running: Cannot connect to license server system. The license server manager (lmgrd) has not been started yet, the wrong port@host or license file is being used, or the port or hostname in the license file has been changed. Server name: サーバーマシン名 License path: ポート番号@サーバーマシン名; FLEXnet Licensing error:-15,570	ライセンスファイルと実際のサーバー名が不一致となっている可能性があります。 ライセンスファイル記載のサーバー名とライセンスファイル設置サーバーの名前が一致しているかをご確認ください。 または、同じベンダーを指定したサービスが複数作成されていないかを確認してください。 複数ある場合、すべてのサービスを停止して 1 つを除いて削除してください。 その後サービスを開始してください。
(lmgrd) FlexNet Licensing error:-1,359	LMTOOLS の「Service/License File」タブの「LMTOOLS ignores license file path environment variables」にチェックが無い時に表示されます。チェックを入力してください。

2. クライアント側エラー例

クライアント BricsCAD 起動時のメッセージ例	原因と対策例
Cannot connect to license server system	<p>クライアント BricsCAD 起動時のメッセージ例</p>  <p>原因と対策例</p> <p>サーバーのサービスが停止している可能性があります。</p> <p>サーバーで Windows の「コントロールパネル」-「管理ツール」-「サービス」にて、サービスが停止しているかをご確認ください。</p> <p>停止している場合は、開始を実行し、再度クライアントから BricsCAD を起動してください。</p> <p>クライアントとサーバー間で TCP/IP での通信ができない可能性があります。</p> <p>本マニュアル p17「Windows ファイアウォールの設定」をご参考ください。</p> <p>または、サーバー、クライアント間で名前解決ができるかをご確認ください。</p> <p>クライアント、サーバー間の通信の問題につきましては、御社システム管理者の方にご相談をお願いいたします。</p>
Licensed number of users already reached	<p>クライアント BricsCAD 起動時のメッセージ例</p>  <p>原因と対策例</p> <p>ライセンス数の上限に達しているときに、表示されます。</p> <p>ライセンスマニタで、使用ライセンスと使用ユーザーをご確認ください。</p> <p>現在ご使用にならない PC がありましたら、BricsCAD を終了してください。</p>
License server system does not support this feature.	<p>クライアント BricsCAD 起動時のメッセージ例</p>  <p>原因と対策例</p> <p>ライセンスマニタで、使用ライセンスと使用ユーザーをご確認ください。</p> <p>ライセンス管理されていない製品、グレードをご使用になったときに表示されます。</p> <p>例えば、サーバーで Classic グレードがライセンス管理されているときに、クライアント PC で Platinum グレードをインストールして、起動した場合に本メッセージが表示されます。</p> <p>[OK]をクリックして終了し、クライアント PC でサーバーでライセンス管理されております製品グレードのインストーラを実行して、BricsCAD の入れ替えを行ってください。</p>

IV. クライアントインストーラ作成

クライアント PC にサーバー接続情報(BricscadNW)を持つ BricsCAD をインストールするためのインストーラの作成方法について説明します。

初回(ご注文内容により)図研アルファテックが作成し、出荷物に同梱されている場合もあります。

クライアントインストーラは、グレードごとの作成になります。

BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合など、必要に応じて再作成してください。

1. クライアントインストーラ

クライアントインストーラについて説明します。

1. BricsCAD クライアントインストーラとは

BricsCAD クライアントインストーラはライセンスサーバーへの接続情報(BricsCADNW)を含むインストーラのことです。

ネットワークライセンスでご使用になる場合は、クライアント PC への最初のインストールは必ずクライアントインストーラを使用する必要があります。

クライアントインストーラには以下のものが含まれます。

- BricsCAD
- サーバー接続情報 (Alfatech、BricsCAD(グレード)NW(**) V**) ^{※1}
- ライセンスモニタ^{※2}
- ライセンス借用オプション^{※2}

※1 グレード部分は、インストールされた BricsCAD のグレードと同じ名称となります。

BricsCAD Lite V** 64bit 版をインストールした場合

AlfatechBricsCAD(Lite)NW(x64) 20** がインストールされます。

※2 クライアントインストーラを作成途中のダイアログで任意に含める・含めないを指定できます。

使用ライセンスをクライアントユーザーに公開したくない場合や借用を許可しない PC がある場合などにチェックをオフにしてください。

2. 事前準備

1) クライアント用インストーラのフォルダ作成

インストーラ用のフォルダを作成します。

共有サーバー上に作成する場合は、作成フォルダを共有設定してください。

クライアント用インストーラの共有フォルダのアクセス許可はフルコントロールにしてください。

例: ファイルサーバーの共有フォルダ先にクライアント用インストーラのフォルダを作成

¥¥serverPC¥Software¥BricsCADNWV

例: ローカル PC 上にクライアント用インストーラのフォルダを作成 (V** は作成バージョン)

C:¥Users¥Public¥BricsCAD Client Installer¥V**

2) ライセンスファイルの確認

ライセンスファイルは図研アルファテックから発行されております。ライセンス情報ファイル (*.lic) をご準備ください。

3) BricsCAD インストーラの準備

クライアントにインストールする BricsCAD のインストーラを任意の場所にコピーします。

お手元に無い場合は、Bricsys サイト(https://www.bricsys.com/ja_JP)にログインし、ダウンロードしてください。

BricsCAD インストーラ名例

BricsCAD-V**.*.*x-*-ja_JP(x64).msi

- 4) BricsCAD プロファイル Default 用の初期設定の準備(必ずしも必要ではありません)
 - 「2. プロファイル初期設定ファイル」をご参考の上、必要に応じて作成してください。
- 5) ライセンス管理(FlexNet)サービスをダウンロードし、解凍します

※ライセンス管理(FlexNet)サービスがお手元に無い場合は下記 URL からダウンロードしてください。

<https://www.bj-soft.jp/support/download/BricsCADNWFNP.html>

3. クライアントインストーラの作成(標準)

クライアント用 BricsCAD NW インストーラの作成方法について説明します。

一連の作業は Administrator または管理者権限を持つユーザーでログインして行ってください。

- 1) ライセンス管理(FlexNet)サービスのフォルダ内にある **BricscadNWSetup.exe** をダブルクリックします。
- 2) [BricsCAD NW クライアントインストーラの作成]ボタンをクリックします。



- 3) BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザードが表示します。

[標準]を選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

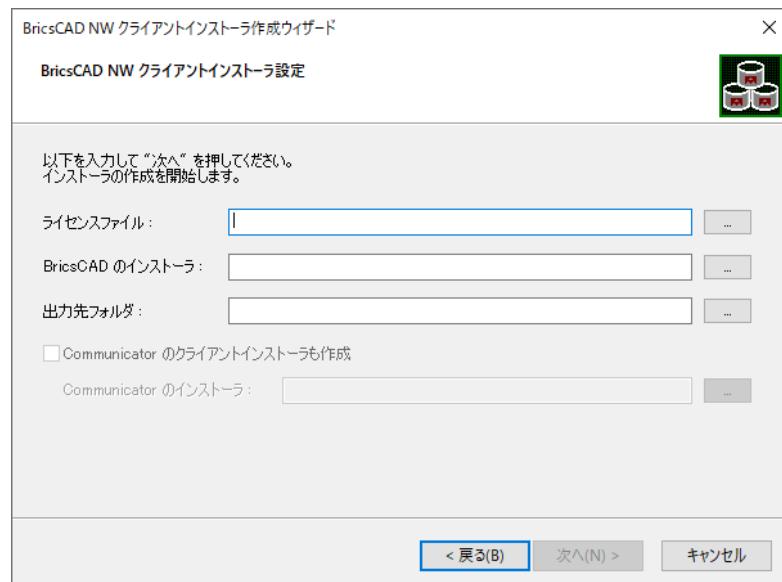


[標準]: 通常の場合選択します。

[カスタム(上級者向)]: クライアント PC で V24 とそれ以外のバージョンを使用する場合に選択します。

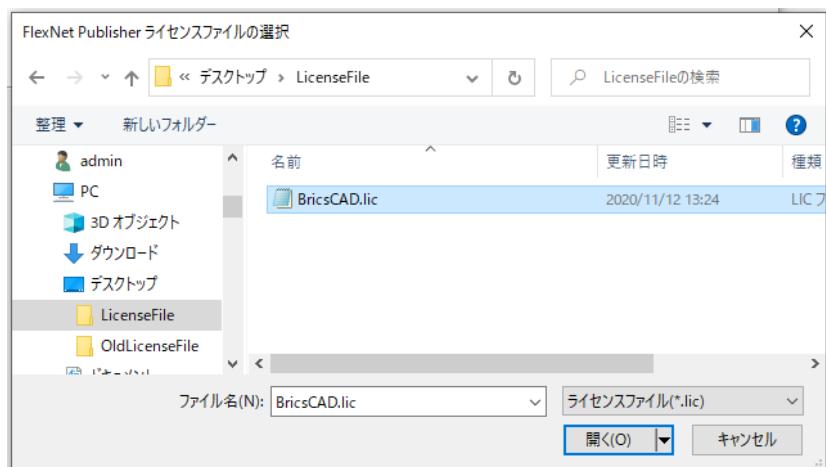
4) クライアントインストーラ設定画面が表示します。

ライセンスファイル右側の[...]をクリックします。



5) FlexNet Publisher ライセンスファイルの選択が表示します。

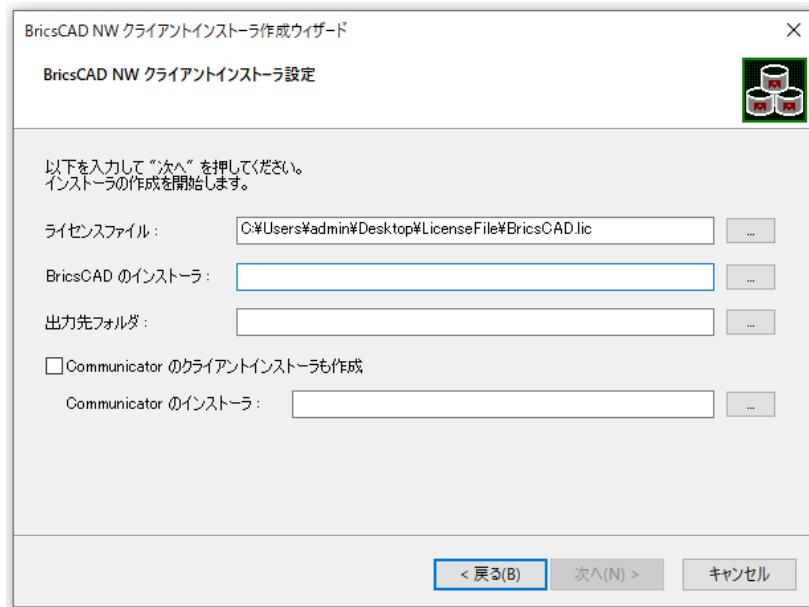
ライセンスファイルを選択し、[開く(O)]をクリックします。



※冗長・分散構成の場合、「4.クライアントインストーラの作成(カスタム)」をご参照ください。

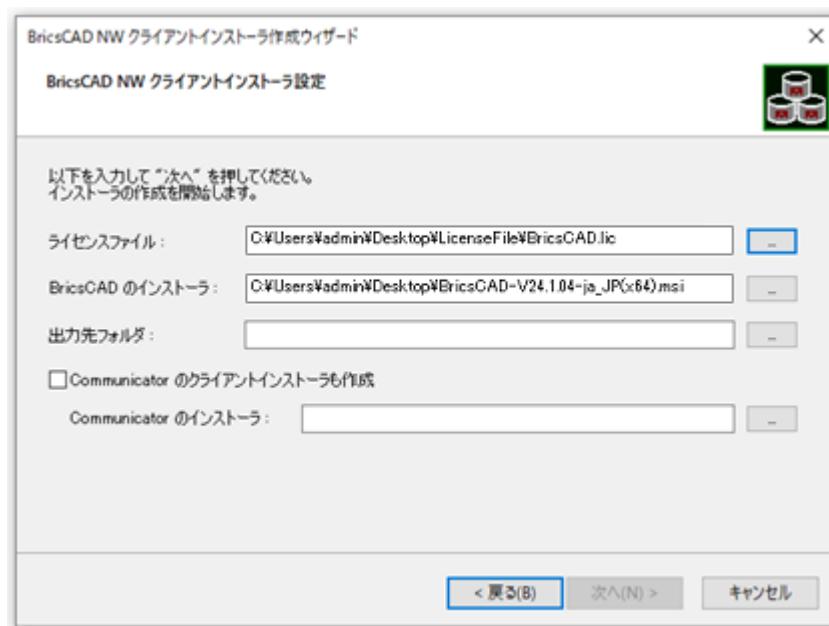
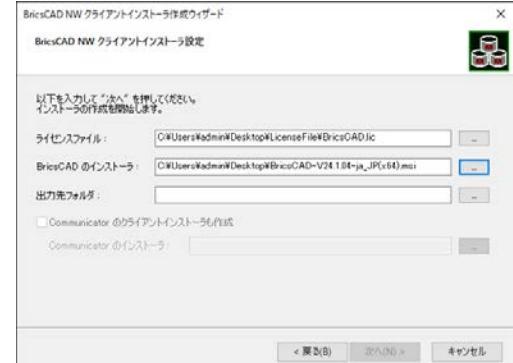
6) BricsCAD のインストーラを選択します。

BricsCAD のインストーラ右側の[...]をクリックし、インストーラを選択します。



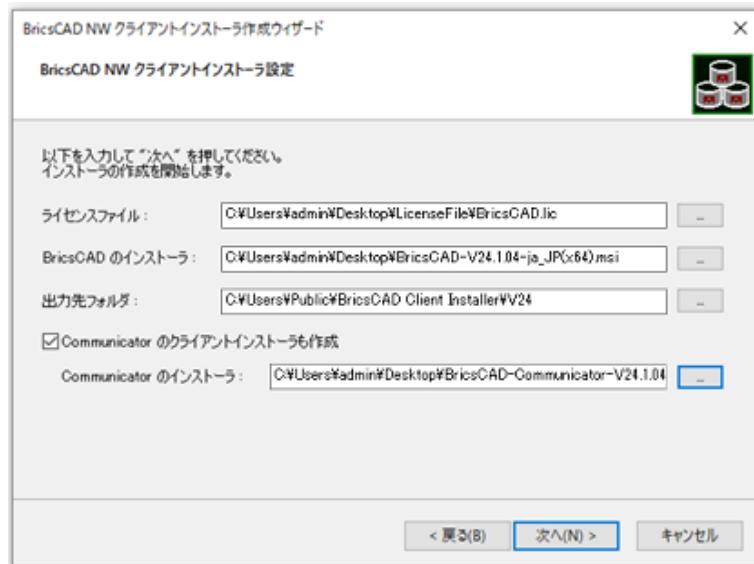
選択したライセンスファイルに Communicator のライセンスが無い場合、「Communicator のクライアントインストーラ作成」はグレーアウト状態のままで選択することはできません。

イメージは BricsCAD V24 の選択例例 (V26 も同様です)



7) 出力先フォルダを設定します。

出力先フォルダ右側の[...]をクリックして、クライアントインストーラの出力先フォルダを指定します。必要に応じて、BricsCAD Communicator のクライアントインストーラの作成、とそのインストーラを指定します。



8) [次へ(N)]をクリックします

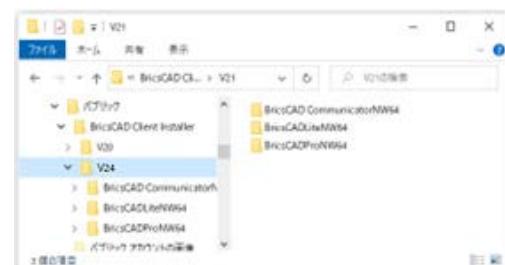
9) インストーラの作成が始まります。

完了が表示されます。[完了]をクリックします。



選択したライセンスファイルに Lite、Pro、Communicator、BIM と Mechanical のライセンスがある場合のクライアントインストーラ フォルダ作成例。

作成されるフォルダはライセンスファイルの記述より自動判断されます。



4. クライアントインストーラの作成(カスタム)

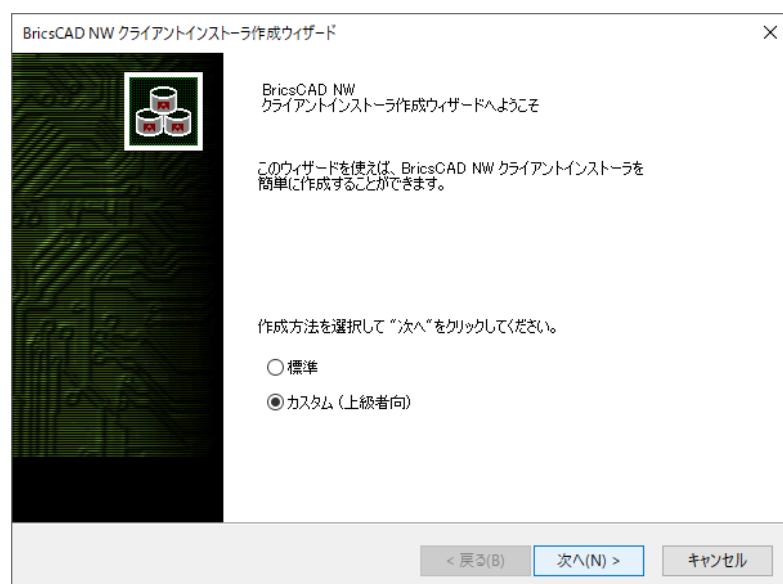
複数のサーバー(分散、冗長)でライセンスを管理する場合、また、バージョンアップ移行期間などで1台のPCに異なるBricsCADバージョンをインストールし使用される場合は、「カスタム」を使用してクライアントインストーラを作成します。

一連の作業はAdministratorまたは管理者権限を持つユーザーでログインして行ってください。

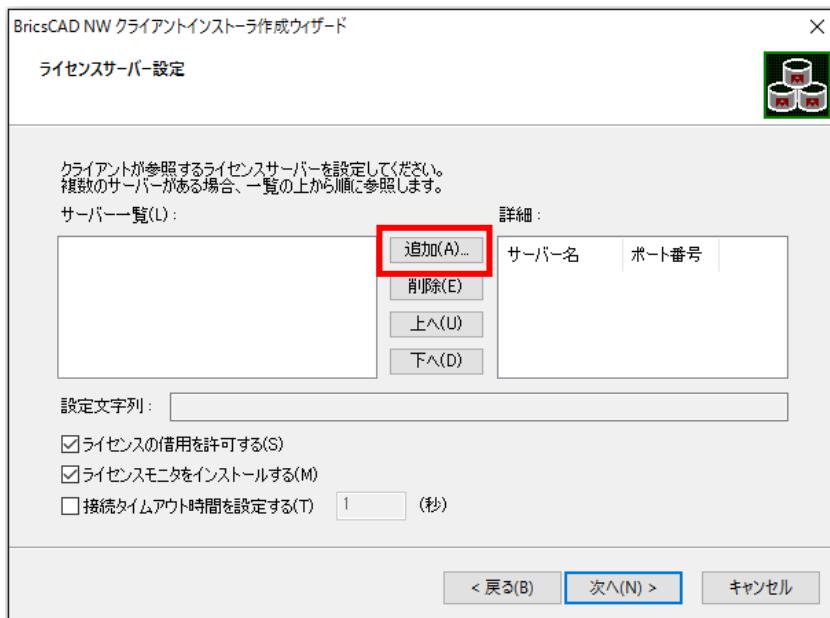
- 1) ライセンス管理(FlexNet)サービスフォルダ内の **BricscadNWSetup.exe** をダブルクリックし起動します。
- 2) 「BricsCAD NW クライアントインストーラの作成」ボタンをクリックします。



- 3) BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザードが表示します。
[カスタム(上級者向)]を選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。



4) ライセンスサーバー設定画面が表示します。[追加(A)]ボタンをクリックします。



[ダイアログボタン説明]

追加:ライセンスファイルを選択します。

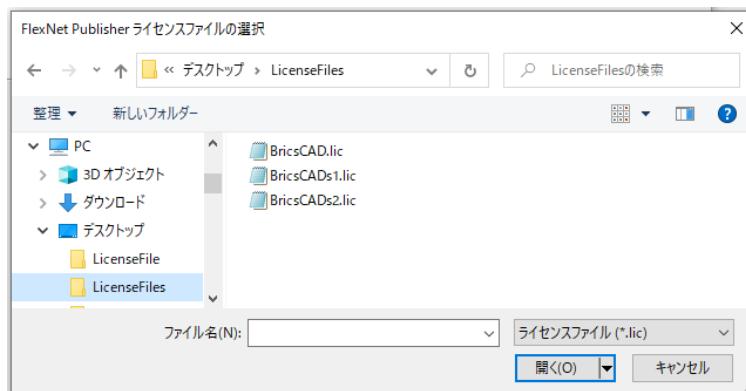
削除:左側のサーバー一覧から選択したサーバー情報を削除します。

上へ/下へ:分散構成など、複数サーバーを設定する場合使用します。

選択したサーバー名を上、または下に移動します。

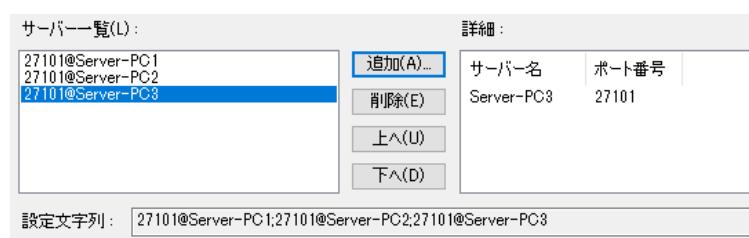
5) FlexNet Publisher ライセンスファイルの選択が表示します。

ライセンスファイルを選択し、[開く(O)]をクリックします。



※分散構成の場合、[追加(A)]ボタンを押してすべてのライセンスファイルを登録してください。

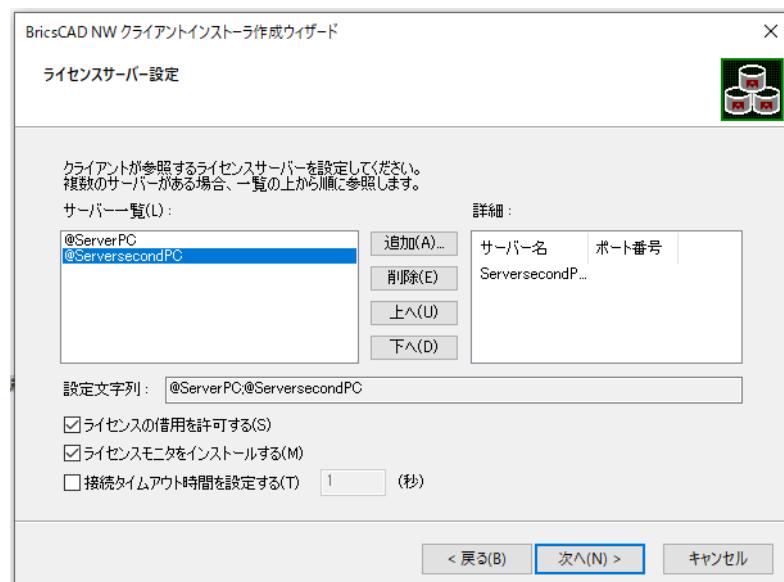
冗長構成のライセンスファイルを追加した例



分散構成として、ライセンスファイルを 2 つ追加した例



6) ライセンスサーバー設定ダイアログにて、オプションを選択し[次へ]をクリックします。



[オプション]

ライセンスの借用を許可する デフォルト: チェック有り

クライアント PC にライセンス借用を許可する場合チェックを入力してください。

クライアント PC をオフラインで使用する可能性がある場合、チェックを入力してください。

ライセンスモニタをインストールする デフォルト: チェック有り

クライアントから現在のライセンス使用状況を確認したい場合はチェックを入力してください。

ライセンスの借用/ライセンスモニタの詳細につきましては、付録の章をご参考ください。

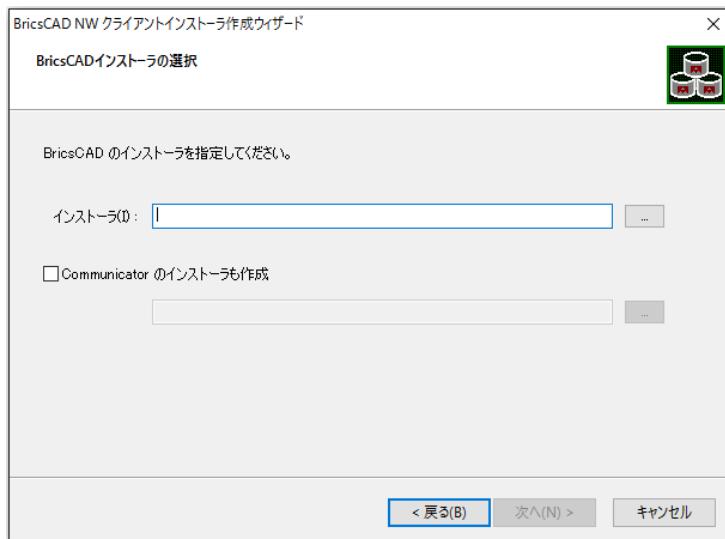
接続タイムアウト時間を設定する[]秒 デフォルト: チェック無し

サーバーとクライアント間で接続プロセスに時間を要しタイムアウトエラーが発生する場合に、「FLEXLM_TIMEOUT」

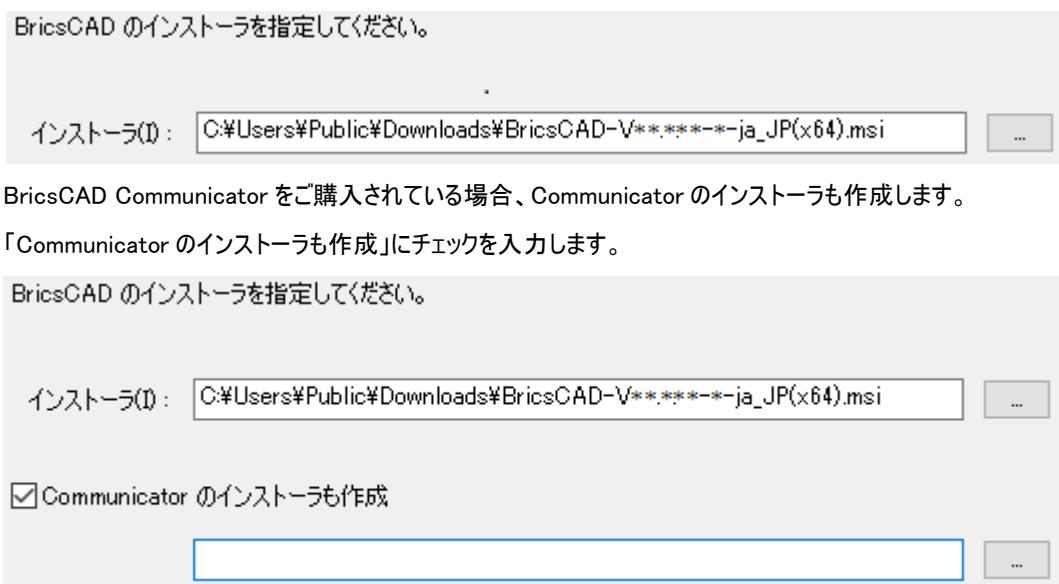
変数を使用して、タイムアウト時間を指定することができます。

ライセンスファイルにポート番号が指定されていない場合、またはポート番号 27000～27009 の間が指定されている場合にのみ有効となります。

7) BricsCAD のインストーラを選択します。右側の参照アイコンをクリックし、インストーラを選択します。



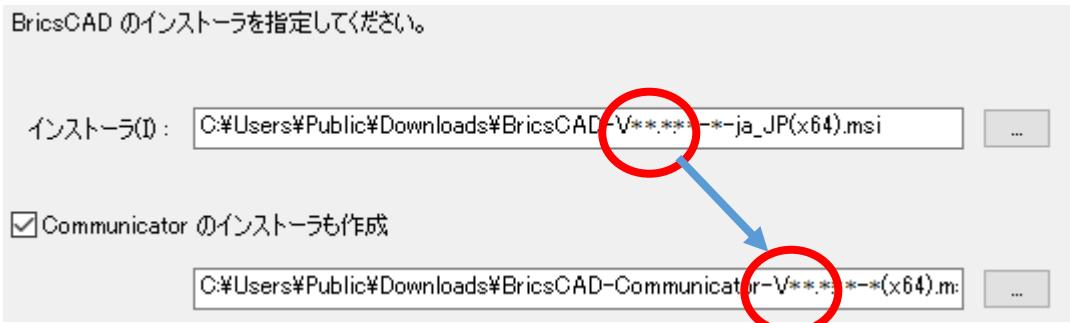
選択例 BricsCAD のインストーラを選択した例



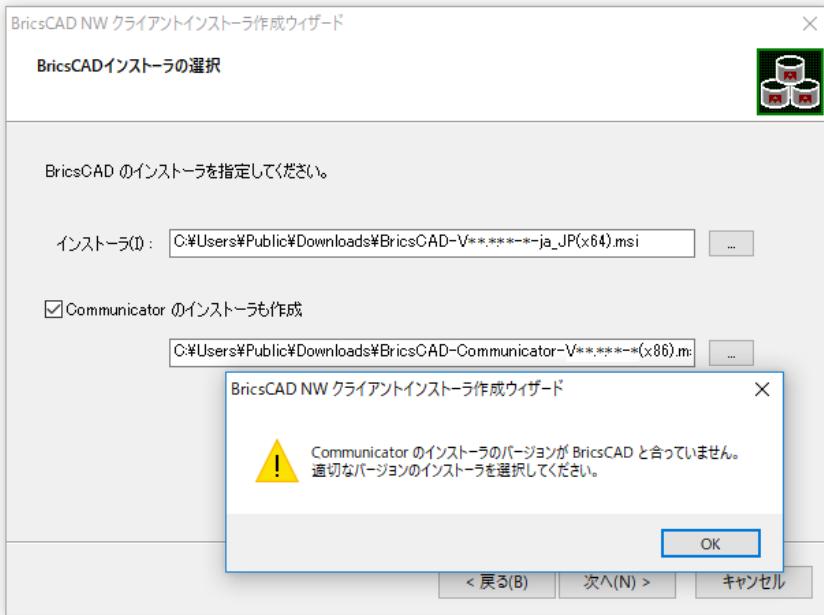
右側の参照アイコンをクリックして、BricsCAD Communicator のインストーラを選択します。



Communication のインストーラと BricsCAD のインストーラは必ず、バージョンを一致させてください。

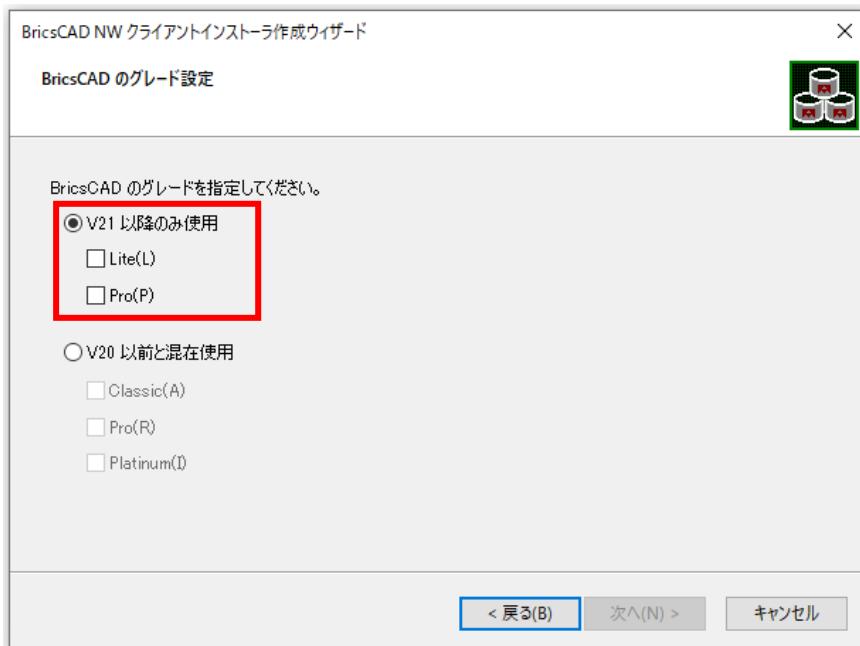


バージョン、bit 数の何れかが一致していない場合、[次へ]ボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されます。



[OK]をクリックして、適切なインストーラを選択しなおしてください。

- 8) [次へ(N)]をクリックします。
- 9) 作成するインストーラの BricsCAD 使用状態とグレードを指定します。



●V21 以降のみ使用 (V26 クライアントインストーラ作成ではこちらを選択)

1 台の PC で V21 以降のバージョンのみインストールして使用する場合に選択します。

ご購入の BricsCAD グレードにあわせて、チェックを入力してください。

例) BricsCAD Lite と Pro をご購入いただいた場合の例

※BIM、Mechanical 等をご購入の場合は、Proをご選択ください。

●V20以前と混在使用

V20 以下のクライアントインストーラの作成、または、下記条件での V24 のクライアントインストーラを作成する場合に選択します。

条件:1台のPCにV24とV20以前のバージョンを混合してインストールし運用する

※BricsCAD インストーラで V20 以前を指定された場合は、最初から「V20 以前と混合使用」が選択されます。

ご購入の BricsCAD グレードにあわせて、チェックを入力してください。

例 1) BricsCAD Lite と Pro をご購入いただいた場合の例

※BIM、Mechanical 等をご購入の場合は、Proをご選択ください。

例 2) 既存の V20 で Classic と Pro のライセンスを購入していた場合の例

例 3) 既存の V20 で Classic, Pro, Platinum のライセンスを購入していた場合の例

※BIM Mechanical 等をご購入の場合は、Platinum をご選択ください。

※ご購入製品が不明な場合ライセンスファイルの内容をご確認ください

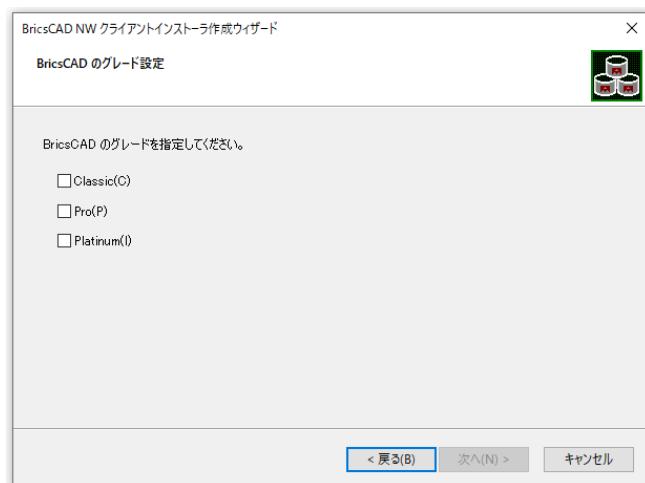
ライセンスファイル記述例 赤枠 BricsCAD V20 /青枠 BricsCAD V24

※バージョンアップのバージョンの表記になります。

先に選択した BricsCAD バージョンのインストーラに合わせてチェック項目を変更しクライアントインストーラを作成してください。

【V20 以前のインストーラを指定された場合】

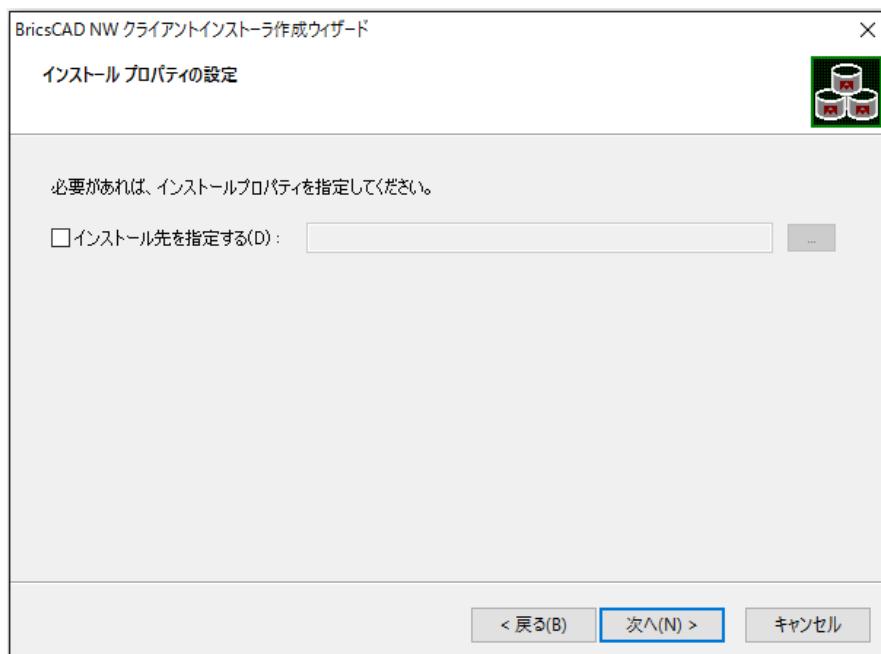
Classic/Pro/Platinum の選択肢のみが表示されます。作成するグレードにチェックを入力してください。



10)[次へ(N)]をクリックします。

11)クライアントで BricsCAD のインストール先を変更される場合はご指定ください。

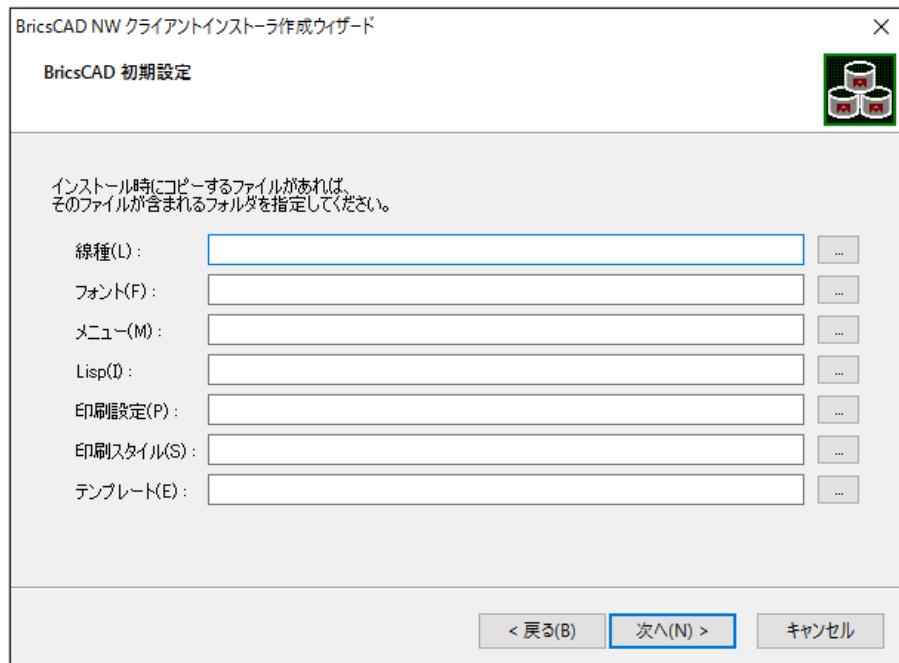
通常はデフォルトのまま作成してください。[次へ]をクリックします。



12)BricsCAD 初期設定が表示されます。

過去バージョンなどでカスタマイズされたファイルなど、引き継ぎたい設定ファイルがございましたら、引き継ぎたい項目の [...] をクリックして保存元フォルダパスを選択してください。(※必須ではありません。)

[次へ]をクリックします。



(初期設定について)

※引き継ぎたい設定のパスだけを指定してください。すべてを指定する必要はありません。

※BricsCAD 初期設定で使用される場合(指定しない場合)は、空のままにしてください。

指定されたパスにあるファイルはクライアントインストーラに含められます。

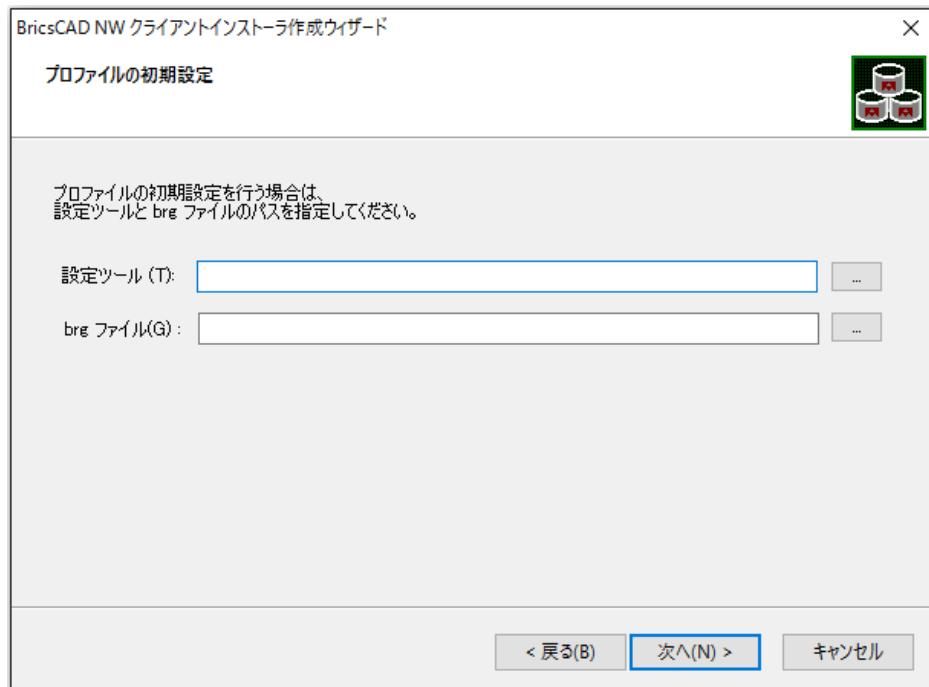
クライアントインストーラでインストール実行時に、ファイルはインストール先にコピーされます。

BricsCAD 初期設定コピー先	
各項目のコピー先 : C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21(BricsCAD のインストール先例)	
ログオンユーザー先例	
線種	インストール先以下\UserData\Cache\Support\ja_JP および ログオンユーザーごとの BricsCAD の support フォルダ
フォント	インストール先\Fonts
メニュー	インストール先\UserData\Cache\Support\ja_JP および ログオンユーザーごとの BricsCAD の support フォルダ
Lisp	インストール先\Support
印刷設定	インストール先\UserData\Cache\PlotConfig および ログオンユーザーごとの BricsCAD の PlotConfig フォルダ
印刷スタイル	インストール先\UserData\Cache\PlotStyles および ログオンユーザーごとの BricsCAD の PlotStyles フォルダ
テンプレート	インストール先\UserData\Cache\Templates\ja_JP および ログオンユーザーごとの BricsCAD の Templates フォルダ

13)プロファイルの初期設定が表示されます。「2. プロファイル初期設定ファイル」で作成されたファイルがありましたら [...]をクリックして保存先パスを指定してください。

BricsCAD のインストーラの指定で 64bit 用のインストーラを選択された場合は、64bit 用の環境ファイルを選択してください。

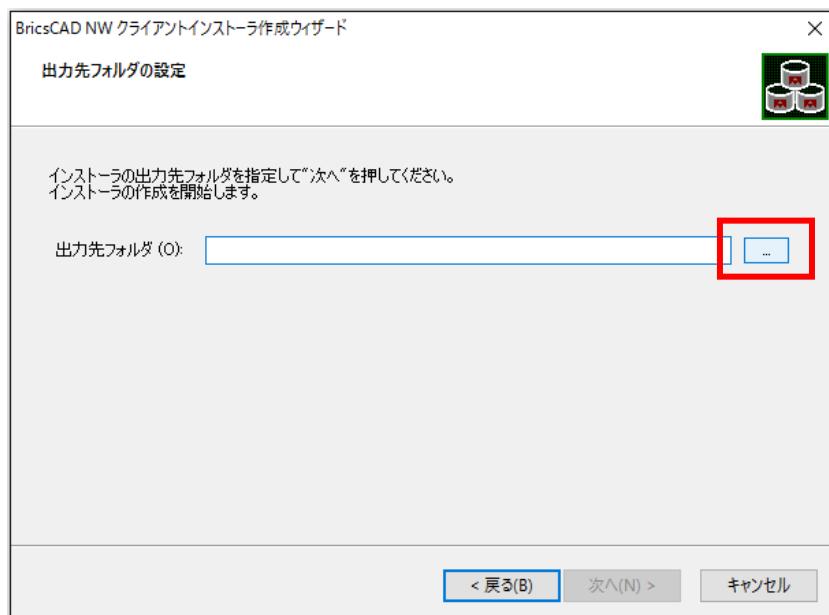
指定されない場合は空のままにしてください。 [次へ(N)]をクリックします。



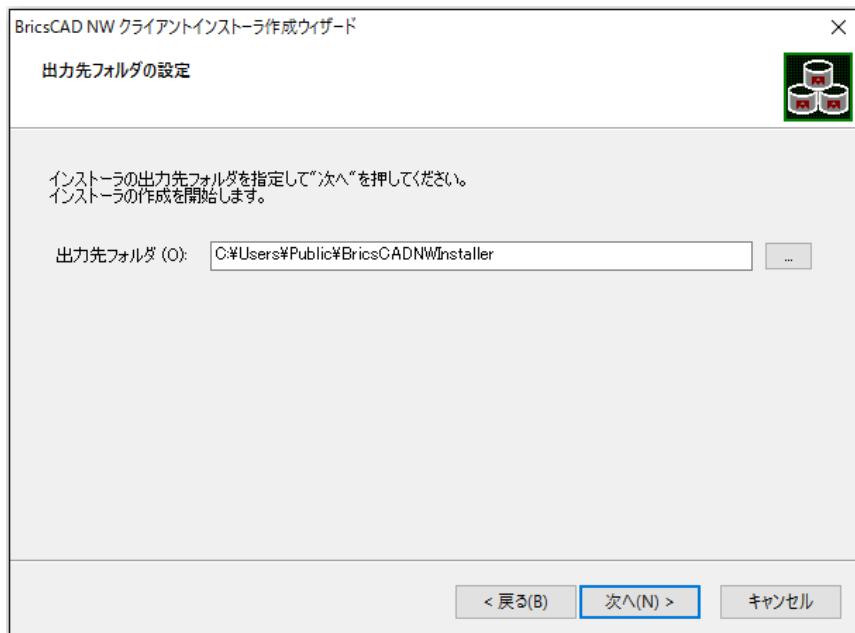
BricsCAD の設定ツールと brg ファイルに各フォルダを設定します。(※必須ではありません。)

14)出力先フォルダの設定が表示されます。

出力先フォルダ右側の [...] をクリックして、クライアントインストーラの出力先フォルダを指定します。



15)[次へ(N)]をクリックします。



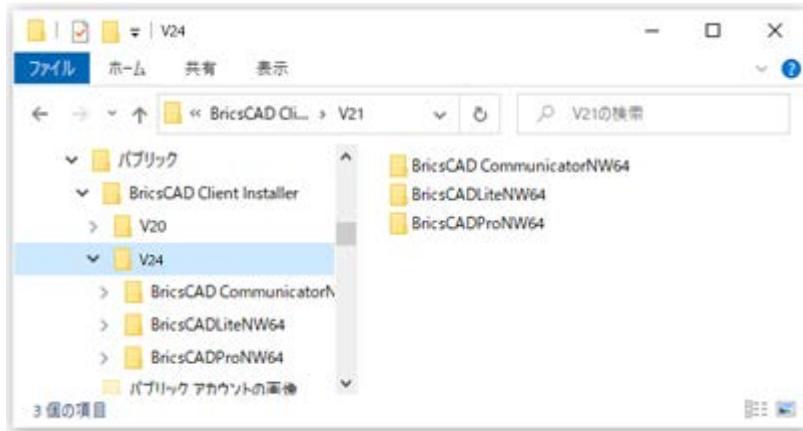
インストーラの作成が始まります。

16)完了が表示されます。[完了]をクリックします。



5. クライアントインストーラの確認

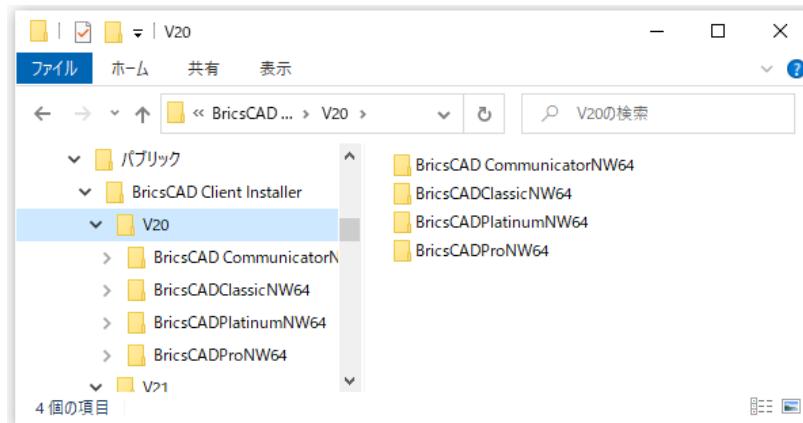
(例) BricsCADV24 クライアントインストーラのフォルダ名



BricsCAD インストーラのフォルダ名は”BricsCAD{グレード}NW{64}”となります。

Communicator インストーラのフォルダ名は”BricsCADCommunicatorNW{64}”となります。

BricsCADV20 以下のクライアントインストーラのフォルダ名



上記は 64bit 版のインストーラのフォルダ名です。32bit 版を作成された場合は末尾の”64”が無いフォルダ名となります。

(補足)

クライアントインストーラを使用して 1 つの PC に複数のグレードの BricsCAD をインストールすることはできません。

使用する担当者毎などでグレードを変更したい場合は、別途ツールをご使用ください。

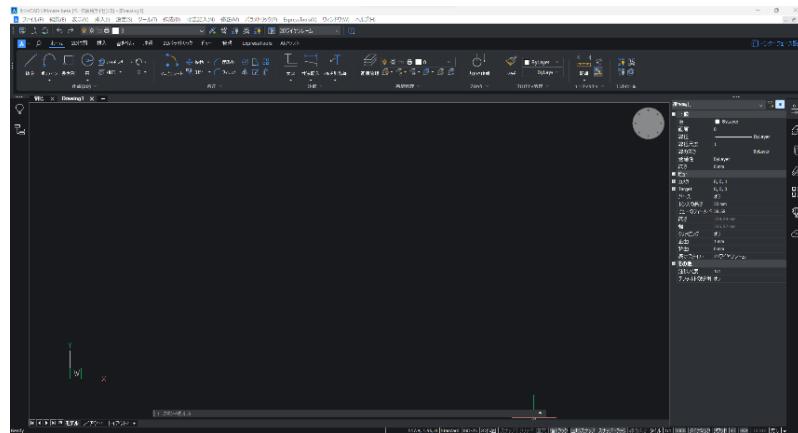
クライアントインストーラをローカル PC に作成されました場合は、作成後共有場所に移動、またはメディアなどに焼いて他クライアントにてインストールが可能な状態にして保管いただくことをお勧めいたします。

2. プロファイル初期設定ファイル

BricsCAD の初期値を設定するファイルの書き出し作業について説明します。

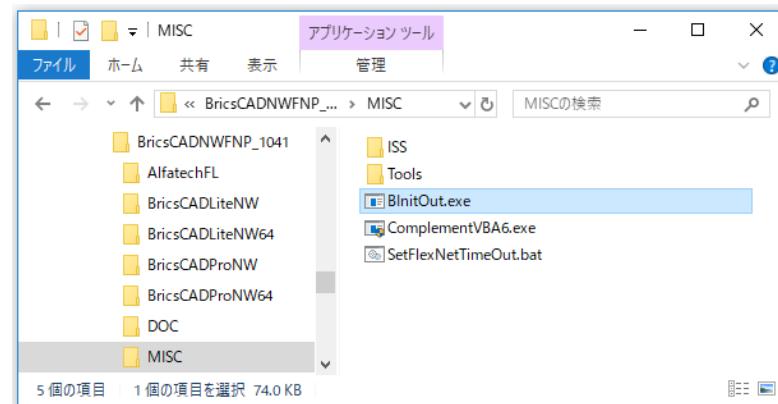
1. プロファイル初期設定ファイルについて

プロファイル初期設定ファイルとは、BricsCAD を始めて起動するときに自動作成されるプロファイル(default)に予め自社専用の設定を組み込むものです。

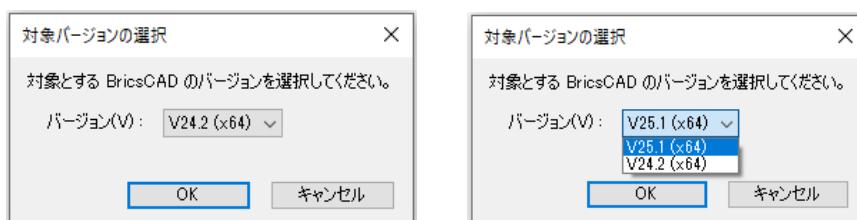


2. プロファイル初期設定ファイルの作成

1) アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスの MISC フォルダ内の BInitOut.exe を実行します。



※BricsCAD を複数インストールしている環境で実行した場合、BricsCAD の選択肢が表示されます。



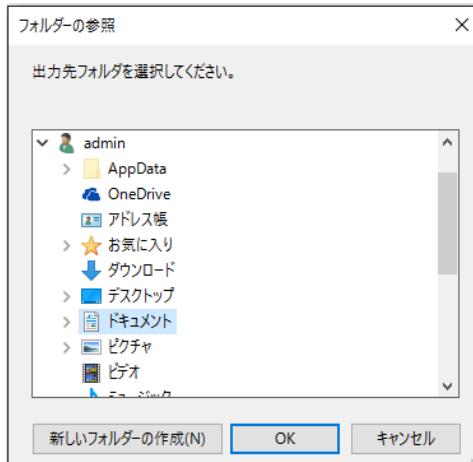
その場合は環境を登録するバージョンを選択して、[OK]をクリックします。

- 2) ダイアログ内の設定項目を設定します。[書き出し]をクリックします。

(設定例)



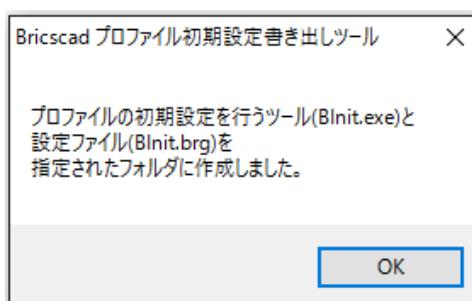
- 3) 保存するフォルダを指定し、[OK]をクリックします。



- 4) メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。

- 5) Bricscad プロファイル初期設定書き出しツールダイアログの[キャンセル]をクリックします。

ダイアログが終了します。

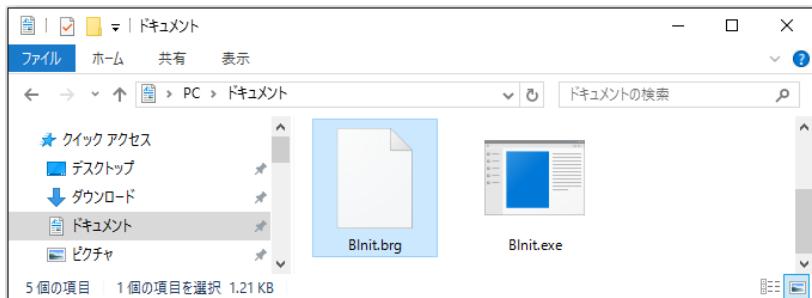


3. 設定ファイル

指定したフォルダに下記の 2 つのファイルが書き出されます。

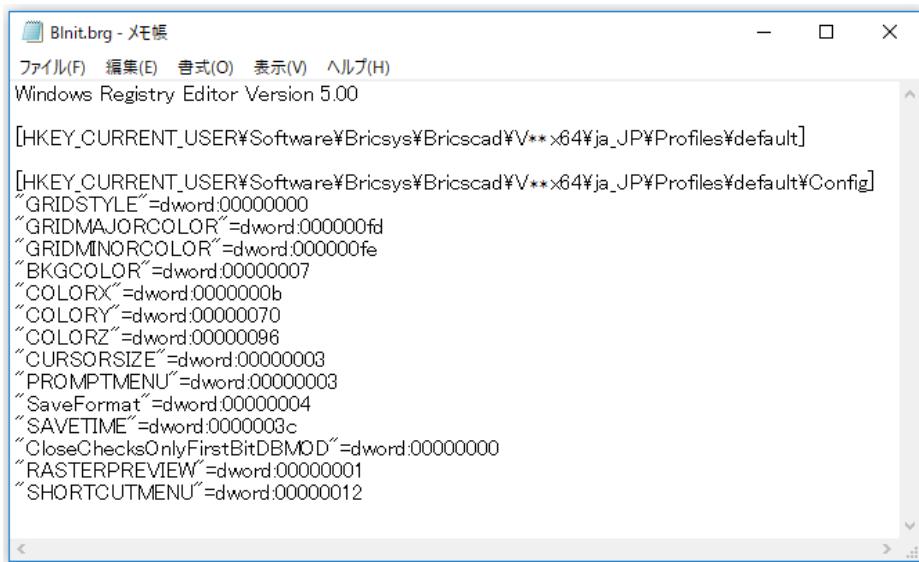
BlInit.brg (設定内容のファイル)

BlInit.exe (書き出した設定内容を登録するためのプログラム)

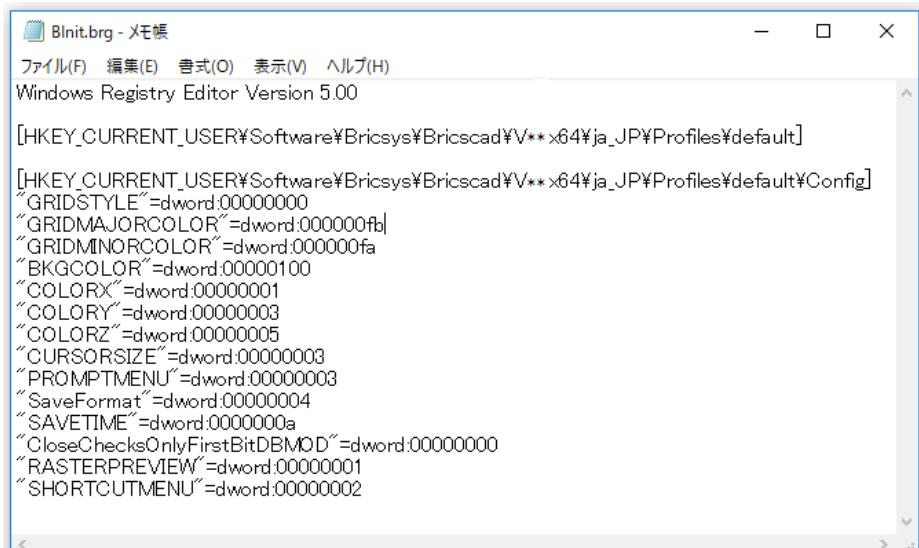


設定ファイルにはレジストリに登録する値が書き出されます。

(BricsCAD V** 64bitインストール環境でデフォルトのまま書き出した場合の設定ファイル)



(前頁の(設定例)のように設定項目を変更して書き出した場合の設定ファイル)



BricsCAD V** 64bit 以外のクライアントインストーラで流用する場合は、以下の場所をインストールする BricsCAD に合わせて変更してください。

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Bricsys\BricsCAD\V****\Profiles\default]

[HKEY_CURRENT_USER\Software\Bricsys\BricsCAD\V****\Profiles\default\Config]

書き出したファイルは、クライアントインストーラの作成にて使用します。クライアントインストーラを作成する端末でアクセスできる場所に保存してください。

(補足)

クライアントインストーラでインストールを実施したログオンユーザーの BricsCAD プロファイルとして反映されます。

他のユーザーに反映させる場合は、ログオンユーザーを変更し、\MISC 内の BInOut.exe を実行してください。

V. クライアントインストール

クライアント PC に製品をインストールする手順について説明します。

インストールに使用するクライアントインストーラは、初回(ご注文内容により)図研アルファテックが作成し、出荷物に同梱されている場合もあります。

BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合は、必要に応じて再作成してください。

1. BricsCAD のインストール

クライアントに BricsCAD (ネットワークライセンス用)をインストールします。

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について

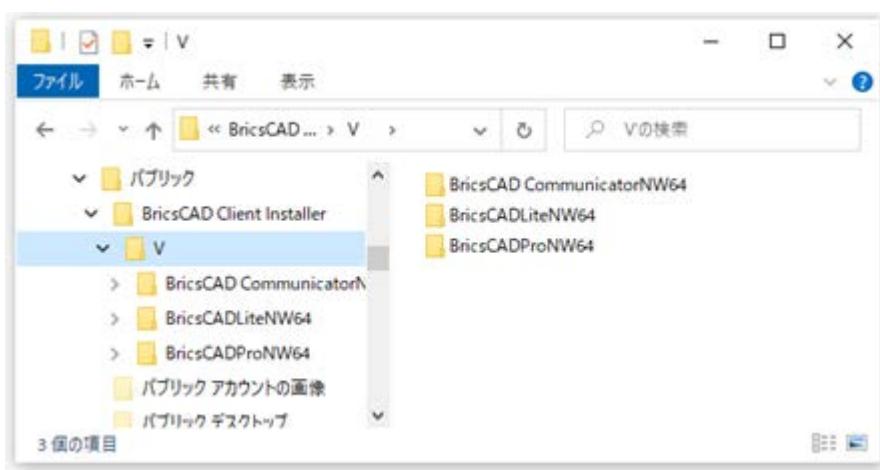
クライアントインストーラを使用してインストールを実施します。

クライアントインストーラには BricsCAD のグレードごとと Communicator 別にインストールフォルダが管理されています。

Mechanical、BIM は BricsCAD に含まれるため専用のフォルダはありません。

■インストールフォルダの構築例

ご購入製品例: BricsCAD Lite と Pro と Communicator



(フォルダ説明)

BricsCADLiteNW64: BricsCAD Lite のインストーラ

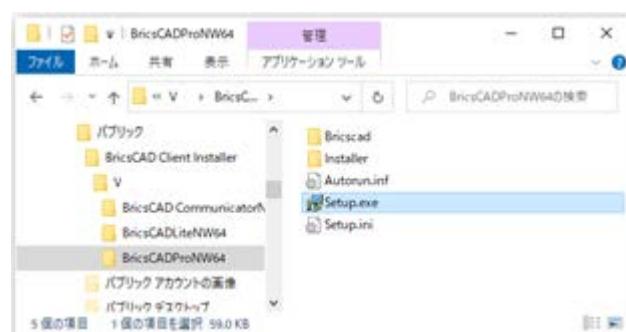
BricsCADProNW64: BricsCAD Pro のインストーラ

※BIM、Mechanical 購入の場合、インストーラは Pro に含まれます。

BricsCAD CommunicatorNW64: BricsCAD Communicator のインストーラ

各フォルダ以下にある setup.exe を実行するとインストールが始まります。

必要に応じてクライアントインストーラを、インストール PC からアクセスできる場所等の共有場所に保管してください。



(ご注意)

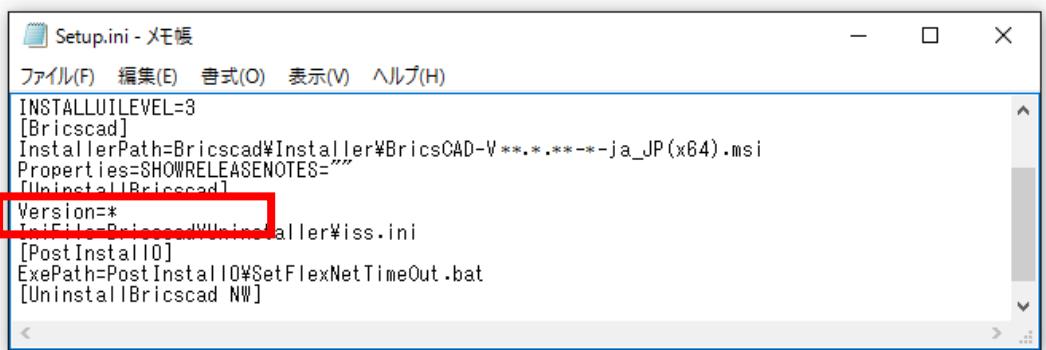
インストール対象のクライアントPCにBricsCADがインストールされている場合、初期設定ではすべてのBricsCADとBricsCAD NWをアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。

過去バージョンのアンインストールの有無は setup.ini のセクションを編集することで設定変更が可能です。

Setup.ini は各クライアントインストーラの Setup.exe と同じ場所に作成されます。

複数のクライアントインストーラを作成されました場合は、それぞれの BricsCAD クライアントインストーラ、Communicator インストーラごとに設定の変更が必要です。

BricsCAD V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例



```

Setup.ini - ノート帳
[INSTALLLEVEL=3
[Bricscad]
InstallerPath=Bricscad\Installer\BricsCAD-V**.*.*-ja_JP(x64).msi
Properties=SHOWRELEASENOTES=""
[UninstallBricscad]
Version=*
[PostInstall0]
[PostInstall0]
ExePath=PostInstall0\SetFlexNetTimeOut.bat
[UninstallBricscad NW]

```

初期設定「version=*」:インストールされたすべてのBricsCADをアンインストールします。過去バージョンをアンインストールしたくない場合、記述を以下のように編集します。

[UninstallBricscad]
Version=*

[UninstallBricscad]
Version=24

インストール対象のBricsCADバージョンは必ず記述する必要があります。(記載例の意味:V24をアンインストールし、再度インストールします。他バージョンがあれば何もせずに残します)

BricsCAD-Communicator V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例



```

*Setup.ini - ノート帳
[PostInstall0]
ExePath=PostInstall0\BricsCAD-Communicator-V**.*.*-1(x64).msi
CheckReturn=1
[RemoveFlexNetServerHistory]
Remove=0
[UninstallBricsCADCommunicator]
version=*

```

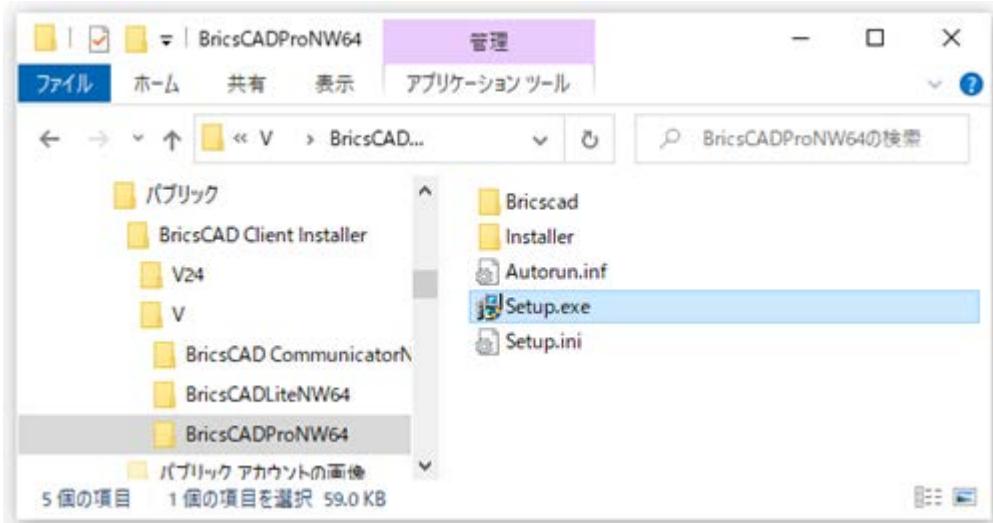
2. BricsCAD インストールの実行

BricsCAD Pro ネットワーク版のインストール作業例です。

1) 管理者権限(Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

- 2) クライアントインストーラのフォルダを開き、インストールする BricsCAD グレードのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

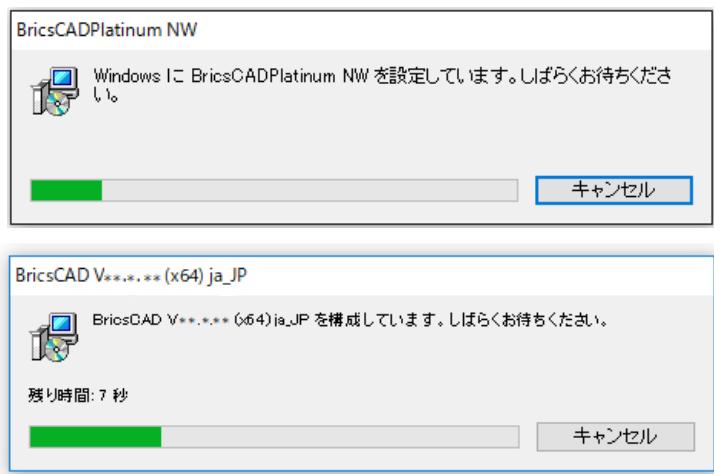


(例:BricsCADPro 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

- OS によってはユーザーカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- (クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、既に BricsCAD がインストールされている PC では、先にすべてのバージョンの BricsCAD がアンインストールされてから、インストールが始まります。)

- 4) メッセージが表示されます。

※BricsCAD の旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。



メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアント PC への BricsCAD インストール作業は終了です。

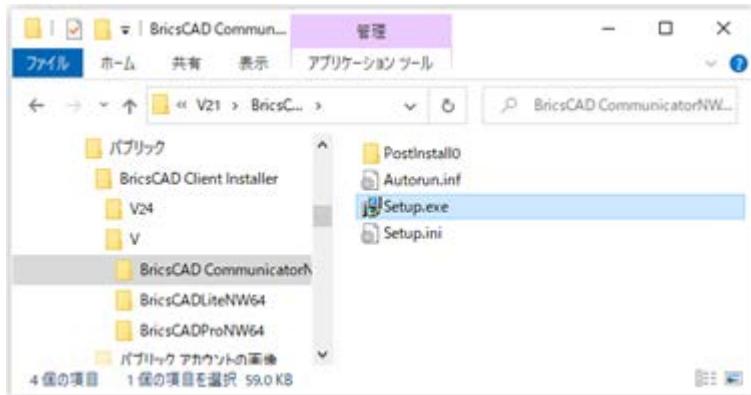
3. Communicator for BricsCAD インストールの実行

Communicator for BricsCAD ネットワーク版のインストール作業例です。

先に必ず BricsCAD のインストールを行ってください。

- 1) 管理者権限/Administrator)で Windows にログインします。
使用中のアプリケーションをすべて終了させます。
- 2) クライアントインストーラのフォルダを開き、インストールする Communicator のフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

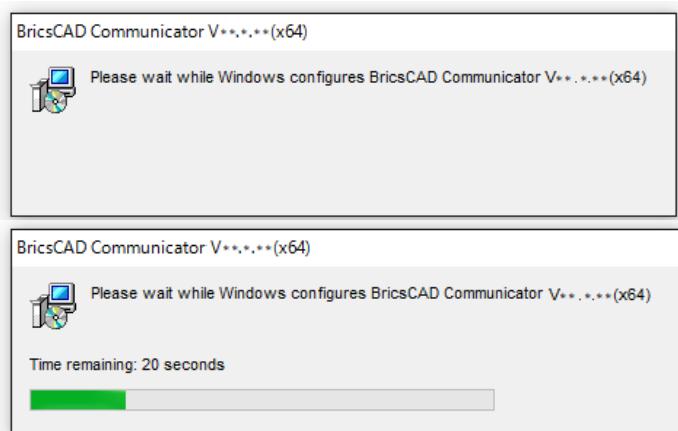
(例: BricsCAD Communicator 64bit 版用のフォルダを開いた例です)



OS によってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

(クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、既に Communicator がインストールされている PC では、先にすべてのバージョンの Communicator がアンインストールされてから、インストールが始まります。)

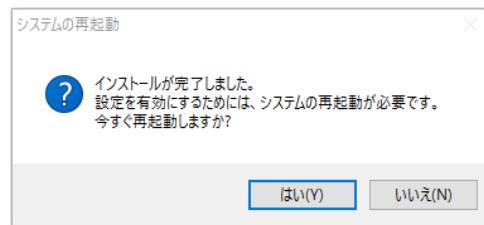
- 4) プログレスバーが表示されます。
プログレスバーが消えたら、インストールの完了です。



これで、クライアント PC への Communicator インストール作業は終了です。

メッセージが消えたら、インストールの完了です。

環境によっては右のメッセージが表示されます。その場合は再起動を行ってください。



VI. オプション

ネットワーク(FlexNet)用のオプションである「ライセンスの借用」と「ライセンスマニタ機能」について説明します。

1. オプションの種類

ネットワーク(FlexNet)用のオプションとしてライセンスの借用機能を使用することができます。

1. ライセンスの借用

ライセンス借用は、クライアントPCがサーバーからネットワークライセンスを借用する機能です。

借用を実行すると、サーバーから使用可能なネットワークライセンス数が1つ減ります。

クライアントPCでは、借用期間(最長180日間)使用することができます。借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアントPCから削除され、サーバーのライセンス数は1つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

※ライセンスの借用/返却は同一のログオンユーザーで行う必要があります。

※ライセンス借用中に借用処理を行ったアカウント名の変更はしないでください。

アカウント名を変更された場合借用期限が切れるまでライセンスの返却ができなくなります。

2. ライセンスモニタ

購入ライセンスの種類と総数、および、使用中のライセンス数などを確認することができます。

BricsCAD専用とAlfatech製品では、それぞれに専用のライセンスモニタがあります。使用方法は同じです。

3. オプションメニューについて

BricsCADとAlfatech製品ではオプションメニューが違います。それぞれに独立しています。

共通ではありませんのでご注意ください。

■ BricsCAD専用のライセンスモニタ起動メニュー

Windowsスタートメニュー



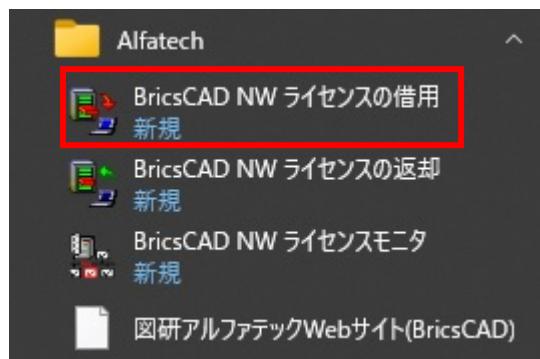
2. ライセンスの借用と返却(BricsCAD)

BricsCAD の借用オプションについて説明します。

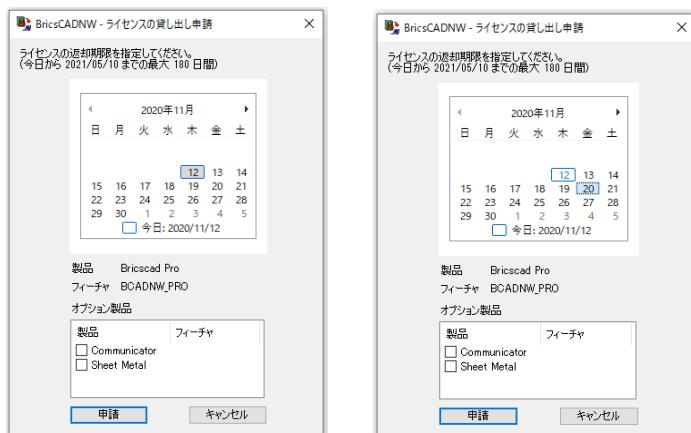
1. BricsCAD ライセンスの借用

- 1) [ライセンスの借用] を選択します。

Windows10 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[BricsCAD NW ライセンスの借用]



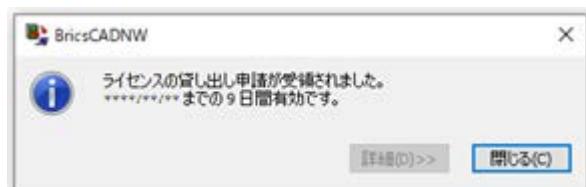
- 2) ライセンスの貸し出し申請ダイアログが表示されます。期限日をクリックし、[申請]をクリックします。



※オプション製品はライセンスを購入されている場合、その製品が表示されます。

借用する場合は借用するオプションにチェックを入力して[申請]を行なってください。

- 3) 借用が許可されると、申請が受領されたメッセージダイアログが表示します。[閉じる]をクリックします。



※借用が許可されなかった場合、[詳細]ボタンをクリックし、状況をご確認ください。

借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアント PC から削除され、サーバーのライセンス数は 1 つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。任意に返却処理を行う必要はありません。

2. BricsCAD ライセンスの借用期限の確認

借用したライセンスの借用期限について確認する方法を説明します。

- 1) [ライセンスの借用] をクリックします。

Windows10 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[ライセンスの借用]

- 2) 借用中のライセンスダイアログが表示されます。確認後[閉じる]をクリックして終了します。



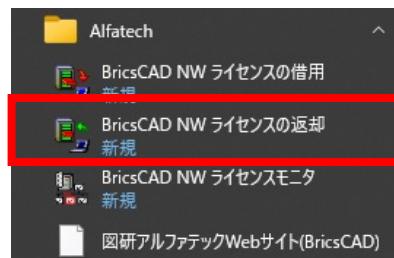
3. BricsCAD ライセンスの返却

借用したライセンスを借用期限前にサーバーに返却する手順を説明します。

借用期間満了まで使用する場合は、返却処理は必要ありません。

- 1) ライセンスを借用したライセンスサーバーが存在するネットワークに接続します。
- 2) [ライセンスの返却] を選択します。

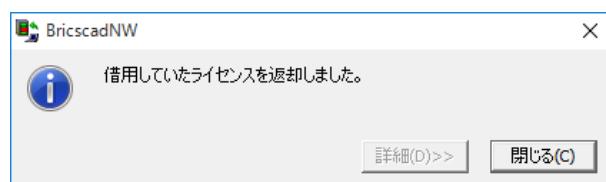
Windows10 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[BricsCAD NW ライセンスの返却]



- 3) ライセンスの返却ダイアログが表示されます。[返却]をクリックします。



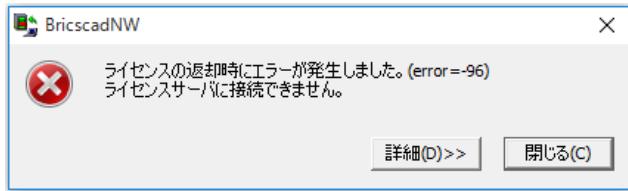
- 4) ライセンスが返却されます。[閉じる]をクリックします。



(補足)

ライセンスを返却するサーバーが見つからない場合は、以下のエラーメッセージを表示します。

サーバー接続状況を確認してください。その後、返却手順を再実行してください。



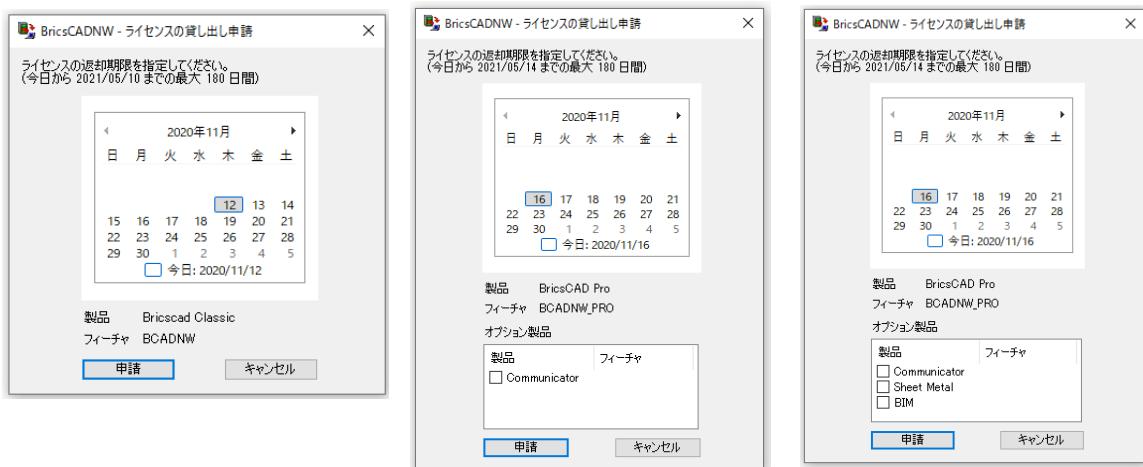
※BricsCAD オプション製品の借用について

BricsCAD のオプション製品をご購入で、クライアントインストーラでインストールされた製品によって、借用ダイアログに表示するオプション製品が異なります。

Lite/Classic

Pro (V20 以下)

Pro (V21 以上) / Platinum



「オプション製品」欄はオプションライセンスをご購入されていない場合、オプション製品のライセンスファイルを使用されていない場合は表示されません。オプション製品のみの借用はできません。

借用期限になると、ライセンスは自動的にクライアント PC から削除され、サーバーのライセンス数は 1 つ増えます(借用を行う前のライセンス数に戻ります)。

任意に返却処理を行う必要はありません。

3. ライセンスモニタ

クライアントからライセンスの使数、ライセンス使用中ユーザーを確認することができます。BricsCAD のライセンスモニタについて説明しています。

1. ライセンス情報の確認

- 1) [ライセンスモニタ] を選択します。

Windows10 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[BricsCAD NW ライセンスモニタ]



ライセンスモニタが表示します。ライセンスモニタイメージは異なるバージョンが混合している例です。

BricsCAD V20 以降 の Mechanical は SheetMetal と表示されます。

Classic/Platinum は V20 以前のバージョンの表記です。

アプリケーション名	バージョン	ライセンス数	使用数
BricsCADClassic NW	20.0	2	0
BricsCADLite NW	21.0	5	0
BricsCADPro NW	20.0	2	0
BricsCADPro NW	21.0	5	0
BricsCADPlatinum NW	20.0	2	0
Communicator	21.0	5	0
Sheet Metal	20.0	2	0
Sheet Metal	21.0	5	0
BIM	20.0	2	0
BIM	21.0	5	0

※バージョン混合をされていない場合は、ご使用のバージョンだけが表示されます。

サーバーと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバーの状態が表示されます。

お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「バージョン」、「ライセンス数」、「ライセンスサーバー」などの表示情報は異なります。

(借用中のライセンス表示について)

「ライセンスの借用」が行われている場合、使用数の欄には借用分のライセンスを常にカウントした値が表示されます。

ただし、借用したライセンスかどうかの区別はつきません。クライアント情報から使用端末の確認を行ってください。

(ライセンスサーバーの表示について)

複数のライセンスサーバーを登録したクライアントインストーラでインストールした場合、登録したサーバー名称をすべて表示します。

また、分散サーバー構成の場合、「アプリケーション名」、および「ライセンス数」の欄には、各ライセンスサーバーに登録されているライセンスの総数を表示します。

(BricsCAD Mechanical、BricsCAD BIM を使用する場合)

BricsCAD Mechanical、BricsCAD BIM を使用する場合は、BricsCADPlatinumNW+Sheet Metal、BricsCADPlatinumNW+BIM のライセンスが同時に使用されます。

2. クライアント情報の確認

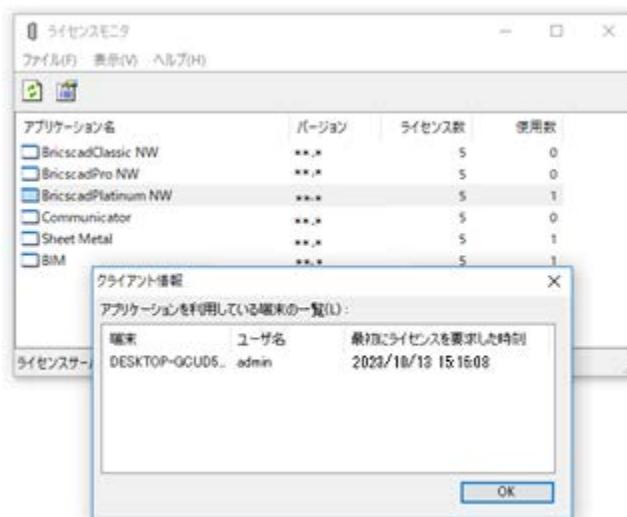
「使用数」が 1 以上のアプリケーション名に対して、「クライアント情報を表示」でライセンスを使用している端末情報を確認することができます。

- 1) 製品を選択し、「クライアント情報表示」アイコンをクリックします。



- 2) クライアント情報が表示されます。確認後[OK]をクリックします。

表示される情報は、「端末名」、「使用ユーザー名」、「ライセンスを要求した時刻」です。



VII. バージョンアップ

ネットワーク版 BricsCAD バージョンアップ方法について説明します。

1. ライセンスサービスのバージョンアップ

サーバーにインストールされているライセンスサービスのバージョンアップ方法について説明いたします。

1. 新バージョン対応ライセンスファイル送付時期

ネットワーク版は、BricsCAD 日本語版の新バージョンがリリースされました後、図研アルファテックから新しいバージョン用のライセンスファイルをメールにて送付いたします。

送付は、新バージョンの FlexNet 対応の確認などを経て、対象のユーザー様向けのライセンスファイルの作成を行い、送付準備を行います。

一斉に送付いたしますので、BricsCAD 日本語版の新バージョンがリリースされました後、約 1 から 2 ヶ月後にお手元に届きます。

一斉送付時期よりも早めに入手されたい場合は、サポート(support@bj-soft.jp)までご連絡をお願いいたします。

2. バージョンアップ作業の流れ

- 1) バージョンアップ用のライセンスファイル、インストーラ(ダウンロード)を準備します。
- 2) ライセンス管理(FlexNet)サービスは下記ホームページからダウンロードします。
<https://www.bj-soft.jp/support/download/BricsCADNWFNP.html>
- 3) クライアントで借用中のライセンスを返却します。
- 4) クライアントで起動中のネットワーク版 BricsCAD を終了します。
- 5) クライアントで、BricsCAD、Alfatech 製品ライセンスをサーバーから借用している場合返却します。
- 6) 他メーカーのアプリケーションなど、使用サービス名が異なるアプリケーションを終了する必要はありません。
- 7) サーバーにて LMTOOLS を起動してサービスを停止します。
- 8) サーバーにてアルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスをバージョンアップします。
- 9) サーバーにてライセンスファイルを更新します。
- 10) サーバーにて LMTOOLS を起動してサービスを開始します。
- 11) クライアントにて BricsCAD をバージョンアップします。

3. Alfatech 製品について

Alfatech 製品のネットワーク版は、2025 から RepriseNW ライセンスのみでの提供となっております。

RepriseNW ライセンス構成の作業を実施してください。

「ACAD-DENKI NW 版ライセンスアクティベート説明書」(Alfatech_RepriseNW_Activate.pdf)をご参照ください。

2. BricsCAD バージョンアップ作業

BricsCAD のバージョンアップ作業について説明します。

管理者権限のあるユーザーでログイン後に、作業を行ってください。

分散、冗長サーバー構成などで複数のサーバーを使用される場合は、対象サーバーすべてに対して以降の作業を行ってください。

1. ライセンスファイル、インストーラの準備

ライセンスファイル(弊社よりメールにて送付)

アルファテックライセンス管理(FlexNet)サービス

最新バージョンのクライアントインストーラ

2. ライセンス使用中アプリケーションの確認

クライアントで借用中のライセンスがあれば返却されることをお勧めします。グレードアップ(Classic/Lite→Proなど)で製品が変わる場合などは、必ず返却してください。

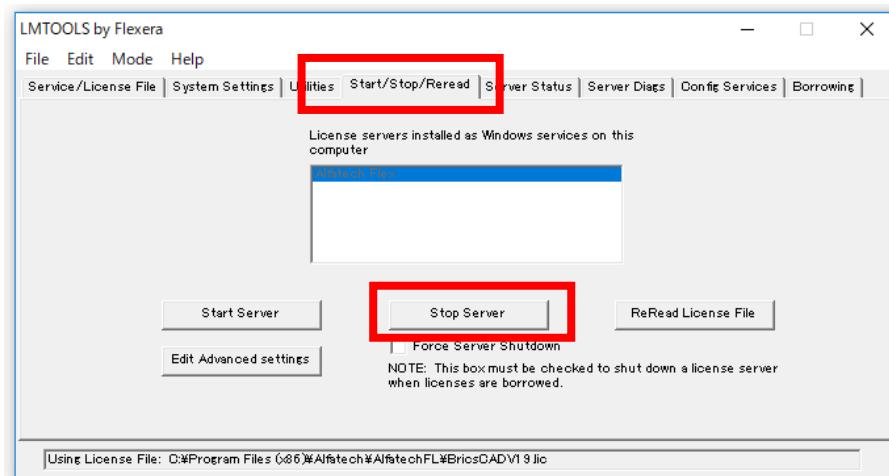
クライアントで起動中のネットワーク版 BricsCAD を終了してください。

クライアントにて BricsCAD,Alfatech 製品ライセンスをサーバーから取得している場合は終了してください。

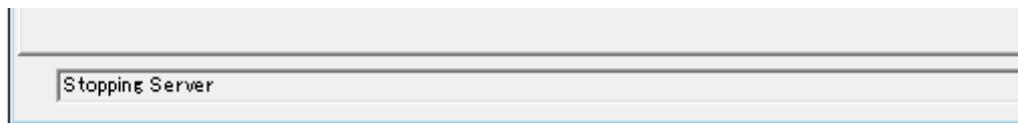
3. サービスの停止(サーバー)

LMTOOLS を起動してサービスを停止します。

- 1) 「スタート」から「A」-「Alfatech」-「LMTOOLS」を選択します。
- 2) LMTOOLS が起動すると「Start/Stop/Reread」タブを選択します。



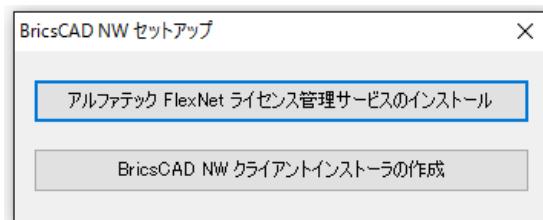
- 3) [Stop Server]ボタンをクリックします。ダイアログ下部に“Stopping Server”と表示されます。



- 4) [File]-[Exit]を選択して LMTOOLS を終了します。

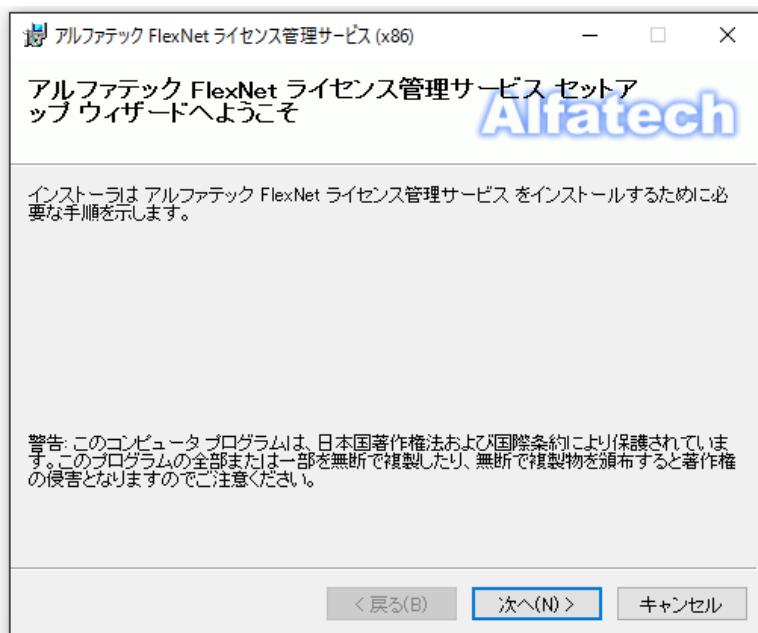
4. アルファテックライセンス管理サービスの更新(サーバー)

- 1) ライセンス管理(FlexNet)サービスの BricscadNWSetup.exe をダブルクリックします。
- 2) BricsCAD NW セットアップが表示されます。[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービスのインストール]ボタンをクリックしてください。



- 3) 「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストーラが起動します。

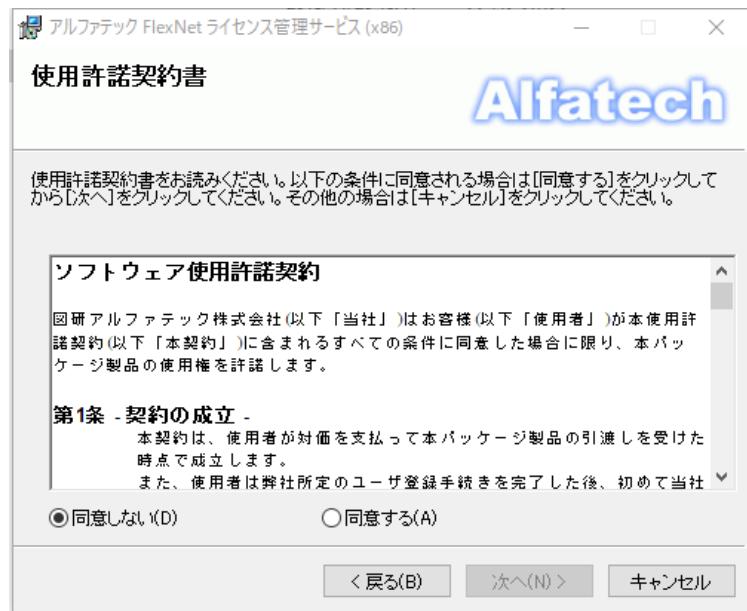
[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



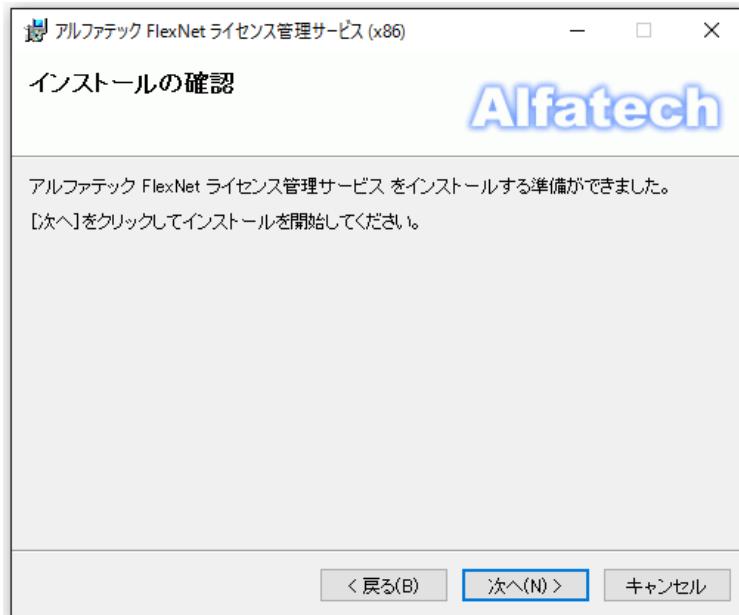
4) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は**[同意する(A)]**を選択し、**[次へ(N)>]**ボタンをクリックします。

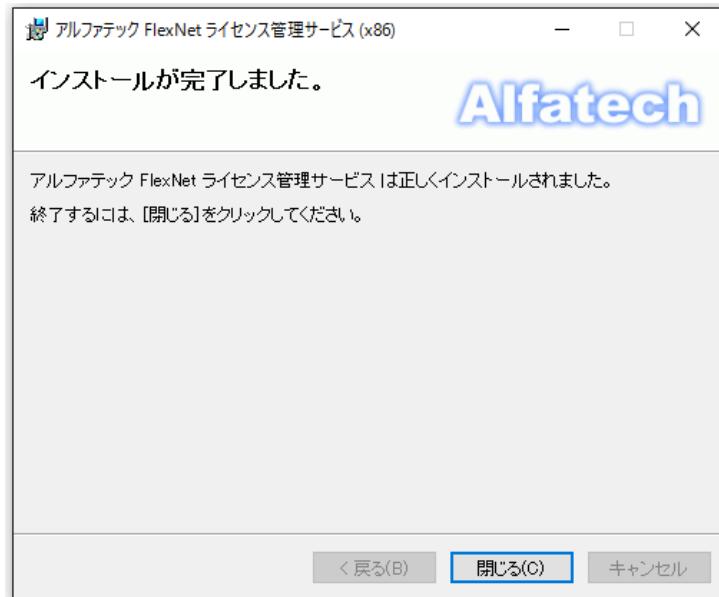
5) インストールするフォルダを選択し、**[次へ(N)>]**ボタンをクリックします。

6) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



7) 「インストールが完了しました。」が表示されます。

「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストールは完了です。[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。



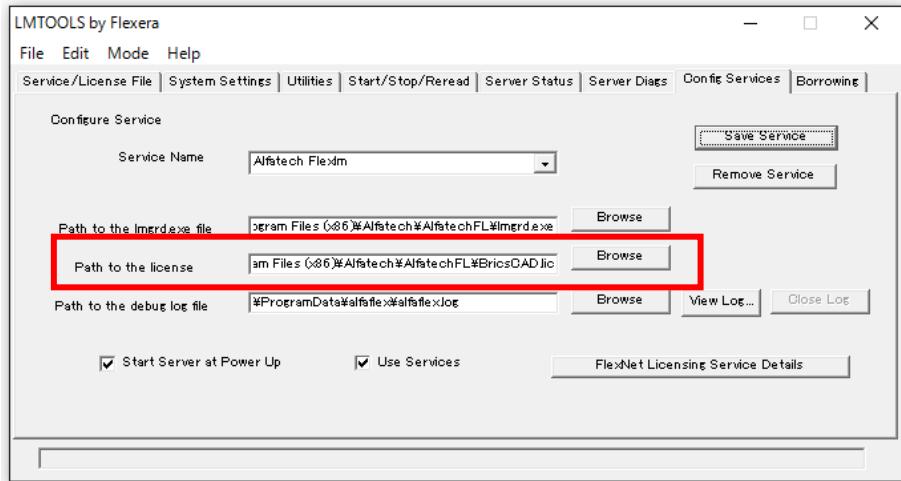
5. ライセンスファイルの更新

ライセンスファイルを新しいバージョンのものに変更します。

- 1) 「スタート」から「A」-「Alfatech」-「LMTOOLS」をクリックします。

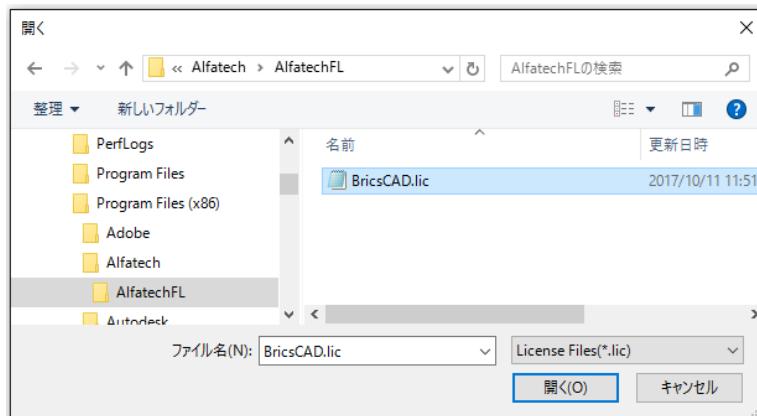
「Config Services」タブの”Path to the license”に設定されているパスを確認します。

Windows のエクスプローラを起動し、取得されましたライセンスファイル該当場所にコピーします。

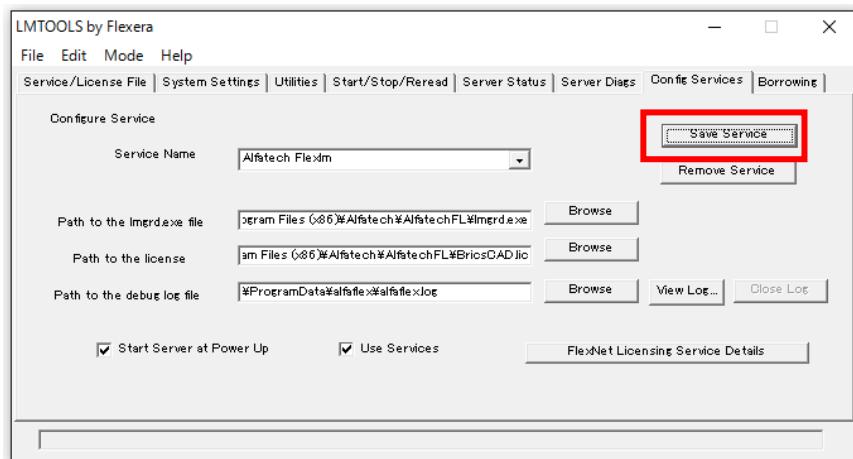


- 2) 「Config Services」タブの”Path to the license”の右側の[Browse]ボタンをクリックします。

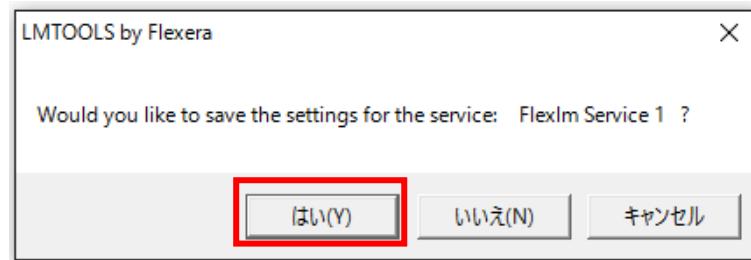
- 3) 「開く」ダイアログ表示されます。新しいライセンスファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



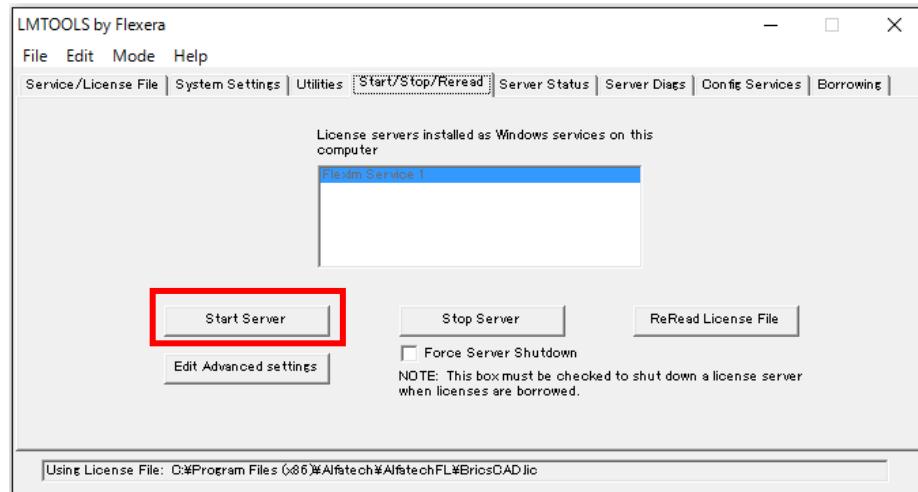
- 4) [Save Service]ボタンをクリックします。



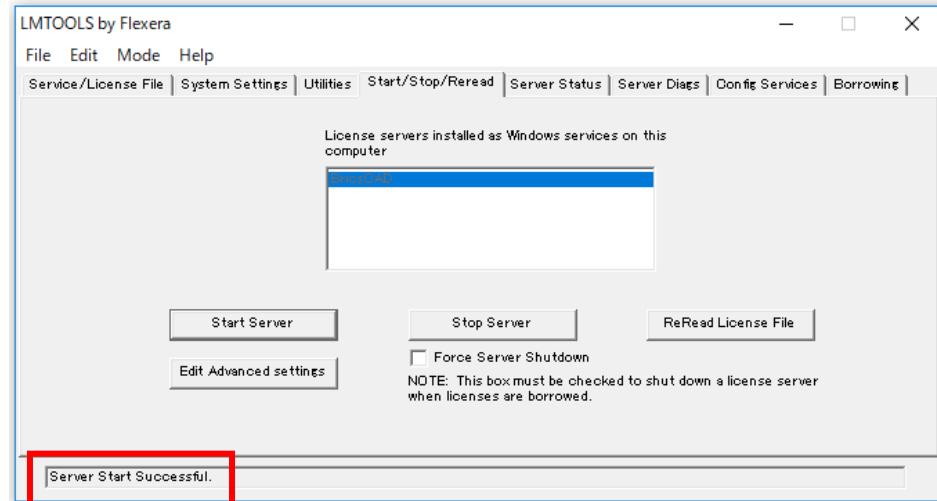
5) メッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



6) 「Start/Stop/Reread」ボタンを選択し、[Start Server]ボタンをクリックします。



7) ダイアログ下部に「Server Start Successful.」と表示されます。



8) [File]-[EXIT]を選択して終了します。

3. BricsCAD のバージョンアップ(クライアント)

クライアント PC でクライアントインストーラを実行します。本作業は管理者権限(Administrator)で行ってください。

クライアントに BricsCAD (ネットワークライセンス版)をインストールします。

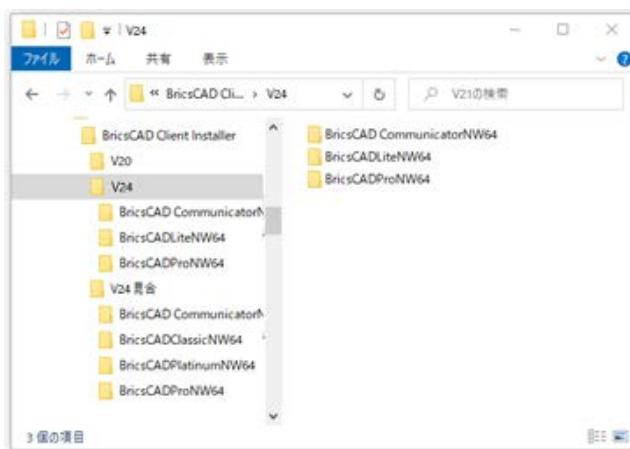
1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について

クライアントインストーラを使用してインストールを実施します。

クライアントインストーラ BricsCAD のグレード(Lite/Classic , Pro , Platinum)ごとに、インストールフォルダが管理されています。

複数のグレードをご購入されている場合、以下のようにグレードごとのインストーラフォルダで構築されます。

Pro と Lite と Communicator をご購入いただいた場合の例



(フォルダ説明)

BricsCADProNW64: BricsCAD Pro 64bit 用のインストーラ

BricsCADLiteNW64: BricsCAD Lite 64bit 用のインストーラ

BricsCAD CommunicatorNW64: BricsCAD Communicator 64bit 用のインストーラ

各フォルダ以下にある setup.exe を実行するとインストールが始まります。

初期設定では、クライアントにインストールされている BricsCAD をアンインストール後、現バージョンのインストールが実行されます。

既存の BricsCAD をアンインストールせずに新規バージョンをインストールしたい場合

デフォルトでは、すべての BricsCAD と BricsCAD NW をアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。アンインストールの有無は setup.ini の下記セクションを編集することで設定変更が可能です。

デフォルト記述: インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。

[UninstallBricscad]

Version=*

編集例: BricsCAD V21 のクライアントインストーラの場合 (V21 以外アンインストールしない記述)

[UninstallBricscad]

Version=21

インストール対象の BricsCAD バージョンは必ずアンインストールする必要があります。

2. BricsCAD インストールの実行

BricsCAD Pro ネットワーク版のインストール作業例です。

1) 管理者権限/Administrator)で Windows にログインします。

使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

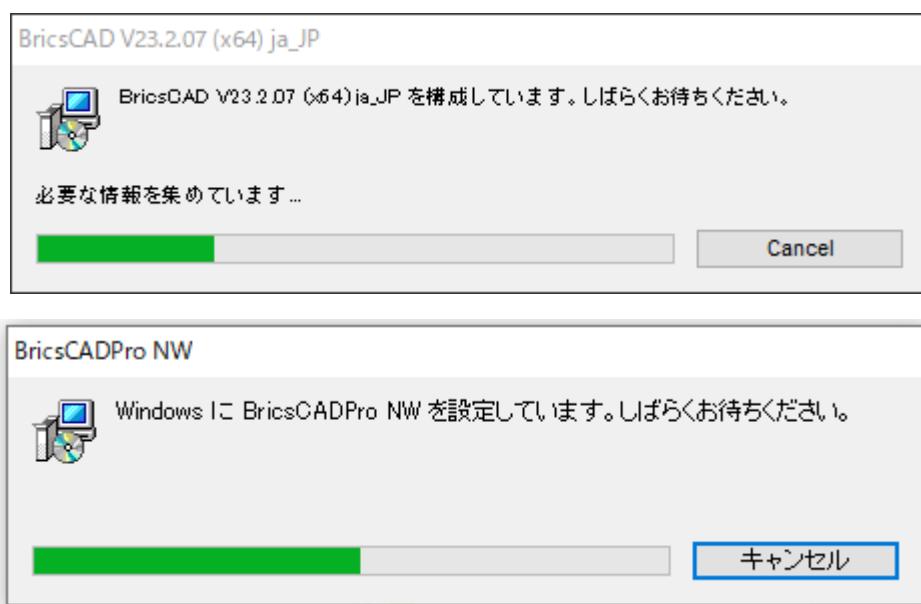
2) クライアントインストーラのフォルダを開き、インストールする BricsCAD グレードのフォルダを開きます。

3) Setup.exe をダブルクリックします。

OS によってはユーザーカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

4) メッセージが表示されます。

※BricsCAD の旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。



メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアント PC への BricsCAD インストール作業は終了です。

4. Alfatech 製品のバージョンアップ(クライアント)

Alfatech 製品のバージョンアップについて説明します。本作業は管理者権限/Administratorで行ってください。

1. インストーラについて

ご購入製品のインストーラをご準備ください。

<https://www.bj-soft.jp/support/download/newverdown.html>

2. Alfatech 製品のインストールの実行

1) 管理者権限/Administratorで Windows にログインします。使用中のアプリケーションをすべて終了させます。

2) インストーラ(Setup.exe)を実行します。

図研アルファテッククライアントインストーラウィザードへようこそダイアログが表示されます。

3) インストーラに沿って、[次へ(N)>]ボタンをクリックして進めてください。

4) インストールの確認が表示されます。[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

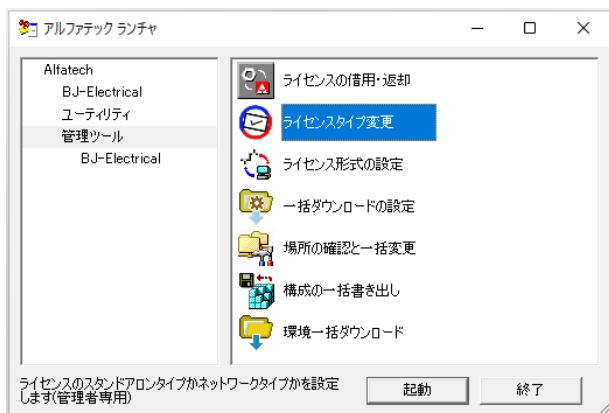
5) 「インストールが完了しました」が表示されます。インストールは完了です。

[閉じる(C)]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

3. ライセンスタイプ変更

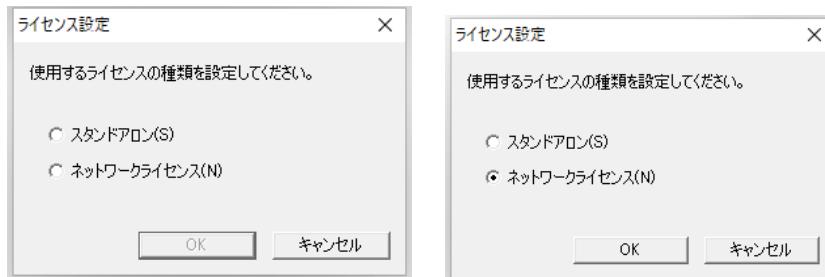
フローティングライセンスの Alfatech 製品を 2024 から 2025 にバージョンアップされました場合、ライセンスタイプの変更を行う必要があります。

1) 「アルファテック ランチャ」からライセンスタイプ変更を起動します。



2) バージョンアップ直後はライセンスタイプが非選択状態となっています。

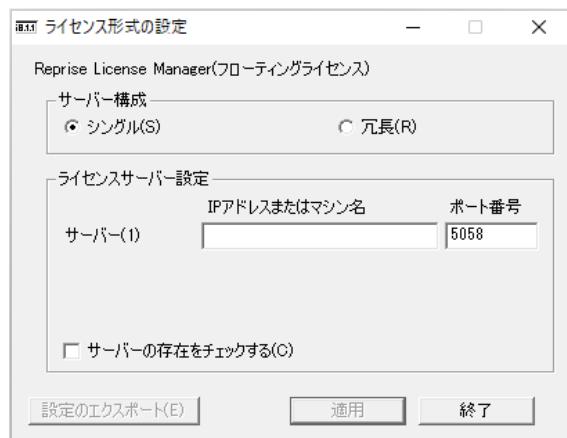
「ネットワークライセンス」を選択し[OK]をクリックします。



3) メッセージが表示します。[OK]をクリックします。



4) 「アルファテック ランチャ」からライセンス形式の設定を起動し、サーバ構成等を選択/設定します。



VIII. 付録

FlexNet のオプション構文について説明します。

オプションファイルにオプション構文を設定することで、ライセンスの借用期間の最大値変更、ライセンスを特定のマシン、ユーザー、グループに使用させるような設定などが可能です。

BIM、Mecanical の使用について、BricsCAD 環境引継ぎツール、ログ解析ツール、サーバー情報書き換えツールについても説明しています。

1. FlexNet オプションファイル

FlexNet Publisher では、オプションファイルを設定することにより、特定のマシンにのみライセンスを許可するなど、細かい制御を行うことができます。

1. FlexNet オプションファイル

FlexNet オプションファイルとは、FlexNet ネットワークライセンスに対して、オプション構文を設定し、ネットワークライセンスアクセスの制御など行うためのファイルです。

オプションファイルのデフォルトは空となっています。

オプションファイルの内容は、メモ帳、または、任意のエディタを使用して編集してください。

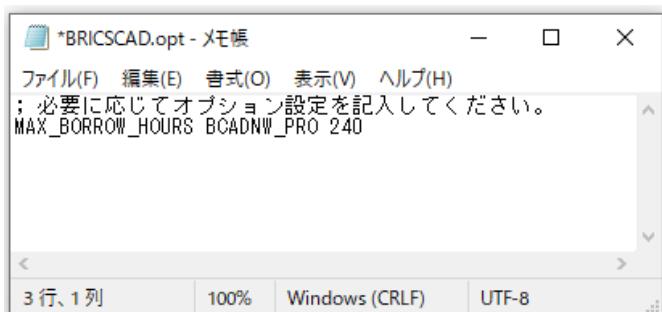
2. FlexNet オプションファイル制限

保存時は必ず UTF-8 形式で保存してください。

オプションファイルは必ずライセンスファイルと同じ場所に保存してください。

オプションファイル名と配置場所は以下のとおりです。

オプションファイルの 1 行目は必ずコメント行を入れてください。;(コメントアウト)、#(コメント)で始まる記述とします。



オプションファイル内ではすべて、大文字と小文字が区別されます

3. オプションファイル名

オプションファイルは、ベンダー毎となります。

BricsCAD 用のオプションファイル名 : BRICSCAD.opt

配置場所 : ライセンスファイル(.lic)と同じフォルダ

※ オプションファイルを編集後、有効にするには、LMTOOLS にて使用するサービスを再起動してください。

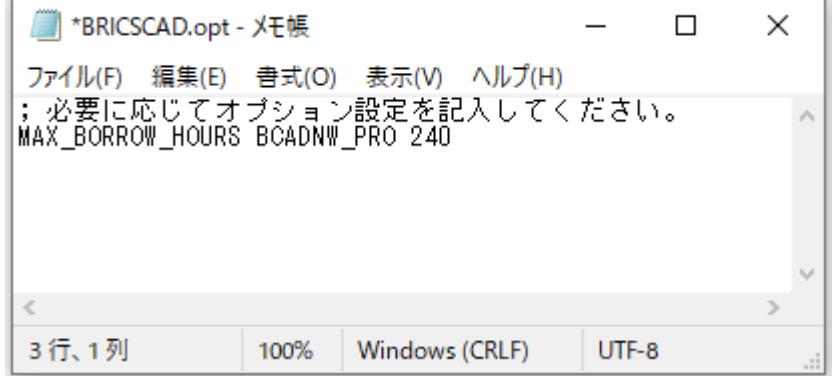
4. オプションファイルの書式

オプションファイルは UTF-8 形式のテキストファイルで、以下のような書式となります。
各項目はスペース(半角)にて区切れます。

※ オプションファイルの1行目には、必ず、コメント行を入れてください

(BricsCAD ライセンス: サーバーから貸し出す日数の最大値を指定した例)

（B160003AB）（12.1.1.1） ～ 12頁の出力箇所、最大値を指定した例



(書式説明)

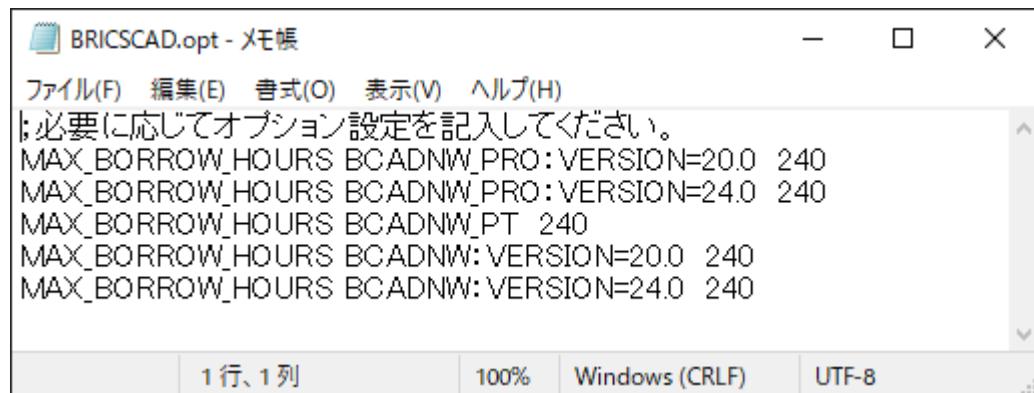
変数 対象ライセンス製品 値

MAX_BORROW_HOURS BCADNW_PRO 240

値は1時間単位で指定します。(最大10日を指示した例)

1 つのライセンスファイルにバージョンを混在して使用されている場合は、バージョンの指定が必要です。

例) V20 と V24 を使用している場合にそれぞれのバージョンごとに制限を記載した例



2. FlexNet オプション構文

FlexNet オプションには、様々なオプション構文があります。よく使用されるものを抜粋してご紹介します。

1. オプションファイルキーワード

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

オプション・キーワード	説明
INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
INCLUDE_BORROW	指定した対象にのみ、貸し出しを許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDE_BORROW	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。
MAX	指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	PC グループを定義する。
TIMEOUT	クライアントが取得したまま、未使用状態が続いたときにライセンスを回収する時間を定義する。(秒単位)
MAX	最大使用ライセンス数を定義する。
MAX_BORROW_HOURS	クライアントにライセンスを貸し出す期間を定義する。(1 時間単位)
BORROW_LOWATER	借用できないライセンス数を設定する
MAX_BORROW_HOURS	ライセンス借用の最大時間を指定する。

2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)

オプションファイルで製品ライセンスごとに指定する場合、製品のライセンスコード毎に指定します。

BricsCAD ライセンスコード

製品名グレード	ライセンスコード
BricsCAD Lite/Classic	BCADNW
BricsCAD Pro	BCADNW_PRO
BricsCAD Platinum	BCADNW_PT
BricsCAD Mechanical	SheetMetal
BricsCAD BIM	BIM
BricsCAD Communicator	communicator

Alfatech 製品のライセンスコード

製品名	ライセンスコード
BJ-Electrical	BJE

3. 識別

識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

識別	説明
USER	プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ "GROUP", "HOST_GROUP" は、対象が多いときに、グループ指定するために使用します。

4. ライセンスの返却(タイムアウト)

クライアント PC で BricsCAD を起動し、ライセンスを取得したまま使用していない場合でも、BricsCAD を終了しない限りライセンスはそのクライアント PC に保持されます。

タイムアウトオプションを設定すると、設定時間実行されない場合にはライセンスはサーバーに自動返却されます。

構文: TIMEOUT

書式: 構文 ライセンスコード 値

※値は秒単位で指定します。(3600 秒=1 時間)

ライセンスのタイムアウトを設定 例

TIMEOUT BCADNW 3600

5. ライセンス使用の許可

ライセンス使用を許可するユーザーを設定します。

構文: INCLUDE

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC1 と PC2)にのみ、BricsCAD Pro グレードのライセンス使用を許可する例

INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC1

INCLUDE BCADNW_PRO HOST PC2

6. グループの定義記述例

Windows のログイン名、PC 名にてグループの定義が可能です。

対象の PC またはユーザー数が多い場合、グループを定義することができます。

構文: HOST_GROUP グループ名 クライアントホスト名(,カンマ区切りで複数指定可能)

グループ A とグループ B を作成し、それぞれに INCLUDE(ライセンス使用許可)構文を設定した例

HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

GROUP_A のみに BricsCADPro の使用を許可

INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A

GROUP_B のみに BricsCADClassic の使用を許可

INCLUDE BCADNW HOST_GROUP GROUP_B

7. 最大使用ライセンス数の指定

最大使用ライセンス使用を指定することができます。

構文: MAX

書式: 構文 ライセンスコード クライアントホスト名またはグループ名(,カンマ区切りで複数指定可能)

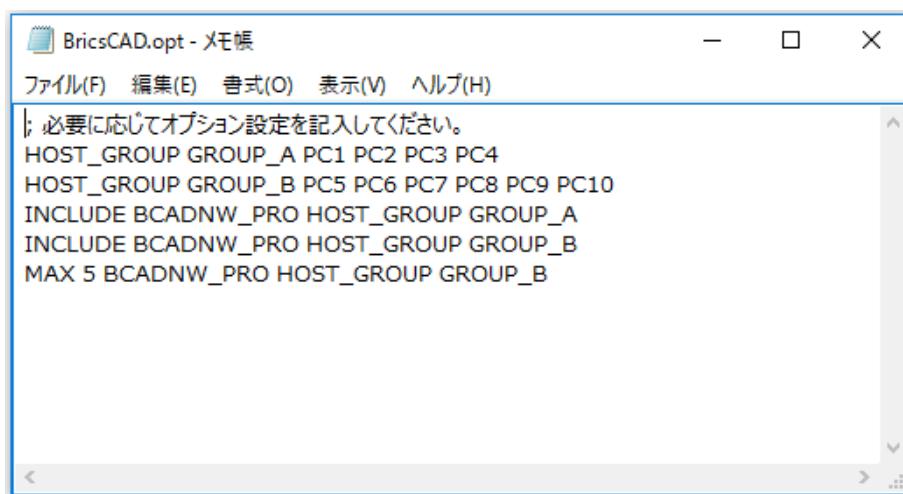
グループを定義し、グループ名で指定した例

(グループ B には 6 台の PC を登録していますが、6 台中 5 台までの同時使用を制限した例)

```
HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4
HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10
INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A
INCLUDE BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B
MAX 5 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_B
```

※ライセンス数が 9 の場合、A グループでは常にライセンスを確保することができます。

(記述イメージ)



※A グループに対して「RESERVE」を使用してライセンス数を予約(確保)設定しても同じ効果となります。

最後の行を以下のように変更します。

```
RESERVE 4 BCADNW_PRO HOST_GROUP GROUP_A
```

常に 4 ライセンスは A グループにて予約(確保)されます。

8. ライセンス借用の制限と禁止

借用できないライセンス数を設定します。

構文: BORROW_LWWATER

書式: 構文 ライセンスコード 値

製品(BricsCAD Pro)ライセンス数 10 に対して 5 ライセンスの借用を制限する例

```
BORROW_LWWATER BCADNW_PRO 5
```

ライセンスの借用を禁止するユーザーを設定します。

構文: EXCLUDE_BORROW

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC3,PC4)のライセンス借用を禁止する例

EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC3

EXCLUDE_BORROW BCADNW_PRO HOST PC4

ライセンスの借用時間を制限します。

構文:MAX_BORROW_HOURS

書式:構文 ライセンスコード 値

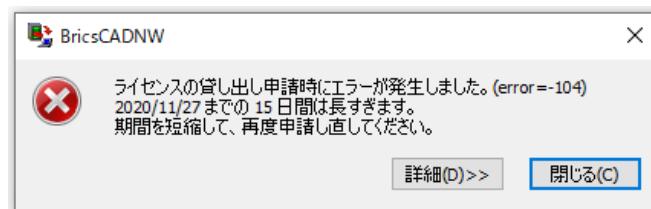
※値は 1 時間単位となります。

製品(BricsCAD Pro)の最大借用日数を 10 日とした例

MAX_BORROW_HOURS BCADNW_PRO 240

クライアントの借用ダイアログには制限日数は表示されません。

クライアントが最大日数以上の日を指定した場合は以下のメッセージが表示されます。

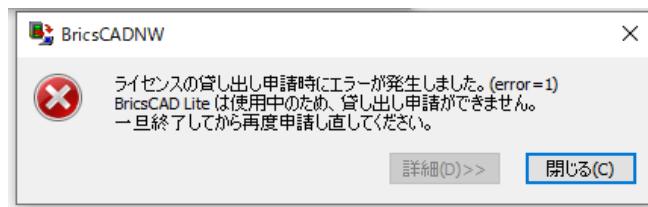


ご注意

クライアントがライセンスを借用状態で、PC が故障した場合など、不慮の動作によりライセンス返却が出来ない場合、サーバーからライセンスを強制回収することは出来ません。

ライセンス貸し出し申請日数が過ぎるまで、ライセンスは返却されませんのでご注意ください。

BricsCAD を起動したままではライセンスの借用はできません。以下のメッセージが表示されます。



BricsCAD を終了してから再度借用を実行してください。

BricsCAD を起動したまま返却を行うことは可能ですが、ライセンスは返却されていますのでライセンス数と起動 BricsCAD 数の不一致が発生します。

BricsCAD を再起動するまでは新たなライセンスを取得しませんのでご注意ください。

3. BIM、Mechanical コマンドを使用する場合

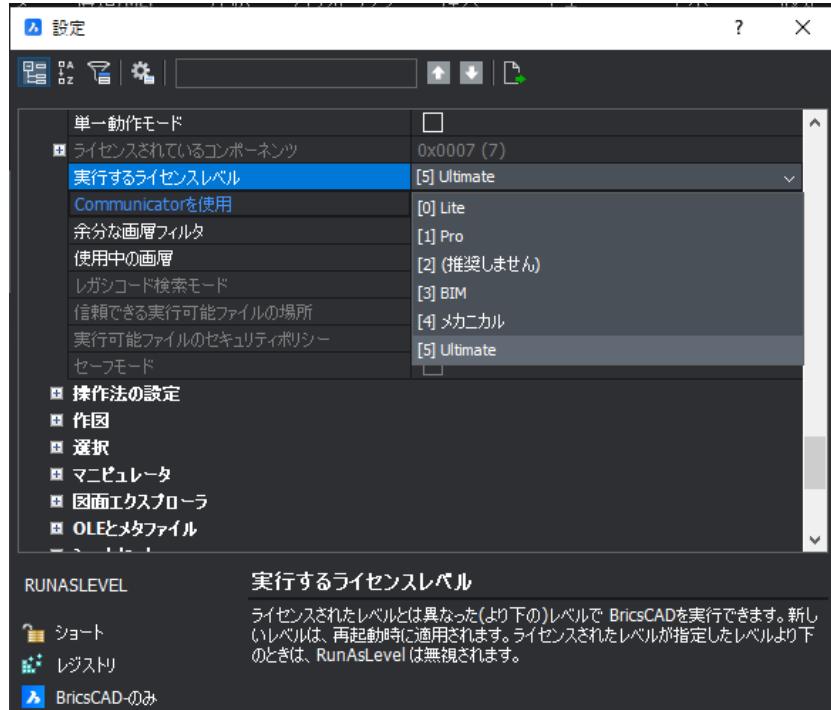
BIM、Mechanical(板金 SheetMetal)のライセンスをお持ちの場合、BIM、Mechanical の使用者を固定することができます。

設定を変更することにより、BIM、Mechanical(板金 SheetMetal)コマンドを使用することが出来ます。

1. 設定

BricsCAD を起動し、CAD メニュー[設定]-[設定]を実行します。

起動してきた設定ダイアログの[プログラムオプション]-[システム]-[実行するライセンスレベル]を変更します。



- [1]Pro : メカニカル、BIM を使用しない
- [4]Mechanical : Pro + メカニカルを使用
- [3]BIM : Pro + BIM を使用
- [5]Ultimate : すべて使用

※実行するライセンスレベルは使用する BricsCAD のグレードとなります。この設定については変更を行っても事前に登録されていますグレードに戻りますので変更は行わないようにしてください。

4. ツール

BricsCAD の環境移行、及び、ライセンスログ解析の為のツールをホームページにて提供しております。

1. ホームページ提供ツールのご案内

1) BricsCAD 環境移行ツール

BricsCAD は、新しいバージョンと古いバージョンが共にインストールされているとき、新しいバージョンを始めて起動すると、プロファイルなどの設定を新しいバージョンに移行するかどうかの確認のダイアログが表示されます。

ここで、移行しないを選択した場合、後から設定を引き継ぐことはできません。

また、BricsCADNW のインストール時に旧バージョンはアンインストール(デフォルト)されますので、設定の移行を行うことができません。

本ツールでは旧バージョンをアンインストールした後でも、旧バージョンのプロファイルを新しいバージョンの BricsCAD に移行することができます

図研アルファテック ホームページのボーナスツールページにてマニュアル(pdf)をダウンロード可能です。

<https://www.bj-soft.jp/support/bonus-tool/>

上記から[ボーナスツールダウンロード]をクリックし、必要事項を入力して進んでいただくとダウンロードも可能です。

2) ライセンスログ解析ツール

本ツールは BRICSCAD のライセンス使用のログを解析して1日あたりの使用数、平均使用数、ユーザーごとの使用時間、拒否数を CSV ファイルに作成するものです。

図研アルファテック ホームページ「サポート」の「ダウンロード」の「ネットワーク(Flexnet)関連」にてダウンロード可能です。

<https://www.bj-soft.jp/support/download/LicenseLogAnalyzeEx.html>

上記から[ボーナスツールダウンロード]をクリックし、必要事項を入力して進んでいただくとダウンロードも可能です。

2. BricsCAD サーバー/使用グレード変更ツール

BricsCAD のライセンスサーバーを変更された場合に、クライアント PC でライセンスを取得するサーバーの情報を変更する必要があります。

本ツールでは、旧サーバーに接続を行っていたクライアント PC の接続先情報を変更するためのツールです。Alfatech 製品の場合は接続先情報を「ライセンス形式の設定」で行えますので、本ツールを使用する必要はありません。

また、1台の PC の使用者によって、BricsCAD のグレードを変更したい場合に本ツールで変更が可能です。

1) ツール(プログラム)名

本ツールは、BricsCAD V**対応のアルファテックライセンス管理(FlexNet)サービスの¥MISC¥TOOLS¥BCADNWLicenseSettingに入っています。

プログラム名: BCADNWLicenseSetting.exe

もしくは下記からダウンロード可能です。

<https://www.bj-soft.jp/support/download/LicenseServerSet.html>

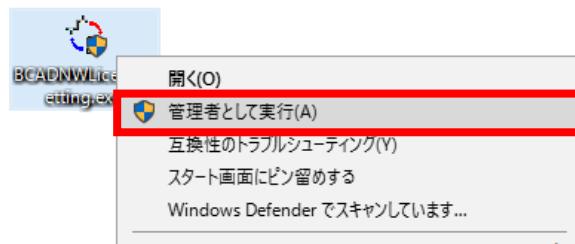


本ツールの実行には管理者権限が必要です。BricsCAD を終了した状態で行ってください。

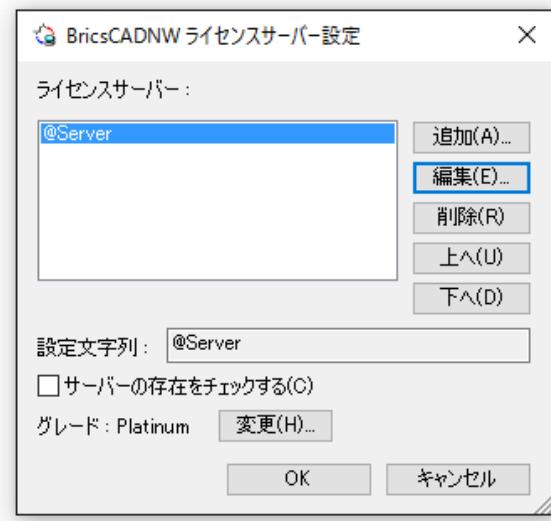
2) ツールの起動方法

クライアント PC のデスクトップなどに BCADNWLicenseSetting.exe アイコンをコピーします。

アイコンを右クリックし、「管理者として実行」します。

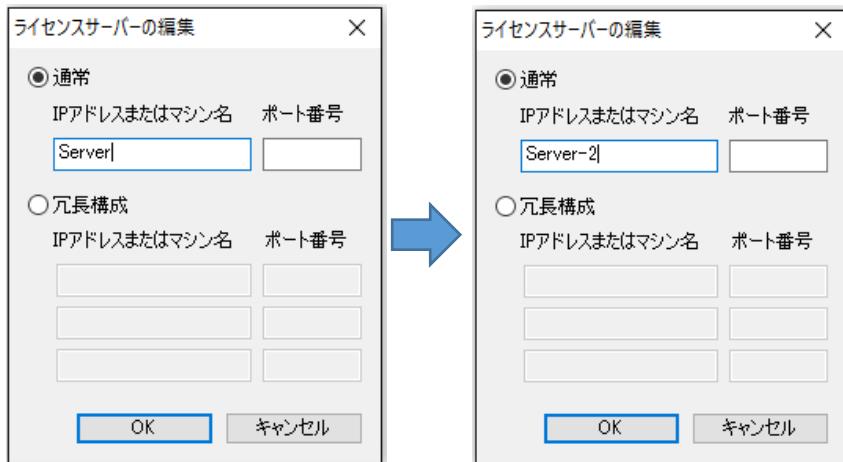


BricsCAD NW ライセンスサーバー設定ダイアログが表示します。



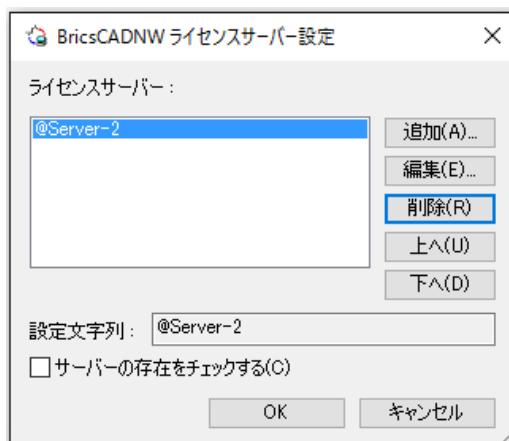
3) ライセンスサーバーの編集

- 1) サーバー名を選択し、[編集]ボタンを押します
- 2) ライセンスサーバーの編集ダイアログが表示されます。サーバー名を変更し、[OK]をクリックします。



3) BricsCADNW ライセンスサーバー設定ダイアログに戻ります。

サーバー名を確認し[OK]をクリックします。



クライアントから BricsCAD、またはライセンスモニタなどを起動して、ライセンスが取得されていることを確認してください。

【ダイアログ説明】

[追加] : サーバー名を追加します。分散サーバーなど、複数のサーバーを指定する場合に使用します。

[編集] : 既存のサーバー設定を変更します。

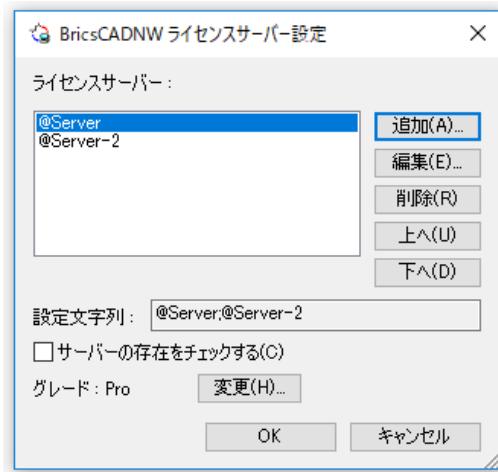
[削除] : 既存のサーバー設定を削除します。

[上へ] [下へ] : 複数サーバーが設定されている場合に並び順を変更します。

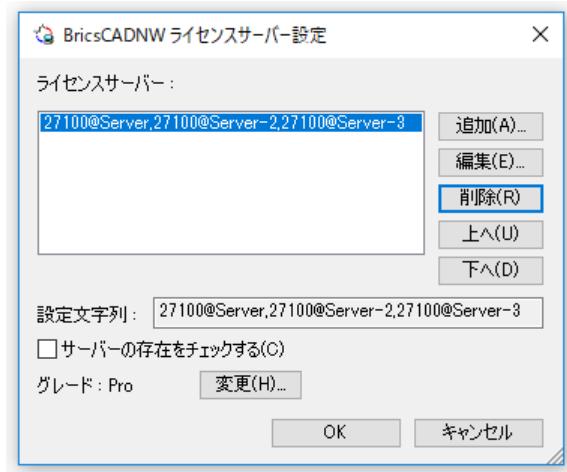
上からの並び順でサーバーのライセンス取得順が決定します。

設定文字列：サーバーの設定状態が表示されます。

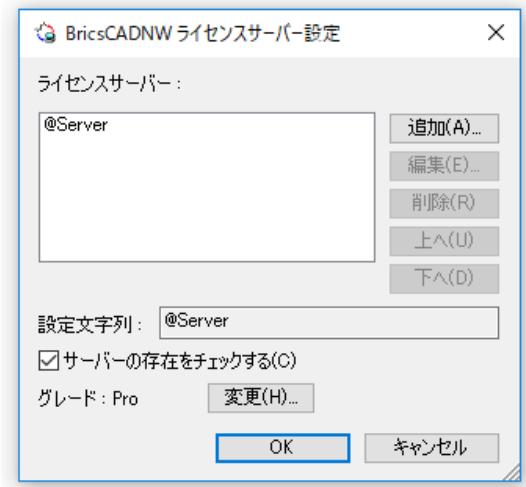
分散型表示例



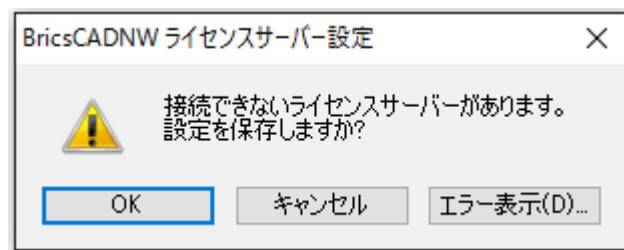
冗長型表示例



サーバーの存在をチェックする：[OK]をクリックしたときに設定時にサーバーに接続されているかを確認します。



サーバーに接続されていない(ライセンスサーバーに接続できない)場合、下記のメッセージが表示されます。

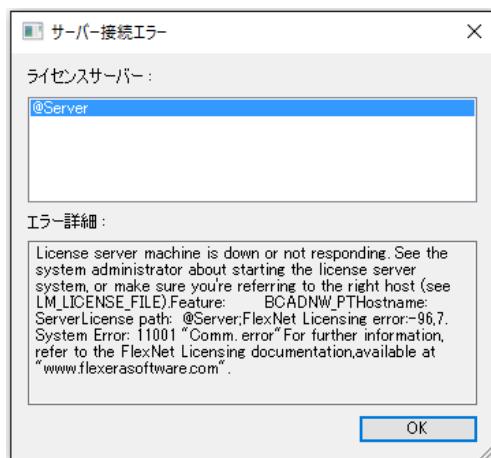


[OK]：サーバー設定を保存して終了します。

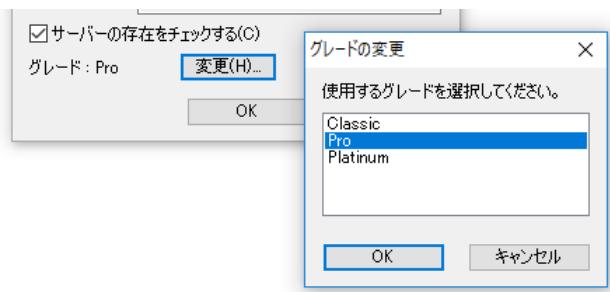
[キャンセル]：メッセージをキャンセルします。再度サーバーの編集を行ってください。

[エラー表示] : エラー内容を表示します。

エラー改善されない場合、エラー詳細をコピーしてサポート(support@bj-soft.jp)までご連絡ください。



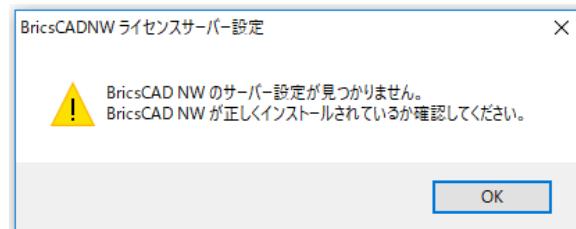
グレード/[変更] : クライアント PC で使用する BricsCAD のグレードの変更を行います。



(ご注意)

BricsCAD ネットワーク版を使用していない PC では本ツールは使用できません。

本ツールを実行された場合、下記のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして終了してください。



FlexNet ネットワークライセンス(BricsCADV26 対応)ユーザーガイド
Alfatech BricsCAD NW 2026

2025 年 10 月 発行

発行者
図研アルファテック株式会社

<https://www.alfatech.jp/>
